PC-PR101/63

日本語シリアルプリンタ

ユーザーズマニュアル

PRINTER

808-871850-001-A

第6版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示について

このプリンタを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。
このユーザーズマニュアルには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の三種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	この記号は注意を怠ると、危険が発生するおそれがあることを表します。記号内の絵表示は危険の内容を図案化したものです。（注意の喚起）	
	この記号は行為の禁止を表します。記号内や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。（行為の禁止）	
	この記号は行為の強制を表します。記号内の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。（行為の強制）	

ユーザーズマニュアルおよび警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		指などをはさまれるおそれがあることを示します。

行為の禁止

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。

行為の強制

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。

商標について

NEC、NECロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoftとそのロゴ、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
NetWare、IntranetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0, Terminal Server Editionの略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 1992, 1998, 2002, 2003, 2004
日本電気株式会社、NECパーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

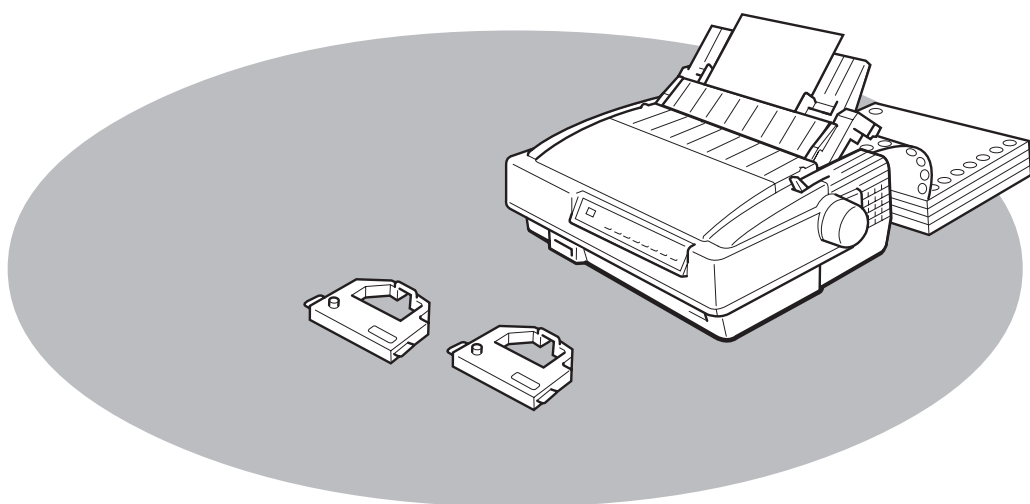
はじめに

本マニュアルは、NEC日本語シリアルプリンタPC-PR101/63を正しくご使用いただくための手引きです。

PC-PR101/63はNECのPCシリーズパーソナルコンピュータに対応する日本語シリアルプリンタで、ユーザの様々なニーズに応えるため豊富な機能を備えております。本マニュアルには、プリンタの設置、操作、日常保守に必要な情報が記載されておりますので、日常プリンタを使用する上でわからないこと、具合の悪いことが起きたときに是非ご利用ください。

なお、プリンタの仕組みやプリンタを動かすための命令などについて詳しく知りたい方、自分でプログラミングをされる方は、別売の『日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル』をご覧ください。

製造番号は品質管理の上で必要不可欠なものです。プリンタ本体に表示されている製造番号と、『保証書』に記載されている製造番号が一致しているかをお確かめください。

初版　1992年　4月
第6版　2004年 12月

マニュアルの構成と読み方

この『PC-PR101/63ユーザーズマニュアル』は、次のような構成になっています。PC-PR101/63を初めてお使いになる方は、まず第1章を読み、次に第2章に従ってプリンタを使用するための準備を行ってください。

第1章　安全にお使いいただくために

プリンタを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

第2章　初めてお使いになるとき

本プリンタを初めて使用する方が最初に行わなければならないことについて、一つ一つ手順を追って説明しています。また、プリンタ各部の名称とその機能について説明しています。プリンタ使用中に扱い方の分からない部品があったとき、またこのマニュアルを読んでいて知らない部品名に出会ったときなどは確認してください。

第3章　用紙の取り扱い

カット紙、連続紙、はがきの取り扱い方法を、用紙のセットを中心に説明しています。

第4章　PC-PR101/63を使いこなそう

操作パネル上のスイッチやランプ一つ一つの機能についてその概要を示し、あわせてプリンタが持っている様々な便利な機能、プリンタの設定のうちユーザの好みや使用環境に応じて変更することのできる設定と、その変更方法について説明しています。

第5章　日常の保守

プリンタを正常に動作させ、高品位な印字を保つためにユーザにぜひ守っていただきたい基本的な事項について説明しています。

第6章　故障かな？と思ったときは

プリンタが思うように動作しなかったり印字の状態がよくなかったりしたときには、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼についても記載されています。プリンタを運搬するときの準備についても書かれていますので、運搬が必要な場合にはご覧ください。

第7章　オプション

本プリンタに用意されている様々なオプションの使い方について説明しています。プリンタをより使いやすく、より高性能にするために、用途にあったオプションを利用してください。

付録

プリンタの仕様、用紙の規格と印字範囲、初期状態、およびインタフェースに関する情報を記載しています。制御コード表、文字コード表、テスト印字サンプルも載っています。インジケータ表示と操作の一覧図はクイックリファレンスとしてご利用ください。

なお、巻末には用語解説と索引がありますので必要に応じてご活用ください。

本文中で使用の記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、表紙の裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号の意味を次に示します。

記号	内　　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンタを含むコンピュータシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが正しく動作しない可能性があることを示しています。

PC-PR101/63の特長

PC-PR101/63は、パーソナルユースからオフィスユースまで広範な使い方ができるプリンタです。24本のピンにより文字や図形をいろいろな用紙に表現することができます。

いろいろな用紙が使用できます！

■ B4、A4、B5、A5などの様々なサイズのカット紙、連続紙に印字できます。はがきや複写式の用紙も使えます。

■ 連続紙の一時退避・復帰機能により、連続紙を取り除くことなくカット紙に印字できます。

■ シートフィーダ(オプション)を取り付ければ、カット紙を連続して給紙できます。

■ トラクタフィーダ(オプション)を取り付ければ、厚い連続紙や複写式の連続紙でも正確に送ることができます。

操作が簡単です！

■ 電源スイッチも操作パネルもプリンタの前面に配置されており、操作しやすくなっています。

■ ひと目で分かるランプ表示とメリハリのあるスイッチで、操作が簡単、確実に行えます。

便利な縮小印字ができます！

■ 印字データを2／3、4／5に縮小することができるので、例えばB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印字することができます。

印字できる文字が多彩です！

■ 英字をはじめとする外国文字、漢字、ひらがな、カタカナ、数字、CGグラフィック、罫線のほか、自分でデザインした文字や図形を印字できます。

■ 1バイト系の文字については、標準的なフォントのほかにイタリック、クーリエ、ゴシックで印字できます。

standard　*italic*　courier　gothic

■ 様々な修飾文字を印字できます。

斜体　ボールド　白抜き
影付き　立体

■ 8×8倍までの拡大文字や1/2の縮小文字が印字できます。

■ JIS第1水準およびJIS第2水準の漢字を横書きでも縦書きでも印字することができます。

カラー印字ができます！

■　カラーキット（オプション）を取り付けることにより7色のカラー印字ができます。

ランニングコストが安くなります！

■　カラーキット（オプション）を取り付ければ、インクリボンの寿命の長いロングライフインクリボンカートリッジを使用してランニングコストを安くすることができます。

目次

5章　日常の保守 83

6章　故障かな？と思ったときは 89

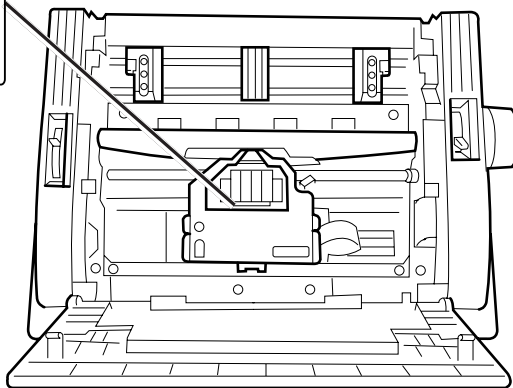
7章　オプション 101

1章
安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

PC-PR101/63プリンタ内の危険性を秘める部品の上、またはその近くには警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際考えられる危険性を、常にお客様に意識していただくためのものです。

もしこのラベルが下記の位置に貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどのためラベルの内容がわからないときは、サービス窓口にご連絡ください。

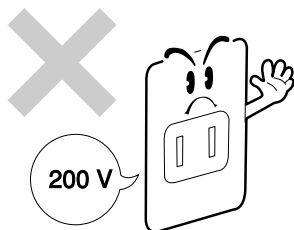
これらの警告内容については、次の項目「安全上のご注意」で説明しますが、本書内で随時説明します。

上から見た図(カバーオープン時)

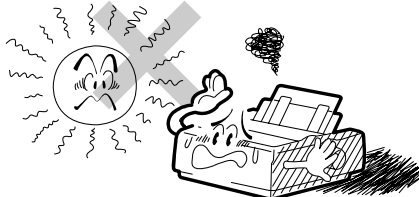
安全上のご注意

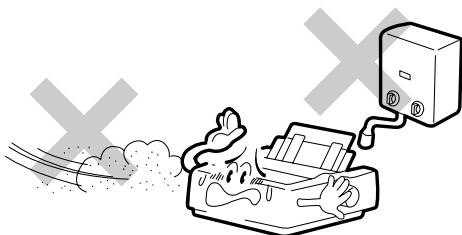
以下に示す注意事項は本プリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の説明を参照してください。

設置場所を決める前に

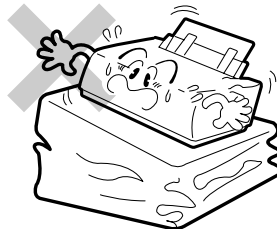
⚠ 注意

指定以外の電圧で使用しない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

日の当たるところには置かない

プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンタが正常に動作しないばかりか、火災になることがあります。

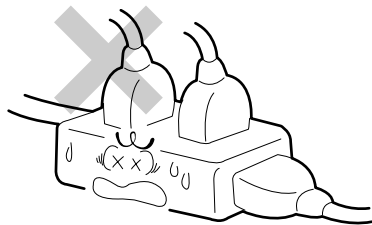
ほこり・湿気の多い場所で使用しない

プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。

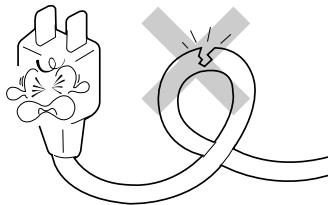
プラグ部分はときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

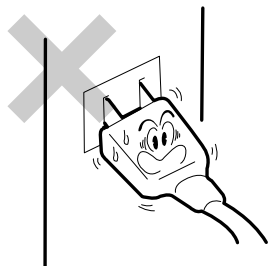
不安定な場所に置かない

プリンタを縦型OAラックなど不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

プリンタを設置するとき

⚠ 注意

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れるので、コンセントが過熱して火災の原因となることがあります。

電源コードは乱暴に扱わない

電源コードを無理にねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしなりでください。コードが破損し、火災や感電の原因となります。

電源プラグは中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端な差し込みは接触不良の発熱による火災の原因となることがあります。また中途半端な差し込み部にほこりがたまると、水滴などが付いたとき発熱し、火災の原因となることがあります。

設置後および操作中

警告

分解・修理・改造はしない

ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

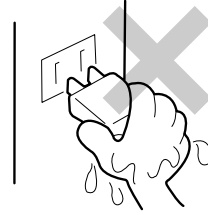
煙や異臭、異音がしたら電源をOFFにする

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

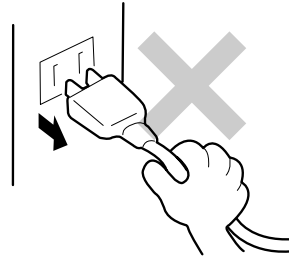
雷が発生しそうなときは装置に触らない

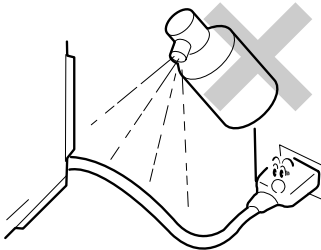
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

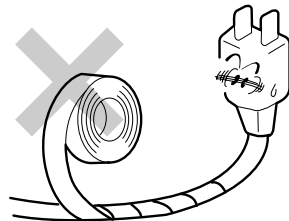
濡れた手で電源プラグを抜かない

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

プリンタ内に水や異物を入れない

プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解したりしないで販売店に連絡してください。

プラグの抜き差しは電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

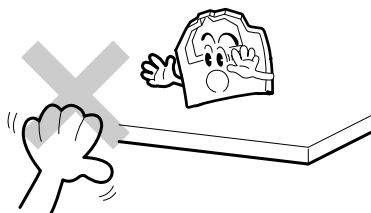
電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

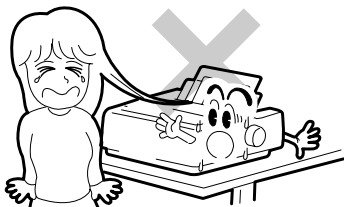
損傷した電源コードは使わない

損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

⚠ 注 意

高温注意

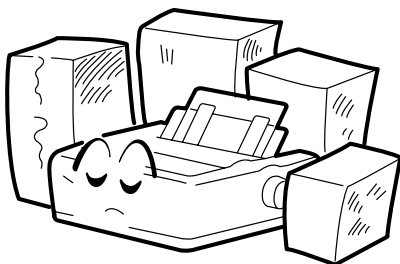
プリンタの内部には、使用中に高温になる印字ヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

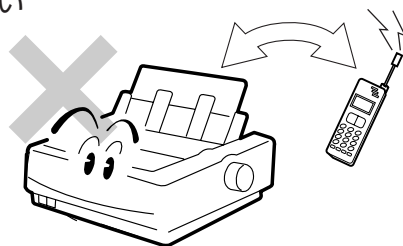
お子様に注意

インクリボンカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。インクリボンをなめたりすると健康を損なうおそれがあります。

巻き込み注意

プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

印字中は電源をOFFにしない

印字中はプリンタの電源をOFFにしないでください。故障の原因となります。

排気孔をふさがない

プリンタ背面の排気孔をふさがないでください。プリンタ内の温度が異常に高くなると、正しく動作しなくなることがあります。

携帯電話等をプリンタの近くで使用しない

携帯電話、PHS、無線通信機をプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

正しく動作させるために

落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。

オプションは本プリンタ専用のものをお使いください。専用でないものは、たとえ取り付けることができても正常に動作しないばかりか、プリンタ本体が故障することがあります(型番などについては2章の「別売品の紹介」(10ページ)を参照してください。

ご用意いただいたプリンタケーブルがお客様のコンピュータに合っていることを確認してください。

プリンタケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行うときは、電源をOFFにしてから行ってください。電源が入ったまま行うと誤動作や故障の原因となります。

定期的にプリンタを清掃してください。清掃の方法については5章の「プリンタのお手入れ」(86ページ)を参照してください。

2章
初めてお使いになるとき

知っておきたいこと

取り扱い上の注意

本プリンタを正しく安全に使用するために、次のことは必ず守ってください。

■ 電源がONになっているときは、印字ヘッドを手で動かさないでください。

■ 長時間印字を続けた後は印字ヘッドが高温になっていますので、手を触れないでください。

■ 印字動作中には電源をOFFにしないでください。

■ 電源コードのプラグを抜くときには、必ず電源スイッチをOFFにしてからプラグを持って抜いてください。

■ プリンタ内にクリップ、ピンなどの異物を落とさないように注意してください。もし落ちたときは、電源をOFFにして電源コードのプラグをコンセントから抜き、異物を完全に取り除いてから使用してください。

■ 接続したコンピュータの電源をOFFにしたときは、必ずプリンタの電源もOFFにしてください。

■ 必ず用紙をセット・吸入し、インクリボンカートリッジを取り付けた状態で印字してください。用紙を吸入しないまま、あるいはインクリボンカートリッジを取り付けないまま印字すると、印字ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

■ インクリボンカートリッジは必ずNEC指定のものを使用してください。また、印字が薄くなったときは交換してください。

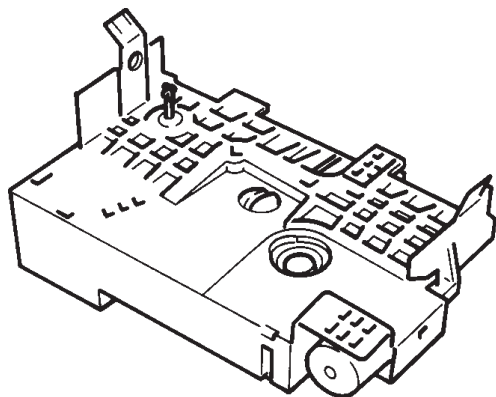
■ 用紙は規格内のものを使用してください。湿った紙は使用しないでください。

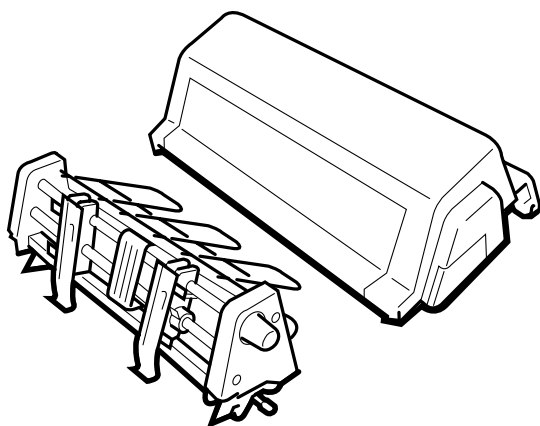
■ プリンタの近くでラジオを聞いているときラジオに雑音が入ることがあります。その場合にはラジオをプリンタから離してください。

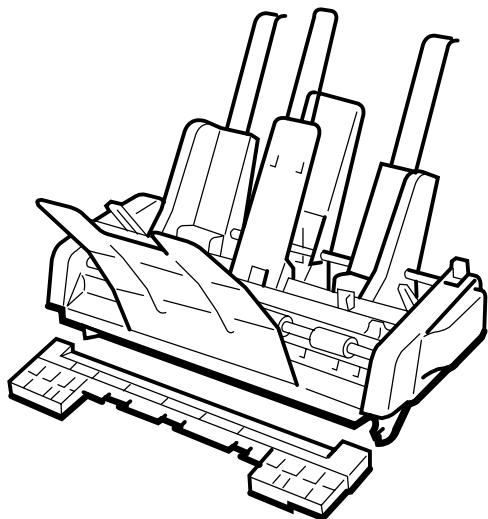
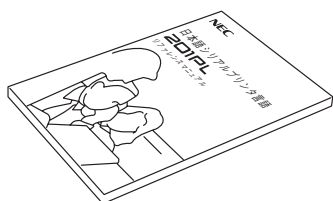
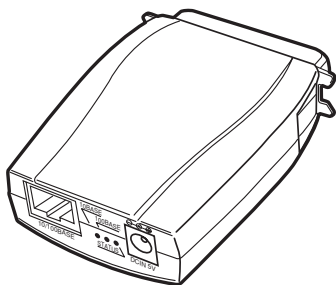
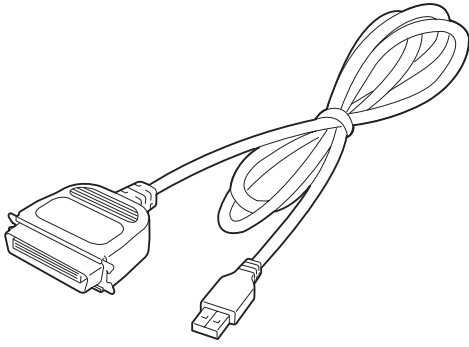
別売品の紹介

オプション

本プリンタには次のようなオプションが用意されています。必要に応じてお買い求めください。

項　番	品　　名	型　　番
1	カラーキット	PC-PR201GS-11
2	トラクタフィーダ	PC-PR101GS-03
3	シートフィーダ	PC-PR101GS-04
4	日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル	PC-PR201PL-RM
5	プリントサーバ（LANアダプタ）	PR-NP-07
6	USBプリンタケーブル	PR-CA-U02

1　カラーキット

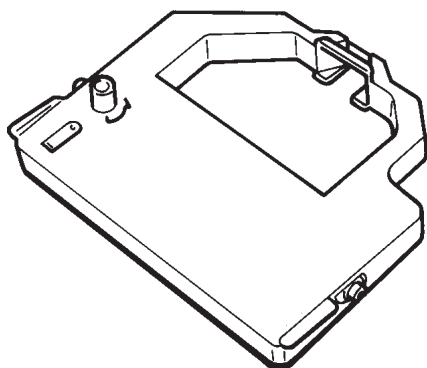
カラー印字を行うために使います。寿命の長いロングライフインクリボンカートリッジを使う場合にも必要です。カラーキットにはカラーインクリボンカートリッジ(PC-PR101G2-01)が1個添付されています。

2　トラクタフィーダ

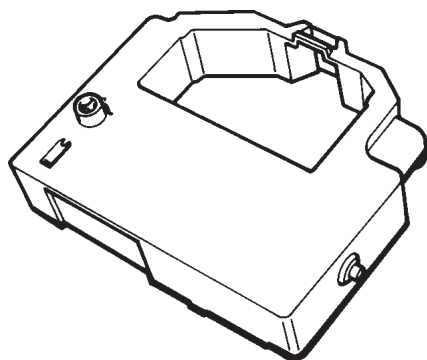
複写式の連続紙など、用紙送りに高い精度が要求される連続紙に印字するときに使います。

3　シートフィーダ
カット紙やはがきを自動的に連続給紙します。

4　日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル
NEC日本語シリアルプリンタの制御コード(201PL)について解説したマニュアルです。

5　プリントサーバ(LANアダプタ)
パラレルインタフェース直付け型のLANアダプタです。

6　USBプリンタケーブル

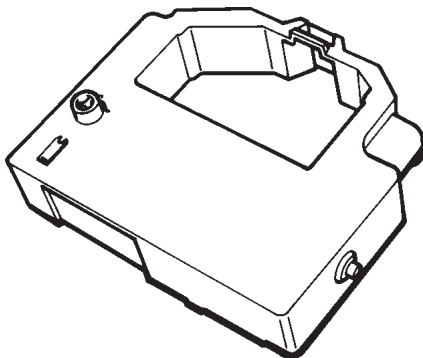
プリンタをパーソナルコンピュータのUSBケーブルに接続するためのケーブルです。

消耗品

本プリンタでは次のような消耗品を用意しています。消耗品を交換するときは、必ず指定のものと交換してください。

項　番	品　　名	型　　番	可能印字数	
			NHSパイカ	漢　字
1	インクリボンカートリッジ(黒)	PC-PR201G-01	約350万字	約150万字
2	カラーインクリボンカートリッジ	PC-PR101G2-01	約100万字	約50万字
3	ロングライフインクリボンカートリッジ	PR201/80LA-01	約700万字	約300万字

1　インクリボンカートリッジ(黒)

黒単色印字のためのインクリボンカートリッジです(標準添付品と同一)。

2　カラーインクリボンカートリッジ

カラー印字のための4色インクリボンカートリッジです。このカートリッジを使うためにはカラーキット(オプション)が必要です。

3　ロングライフインクリボンカートリッジ
ランニングコストを安くするための長寿命インクリボンカートリッジです。このカートリッジを使うためにはカラーキット（オプション）が必要です。

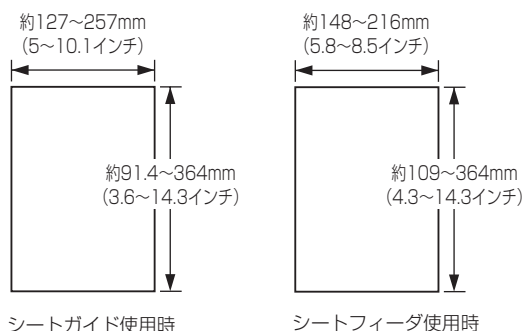
チェック

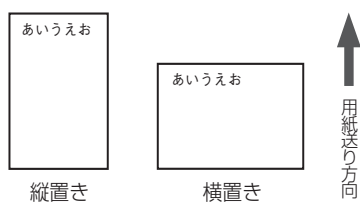
- 印字品位を保つために、インクリボンカートリッジは使用期限内にお使いください。
- NEC指定以外のインクリボンの使用は印字ヘッドの寿命を縮めたり、印字障害およびプリンタ本体の故障の原因となる場合があります。この場合、無償修理の対象外となります。必ずNEC指定のものをご使用ください。

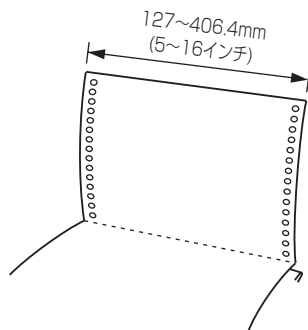
用紙について

本プリンタで使用できる用紙の種類やサイズは次のとおりです。

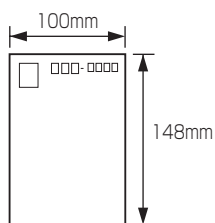
プリンタの印字に関する各種寸法の基本単位はmmです。そのため本マニュアルでも長さの単位としてmmで説明することが多くなっています。1インチは約25.4mmです。

カット紙

■ 市販のカット紙は、一般にA判またはB判とよばれる定型用紙です。本プリンタでは、B4、A4サイズの用紙を縦置きで、B5、A5サイズの用紙を縦置きまたは横置きで使用できます。

B4：257mm(横)×364mm(縦)　B5：182mm(横)×257mm(縦)
A4：210mm(横)×297mm(縦)　A5：148mm(横)×210mm(縦)

■ カット紙は一般の書籍と同様にまとめやすく取り扱いが便利ですが、用紙のセットに手間がかかります。大量のカット紙に印字するときはシートフィーダ(オプション)を使用することをおすすめします。

連続紙

■ 連続紙はミシン目で折りたたんだ状態で保存されています。ミシン目の間隔は、縦方向に279.4mm（11インチ）のものと304.8mm（12インチ）のものが一般的です。幅は、254mm（10インチ）のものと381mm（15インチ）のものが一般的ですが、本プリンタでは254mm（10インチ）以下のものしか使えません。

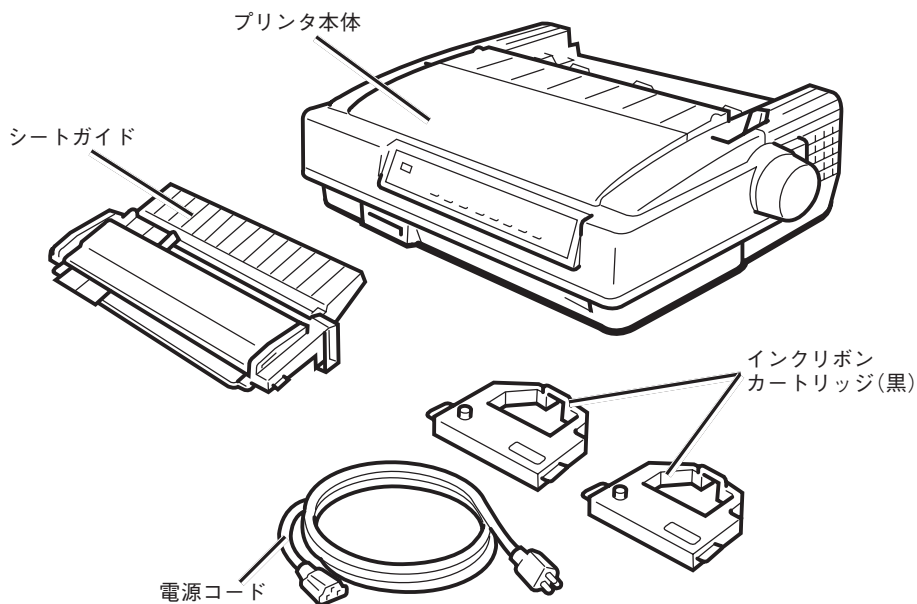
■ 連続紙はプッシュトラクタやトラクタフィーダ（オプション）を使って連続的に送ることができます。

はがき

■ 官製はがき、およびその同等品を縦置きまたは横置きで使えます。

用紙の質については、一般的なコピー用紙や連続紙を使う場合はほとんど問題ありません。複写式の用紙など特殊な用紙を使うときには、付録の「用紙の規格と印字範囲」（130ページ）をご覧ください。なお、再生紙のご利用については、お買い求めの販売店または添付の「サービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にご相談ください。

各種用紙の印字可能範囲については、付録の「印字範囲」（132ページ）をご覧ください。

箱の中身を確認しよう

箱を開けてプリンタ本体と付属品を取り出したら、次に示すものがすべてそろっているかどうかを確認してください。もし何か足りないものがあれば、すぐにプリンタの販売店に連絡してください。

■ ユーザーズマニュアル(本マニュアル)
■ 保証書
■ リファレンスシート
■ NECサービス網一覧表

次に、本体と付属品を点検してください。万一損傷のある場合には、販売店に連絡してください。

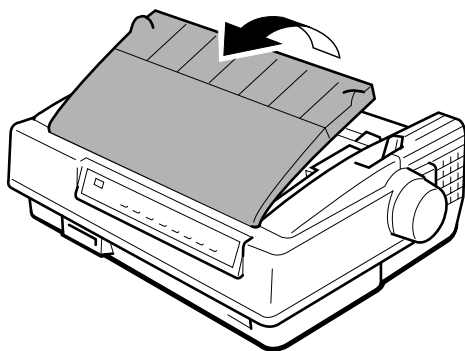
重要

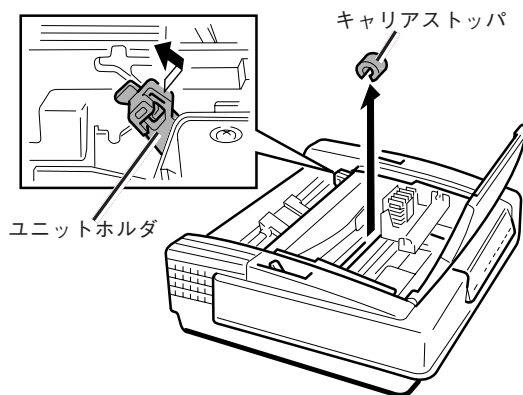
- 『保証書』と『NECサービス網一覧表』は大切に保管してください。
- 箱や梱包材はプリンタを運搬するときに必要となりますので保存しておいてください。
- プリンタケーブルは付属しておりません。ご使用のコンピュータに接続できる適切なプリンタケーブルを別途ご用意ください(125ページ参照)。

プリンタの準備

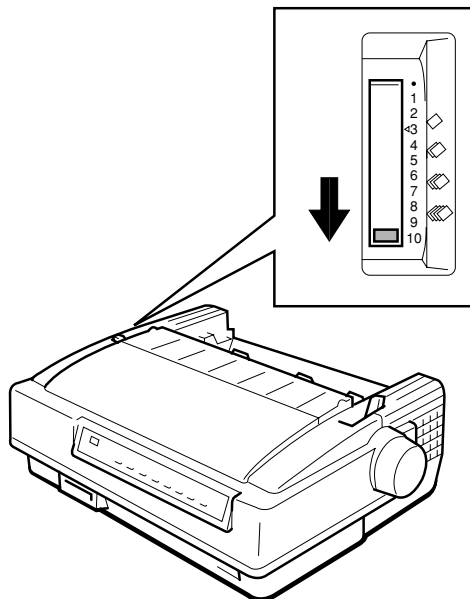
保護用部品を取り除く

プリンタ本体には保護用部品が取り付けられています。保護用部品は運搬時の衝撃からプリンタを守るためのもので、プリンタを使用するときには必要ありません。次の手順で保護用部品を取り除いてください。

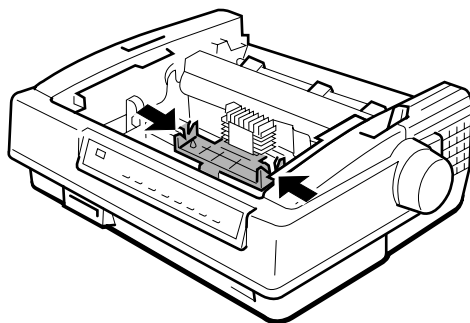
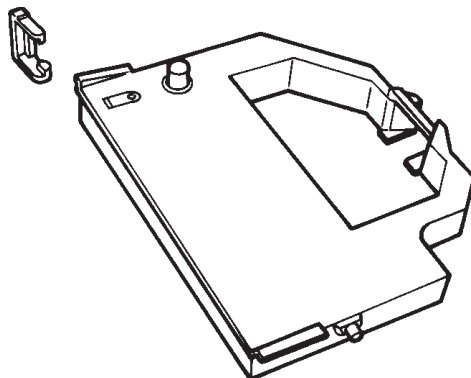
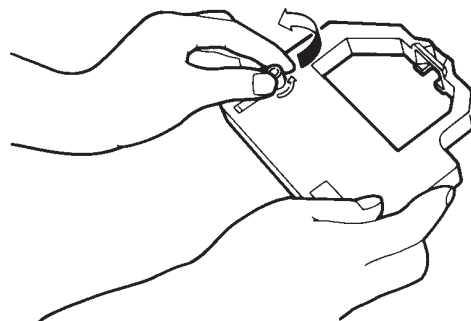
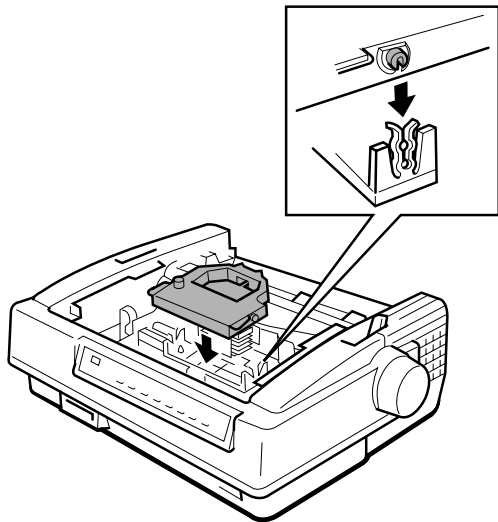
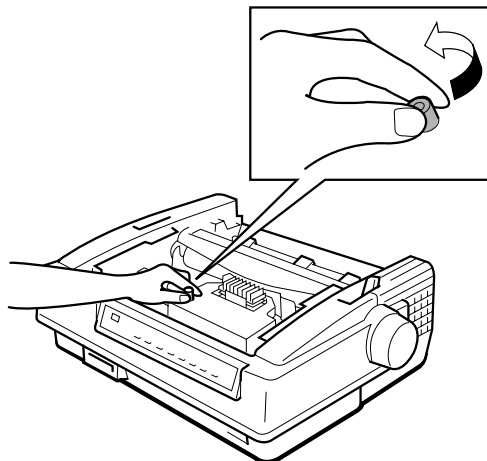
❶ **トップカバーを開けます。トップカバーの透明部分の側面にあるくぼみに指をかけ、手前に起こして下さい。**

❷ **茶色のキャリアストッパを取り外します。**

❸ **赤色のユニットホルダを矢印の方向に持ち上げて引き抜きます。**

保護用部品はプリンタを運搬するときに必要となりますので保存しておいてください。

インクリボンカートリッジを取り付ける

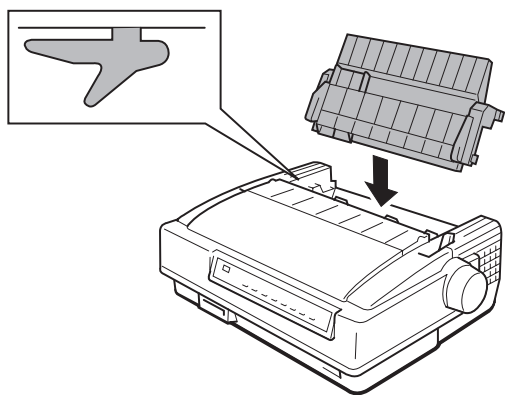
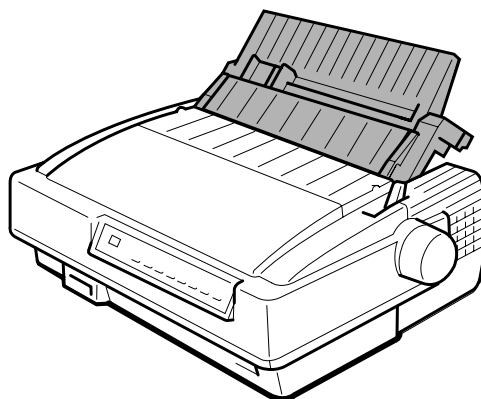
次の手順で添付のインクリボンカートリッジを取り付けてください。

❶ 用紙厚さセットレバーをいちばん手前側(10の位置)にします。

❷ トップカバーを開けます。

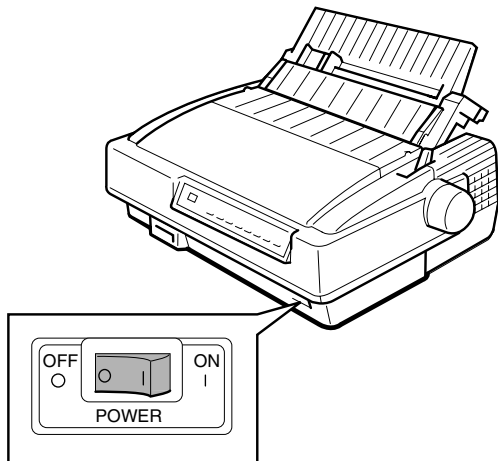
❸ カートリッジホルダをプリンタの左右中央付近に手で移動します。

❹ インクリボンカートリッジに付いている赤色のストッパを外します。

❺ NECマークのある面が上になるようにしてインクリボンカートリッジを持ちます。リボンがたるんでいる場合は、フィードノブを矢印の方向(反時計方向)に回してたるみをとってください。

❻ インクリボンカートリッジの左右の突起をカートリッジホルダの左右の溝に合わせます。次に、リボンが印字ヘッドとカードホルダの間に入るようにし、フィードノブを使ってリボンのたるみをとりながらインクリボンカートリッジ全体を静かに押し込みます。カチッと音がしたら取り付け完了です。

❼ フィードノブを回してリボンが軽く動くことを確認します。

❽ トップカバーを閉めます。

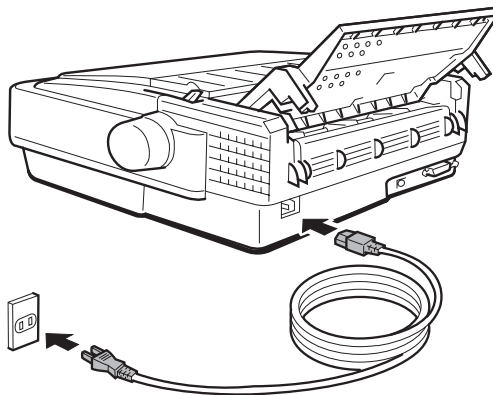
シートガイドを取り付ける

シートガイドは、カット紙を手差しで1枚ずつセットするときに使います。次の手順でシートガイドを取り付けてください。

❶ **シートガイドの左右にある突起をプリンタ上面の切り込みに真上から差し込みます。シートガイドカバーが開かないように手で押さえながら差し込んでください。**

❷ **シートガイドが図のように立っていることを確認してください。**

電源コードを接続する

次の手順で電源コードを接続してください。なお、電源コードは添付のものを使用し、必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続してください。

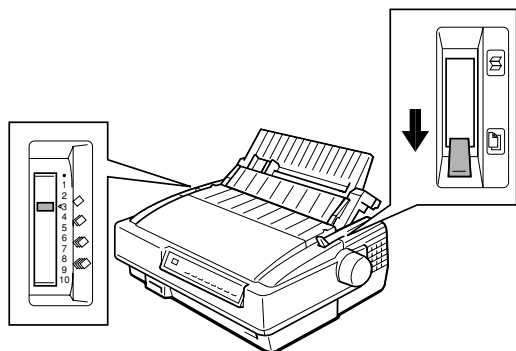
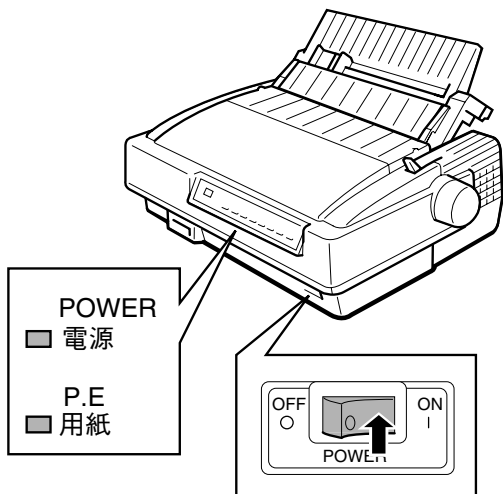
❶ **プリンタの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。**

❷ **電源コードの三極プラグをプリンタ背面の電源用コネクタに差し込みます。**

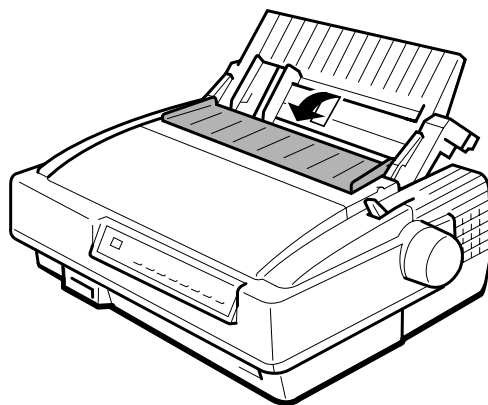
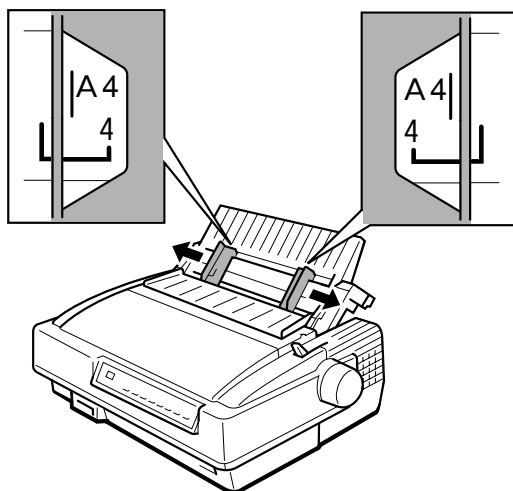
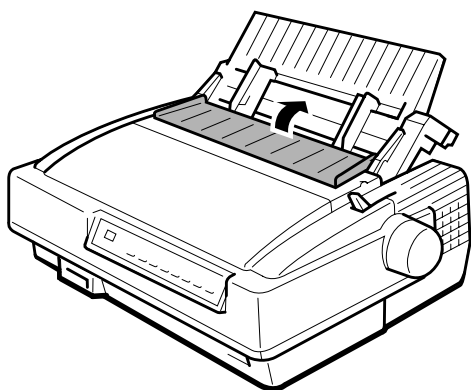
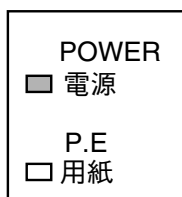
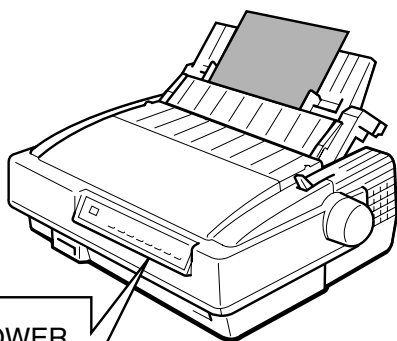
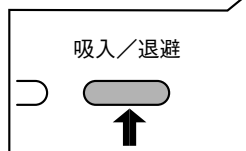
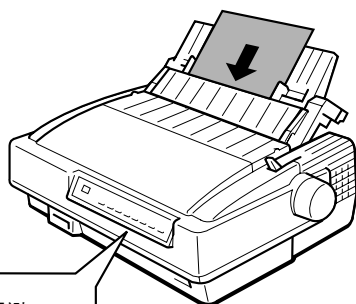
❸ **電源コードのもう一方のプラグをコンセントに差し込みます。**

テスト印字をしてみよう

プリンタをコンピュータに接続する前に、テスト印字を行ってプリンタの動作や印字の状態を確認しましょう。

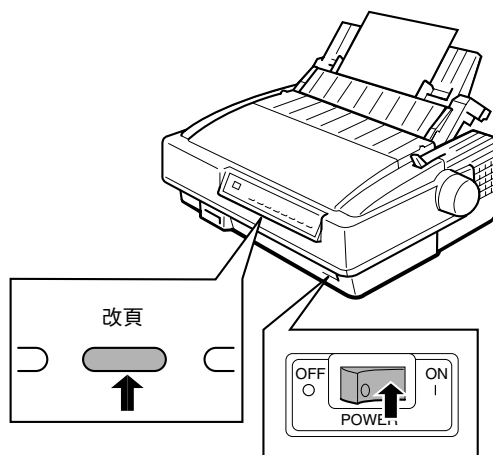
テスト印字には254mm(10インチ)幅の連続紙、またはA4サイズのカット紙を縦置きにして使用します。
ここでは、A4サイズのカット紙を使う場合を例にとってテスト印字の手順を説明します。

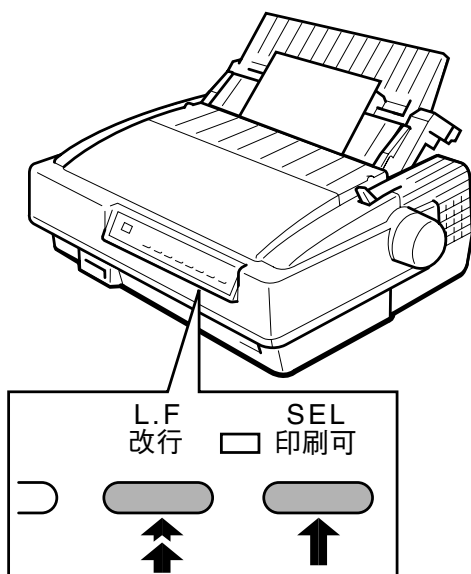
❶ ペーパセレクションレバーを手前側(カット紙側)にします。

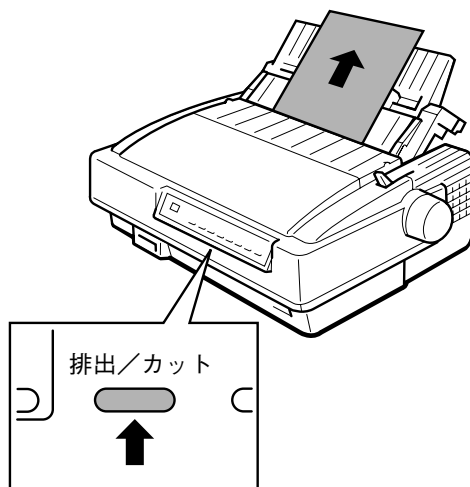
❷ 用紙厚さセットレバーを3の位置にします。

❸ 電源をONにします。電源ランプと用紙ランプが点灯します。

❹ シートガイドカバーを開けます。シートガイドを手で押さえながらシートガイドカバーを引き上げ、手前に倒してください。

❺ シートガイド上の用紙スケールを参考にして、左右のペーパセットピースをA4用紙縦置きの幅に合わせます。

❻ シートガイドカバーを閉じます。

❼ A4用紙を縦置きにしてペーパセットピースの間に挿入し、突き当たるまで差し込みます。用紙ランプが消灯すれば用紙のセット完了です。

❽ 吸入／退避スイッチを押します。用紙が自動的に吸入されます。

❾ 電源をOFFにします。

❿ 改頁スイッチを押しながら再び電源をONにします。数秒後にテスト印字が始まるので、それまで改頁スイッチを押し続けてください。

重要

1ページ分印字し終わると、用紙ランプが点灯し、テスト印字が中断します。このままテスト印字を終了させるときは手順⓫に進んでください。テスト印字を続けたいときは、排出／カットスイッチを押して印字済み用紙を排出してから、新しいA4用紙をセットして吸入／退避スイッチを押してください。印字可スイッチを押すとテスト印字が再開します。

⓫ プリンタが正常にテスト印字を行っていることが確認できたら、印字可スイッチを押しながら改行スイッチを2回押してテスト印字を終了させます。

⓬ 印字可スイッチを押して印字可ランプを消灯させます。

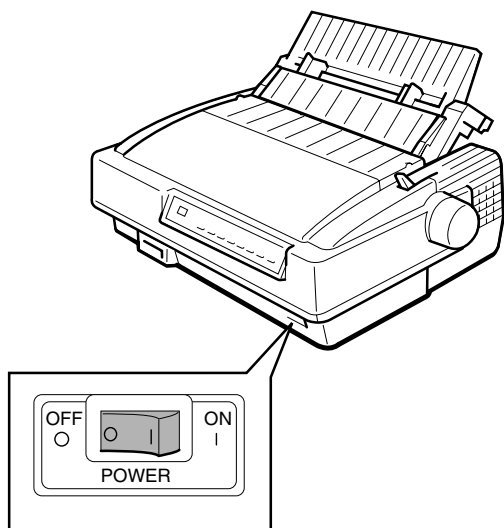
⓭ 排出／カットスイッチを押して用紙を排出します。

チェック

- テスト印字の詳細については、第4章の「テスト印字」(61ページ)をご覧ください。
- テスト印字の結果は付録の「テスト印字サンプル」(148ページ)に載っています。

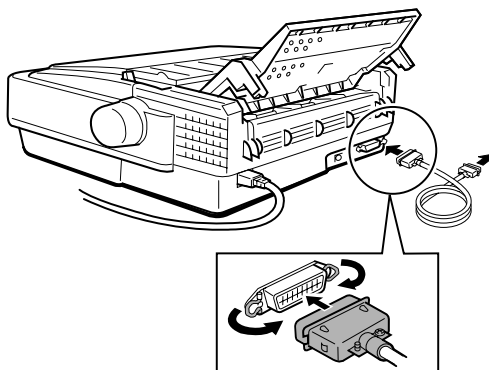
テスト印字が終わったら、印字の状態を確認してください。もし文字の一部が欠けていたり文字の周囲が汚れていたりしたときは、「インクリボンカートリッジを取り付ける」(20ページ)に従ってインクリボンカートリッジを取り付け直し、もう一度テスト印字を行ってください。それでも印字の状態が良くならない場合には、お買い求めの販売店に連絡してください。

コンピュータに接続する

本プリンタにはプリンタケーブルが添付されておりません。プリンタをコンピュータに接続するには、別売のプリンタケーブルをお買い求めいただく必要があります。プリンタケーブルのタイプは、コンピュータによって異なります。本プリンタを接続するコンピュータに合ったプリンタケーブルを販売店でお求めください。詳細については「プリンタケーブル」(125ページ)を参照してください。(使用するコンピュータが表に記載されていない場合には、お買い求めの販売店、または添付の「NEC サービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。)次の手順でプリンタケーブルを接続してください。

❶ プリンタおよびコンピュータの電源スイッチをOFFにします。

重要

電源スイッチがONになっている状態で接続すると故障の原因になることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。

❷ プリンタケーブルのコネクタをインタフェース用ソケットに差し込み、固定用ワイヤで抜けないように固定します。

❸ プリンタケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続します。(コンピュータのインタフェース用ソケットの位置については、コンピュータに添付されているマニュアルをご覧ください。)

ソフトウェアのインストールについて

Windows 95以降、Windows NT4.0以降のOSをお使いの場合は、OS標準のプリンタドライバをお使いください。OS標準のプリンタドライバをインストールする方法は、次のとおりです。

① ［スタート］メニュー→［設定］→［プリンタの追加］よりインストールを開始する。

② 順にインストールを進め、［製造元］一覧から［NEC］を選択する。

③ ［プリンタ］一覧から［NEC PC-PR101/63］を選択し、インストールを実行する。

アプリケーションソフトウェアのプリンタ設定について

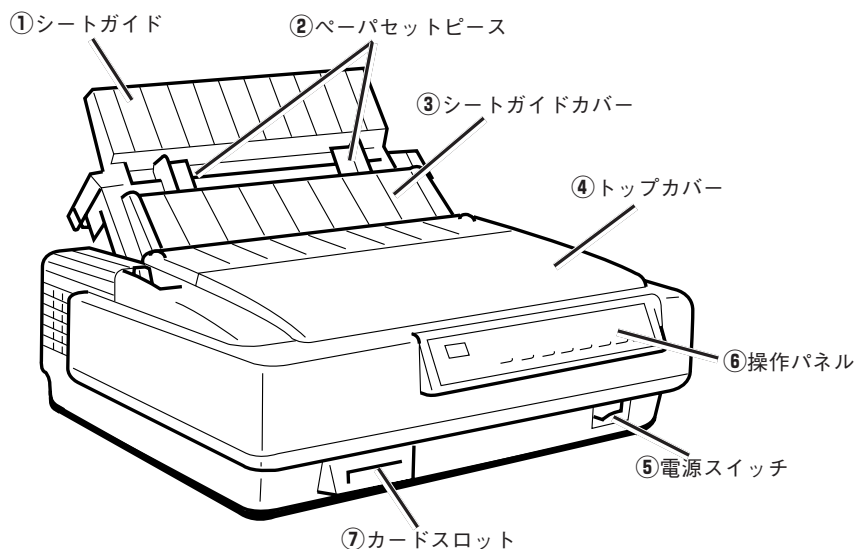
アプリケーションソフトウェアで作成したデータをプリンタで印字するためには、アプリケーションソフトウェア上で使用するプリンタを設定する必要があります。適切なプリンタを設定しないと思いどおりの印字結果を得ることができません。

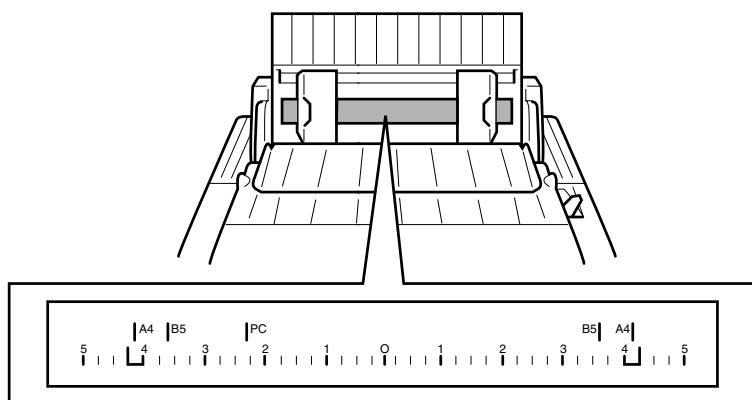
本プリンタを使用する場合、アプリケーションソフトウェアのプリンタ設定を行うときには次の優先順位で機種を選択してください。

1. PC-PR101/63
2. PC-PR101/60
3. PC-PR101GS
4. PC-PR101G2、PC-PR101G、PC-PR101E2、PC-PR101E
5. 上記以外のPC-PR101系プリンタ（PC-PR101、PC-PR101F等）

＊ 選択するプリンタによっては、印字結果がアプリケーションソフトウェアでの設定と一部異なることがありますので注意してください。

設定の方法については、各アプリケーションソフトウェアの説明書をご覧ください。

各部の名称と機能

① シートガイド

カット紙を1枚ずつ手差しでセットするときに使います。カット紙を簡単に中央にセットできるように、用紙スケールが刻印されています。

連続紙を使用するときには、排出された連続紙が再びプリンタに引き込まれるのを防ぐためのカバーとして使います。

② ペーパセットピース

シートガイドにセットしたカット紙がプリンタにまっすぐに吸入されるように、カット紙の左右端をささえます。

③ シートガイドカバー

排出されたカット紙が再びシートガイドから引き込まれるのを防ぐためのカバーです。

連続紙に印字するときには印字音を小さくするために閉じておきます。また、シートガイドカバーを開けたとき奥側になるエッジは連続紙をカットするときに使います。

④ **トップカバー**

ほこりがプリンタ内部に入るのを防ぐためのカバーです。

⑤ **電源スイッチ**

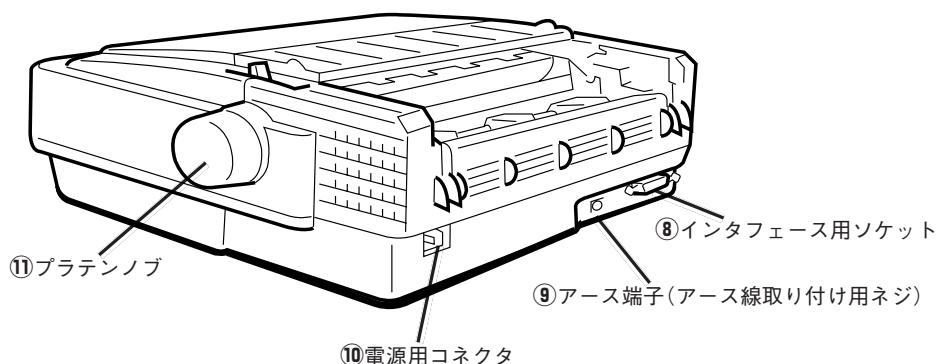
電源をON/OFFするスイッチです。本プリンタは、電源スイッチをONにすると次のような動作を行います。

1. 操作パネルのすべてのランプが点灯します。
2. 印字ヘッドが左端に移動します。(すでに左端にあった場合には移動しません。)
3. 用紙がセットされていれば、電源ランプ、給紙ランプ(どちらか片方)、印字可ランプ以外のランプは消灯します。用紙がセットされていないときは、電源ランプ、給紙ランプ(どちらか片方)、用紙ランプ以外のランプが消灯します。

⑥ **操作パネル**

プリンタを動作させたり、設定を変更したり、状態を表示したりするためのスイッチ、ランプ、インジケータがある部分です。詳細については第4章「PC-PR101/63を使いこなそう」で説明しています。

⑦ **カードスロット**

カードスロットには何も取り付けないでください(誤動作防止のため)。

⑧ **インタフェース用ソケット**

インタフェースケーブル(プリンタケーブル)を接続するためのソケットです。コンピュータから送られてくる印字データの入り口にあたります。

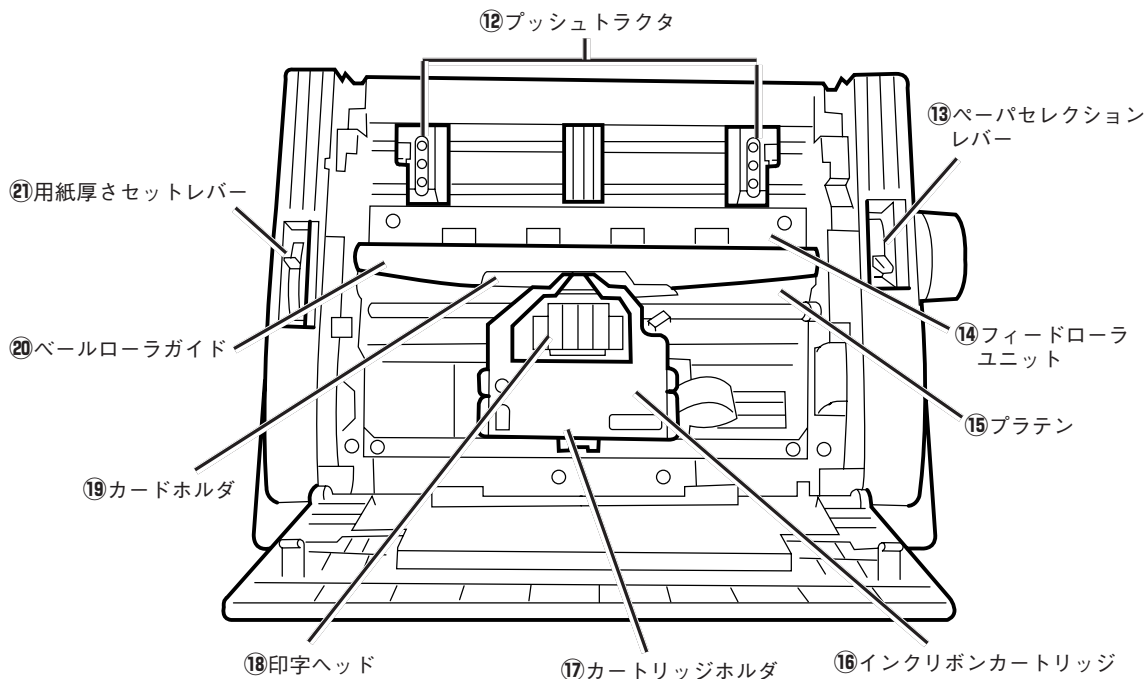
⑨ **アース端子(アース線取り付け用ネジ)**

アースを取るための端子です。アース設備に接続してプリンタを使用することをお勧めします。

⑩ **電源用コネクタ**

電源コードの三極プラグを接続するためのコネクタです。

⑪ **プラテンノブ**

プラテンを回転させ、手動で用紙を送るためのつまみです。時計方向に回すと用紙が順方向に送られます。紙づまりなどのときに使います。

⑫ プッシュトラクタ

連続紙に印字するときに使います。トラクタカバー、トラクタピン、ロックレバーなどから構成されています。

⑬ ペーパセレクションレバー

使用する用紙がカット紙か連続紙かによって用紙送りの方式を切り替えるレバーです。カット紙を使用するときは手前側に、連続紙を使用するときは奥側にします。

⑭ フィードローラユニット

用紙を引き上げ、用紙送りを安定させるユニットです。フィードローラとベールローラガイドで構成されています。

⑮ プラテン

用紙の裏面をささえるゴム棒です。回転することによって用紙を送ります。

⑯ インクリボンカートリッジ

インクリボンをおさめたカートリッジです。インクリボンは、このカートリッジごと交換します。

⑰ カートリッジホルダ

インクリボンカートリッジを取り付ける部分です。

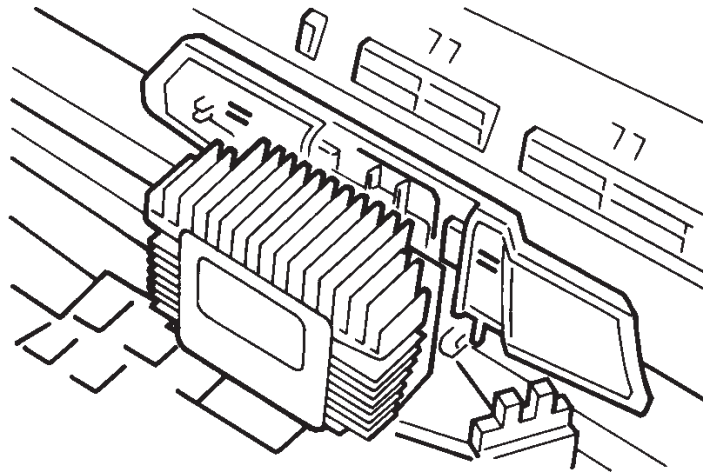
⑱ 印字ヘッド

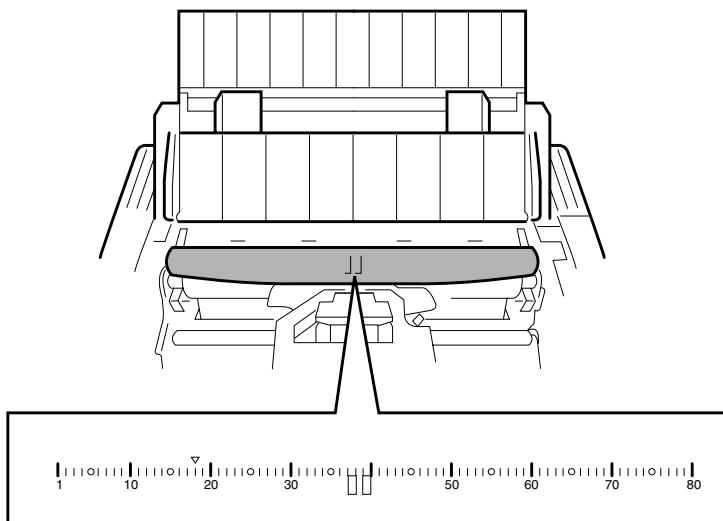
インクリボンをはさんで用紙に打ちつける部分です。

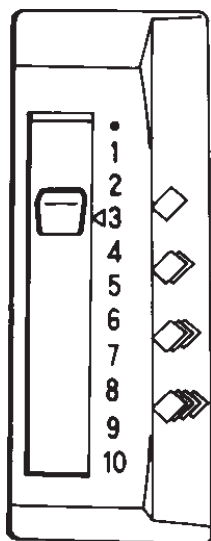
重要

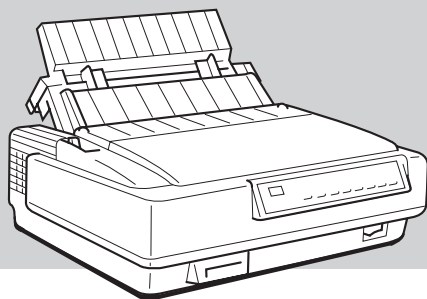
印字ヘッドは動作にともなって発熱するので、連続印字後はしばらく手を触れないでください。

⑲ カードホルダ

プリンタが用紙を吸入したり印字したりするときに用紙をささえる透明なプラスチック板です。カードホルダの左右には、印字行位置の目安となる2本の凸状の線があります(文字はこの線の間に印字されます)。

⑳ ベールローラガイド

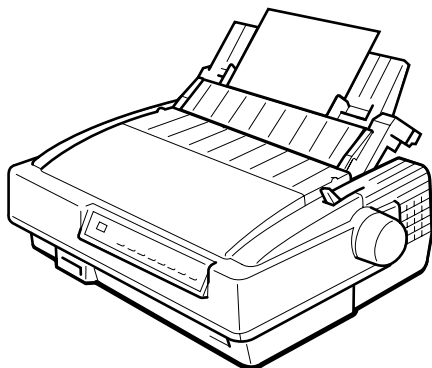
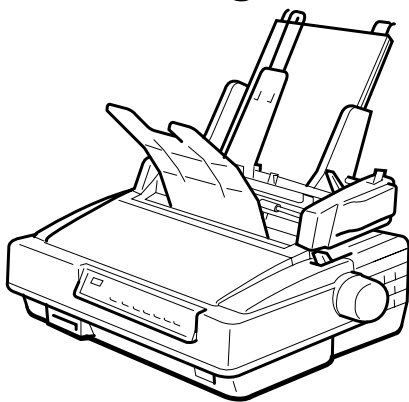
用紙排出を案内するためのプラスチック板です。表面に印字桁位置の目安となる目盛り(カラムスケール)が刻印されています。

㉑ 用紙厚さセットレバー

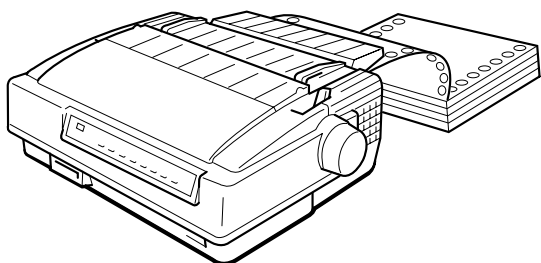
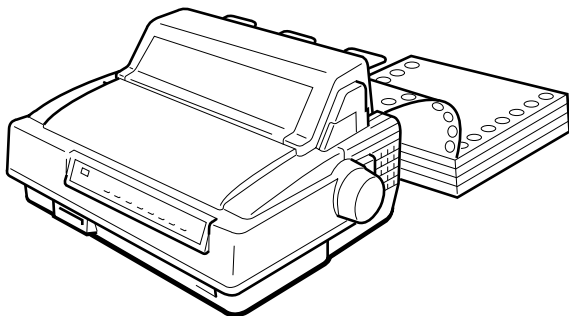
プラテンと印字ヘッドとの間隔を11段階で調整するレバーです。これにより、用紙の厚さや複写式用紙の複写枚数に合った最適な印字濃度(印字圧力)が得られます。

用紙、枚数	レバー位置の目安
坪量64g/m²(連量55kg)1枚	3
坪量81.4g/m²(連量70kg)1枚	4
坪量39.5g/m²(連量34kg)4枚	7
はがき	6

プラテンと印字ヘッドの間隔は10(いちばん手前)が最大、0(いちばん奥)が最小となります。用紙にインクリボンの汚れが付くようなときは間隔が狭すぎるのでレバーを10の方へ動かします。文字が薄くて不鮮明なときは0の方へ動かします。このようにして、きれいに印字される位置にレバーを調整します。

レバーの位置が6〜10の範囲にあるときは、印字速度が少し遅くなります。

3章
用紙の取り扱い

本プリンタに用紙をセットするときは、どんな用紙を使うのか、どのような目的で印字するのかによって、用紙のセット方法を選択します。

カット紙やはがきに印字する場合

■ 1枚ずつ手差しでセットする。
→シートガイド

■ 大量のカット紙やはがきに連続して印字する。
→シートフィーダ（オプション）

連続紙に印字する場合

■ 普通の連続紙に印字する。
→プッシュトラクタ

■ 正確な用紙送りが必要な連続紙（複写式の連続紙など）に印字する。
→プッシュトラクタ
＋トラクタフィーダ（オプション）

この章では、標準構成（オプションなし）での各種用紙の取り扱い方法について説明します。オプションを使用するときは第7章「オプション」をご覧ください。

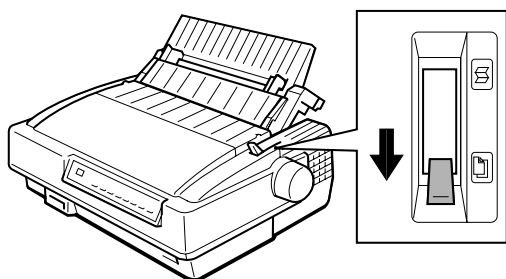
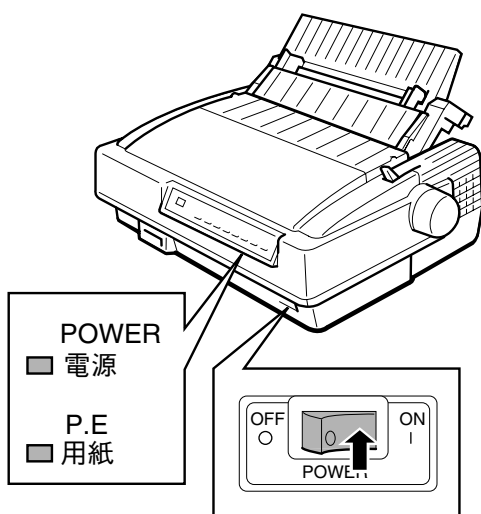
カット紙への印字 –シートガイドを使う–

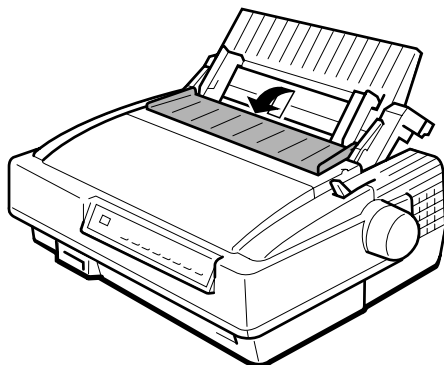
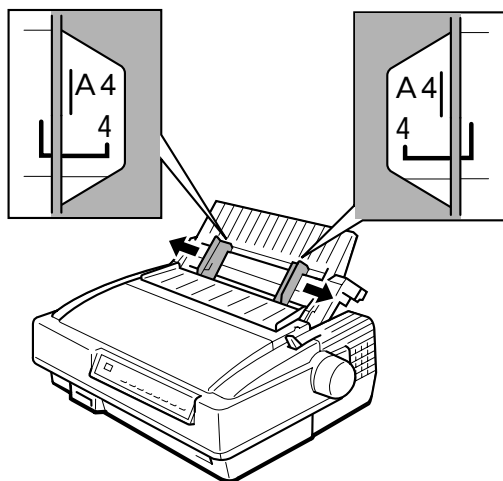
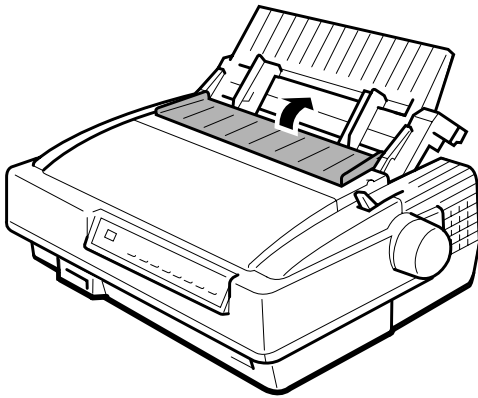
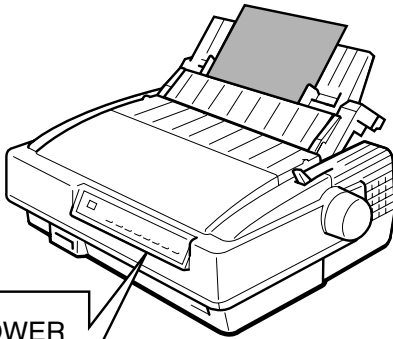
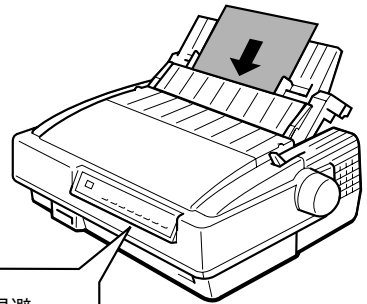
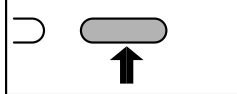
カット紙のセット・吸入

次の手順でカット紙をセット・吸入してください。

❶ シートガイドを取り付けます。

❷ ペーパセレクションレバーを手前側(カット紙側)にします。

❸ セットするカット紙の厚さに応じて、用紙厚さセットレバーを適切な位置に動かします。

❹ 電源をONにします。電源ランプと用紙ランプが点灯します。

❺ シートガイドカバーを開けます。シートガイドを手で押さえながらシートガイドカバーを引き上げ、手前に倒してください。

❻ シートガイド上の用紙スケールを参考にして、左右のペーパセットピースを使用するカット紙の幅に合わせます。

❼ シートガイドカバーを閉じます。

❽ カット紙を水平にしてペーパセットピースの間に挿入し、突き当たるまで差し込みます。印字する面を下にしてセットしてください。用紙ランプが消灯すればセット完了です。

❾ 吸入/退避スイッチを押します。カット紙が自動的に吸入されます。

チェック

ここで、カット紙の吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは「用紙吸入位置の微調整」(49ページ)をご覧ください。

❿ 印字可スイッチを押して印字可ランプを点灯させます。（吸入位置を微調整した場合には、この操作は必要ありません。）

これで、プリンタはコンピュータから受信した印字データをカット紙に印字できる状態になりました。

チェック

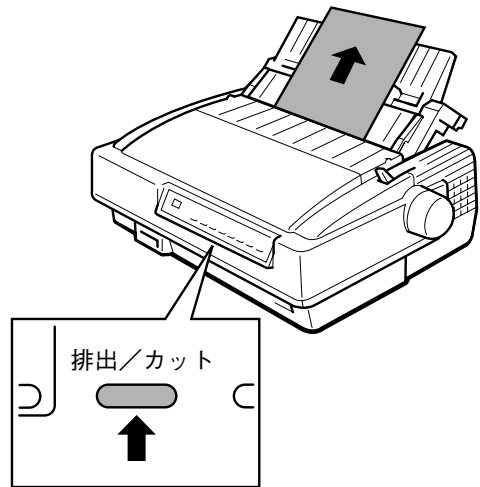
- カット紙は水平にセットしてください。傾いて吸入された場合は、いったんカット紙を排出し、セットし直してください。
- 印字の途中で用紙がなくなった(用紙ランプ点灯)場合は、新しいカット紙をセット・吸入してから印字可スイッチを押してください。続きが印字されます。

重要

- シートガイドには連続紙をセットしないでください。紙づまりやその他のトラブルの原因になります。
- 印字範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印字ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

カット紙の排出

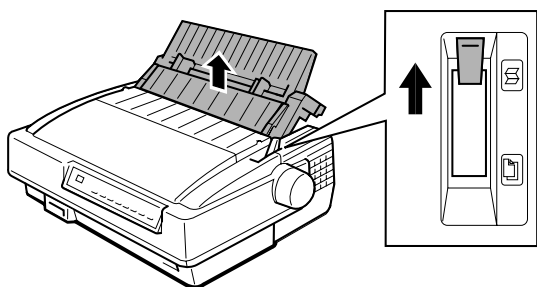
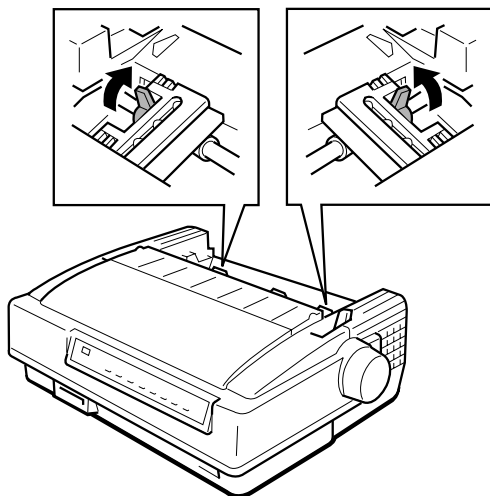
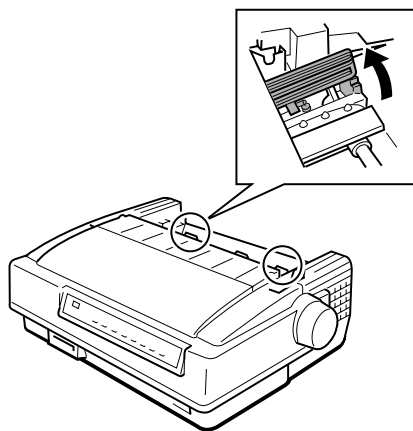
カット紙を排出する場合は、プリンタがディセレクト状態(印字可ランプ消灯)であることを確認してから排出/カットスイッチを押します。

次のページを印字する場合は、排出したカット紙を取り除き、新しいカット紙をセット・吸入してください。

連続紙への印字－プッシュトラクタを使う－

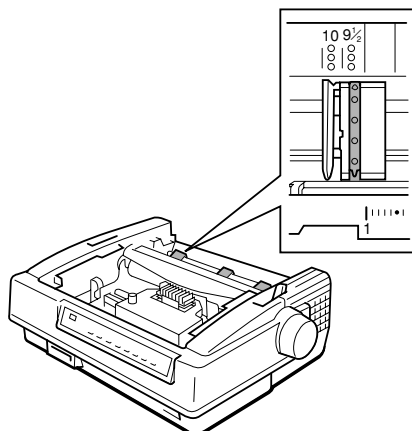
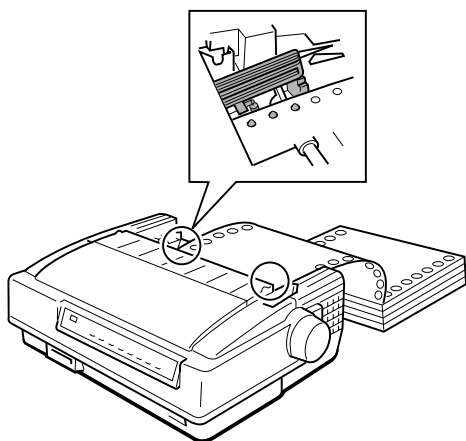
連続紙のセット・吸入

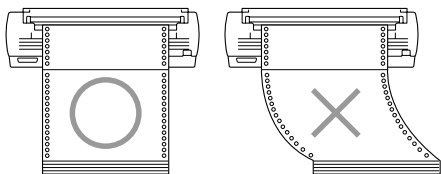
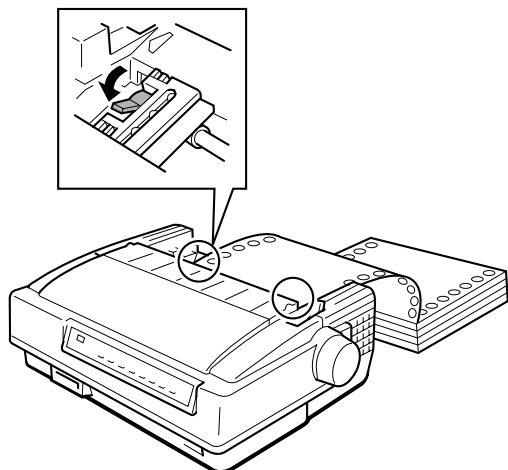
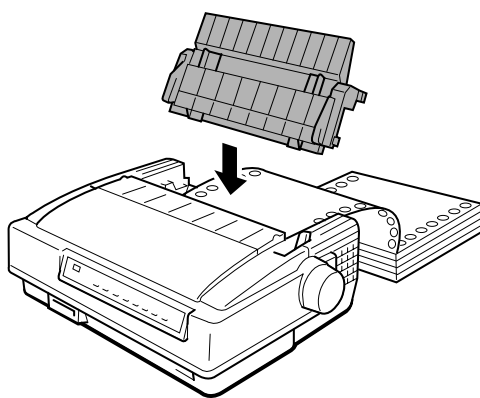
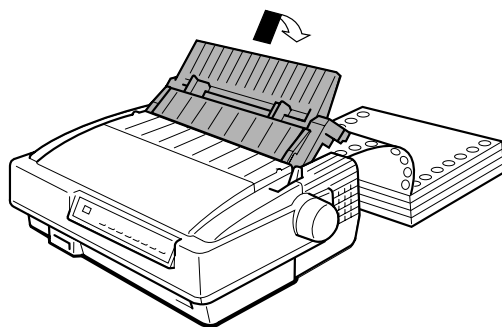
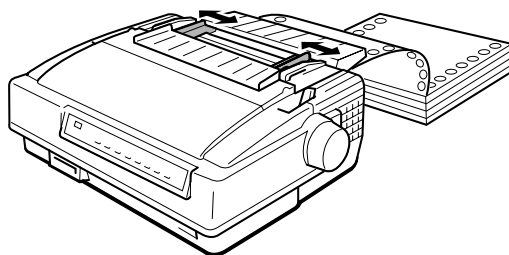
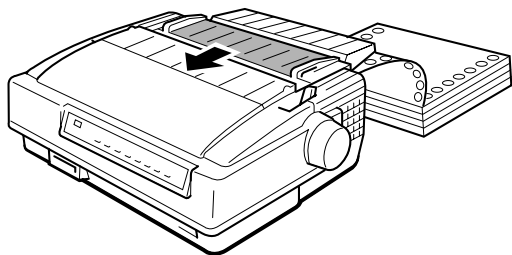
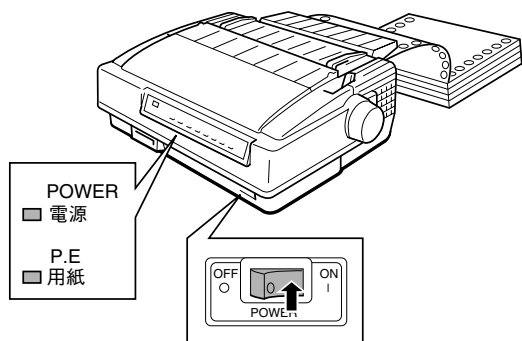
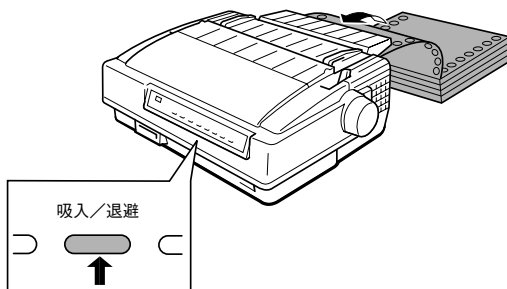
次の手順で連続紙をセット・吸入してください。

❶ ペーパセレクションレバーを奥側（連続紙側）にします。

❷ シートガイドを取り外します。シートガイドをななめ後方へ引き上げてから、真上に持ち上げてください。

❸ 左右のトラクタのロックレバーを奥側にしてロックを解除します。

❹ 左右のトラクタカバーを開けます。

❺ ベールローラガイド上の目盛り（カラムスケール）を目安にしながら、左右のトラクタをほぼ連続紙の幅に合わせます。また、センタガイドを左右のトラクタの中央にくるように移動します。

リアパネル上に254mm（10インチ）および241.3mm（9.5インチ）幅の連続紙セット位置が刻印されています。左のトラクタをこのマークに合わせて位置決めすると便利です。

❻ トラクタの位置を微調整しながら連続紙の先端左右の用紙送り穴をトラクタピンに差し込み、トラクタカバーを閉じます。連続紙は印字する面を下にしてセットしてください。

チェック

セットする連続紙のストック分は、プッシュトラクタの連続紙セット位置に対して鉛直線上で、プリンタ本体と平行にしてください。

❼ 連続紙が左右方向にたるまないようにトラクタの位置を決めたら、左右のロックレバーを手前側にしてロックします。

❽ シートガイドを取り付けます。

❾ シートガイドをななめ後方へ引き上げて奥へ倒し、手前に引き寄せてロックします。

❿ シートガイドカバーを開け、左右のペーパセットピースを使用する連続紙の幅に合わせます。

⓫ シートガイドカバーを完全に閉じて、手前に引き寄せてロックします。

⓬ 電源をONにします。電源ランプと用紙ランプが点灯します。

⓭ 吸入／退避スイッチを押します。連続紙が自動的に吸入され、用紙ランプが消灯します。

ここで、連続紙の吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは「用紙吸入位置の微調整」（49ページ）をご覧ください。

⓮ セットした連続紙の厚さに応じて、用紙厚さセットレバーを適切な位置に動かします。

⓯ 印字可スイッチを押して印字可ランプを点灯させます。（吸入位置を微調整した場合には、この操作は必要ありません。）

これで、プリンタはコンピュータから受信した印字データを連続紙に印字できる状態になりました。

印字範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印字ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

連続紙のカット

使用している連続紙が坪量46.5〜81.4g/m²(連量40〜70kg)の上質紙で1枚の場合、連続紙のカット機能を使うことができます。カット機能とは、連続紙をカット位置(ミシン目がシートガイドカバーのエッジにそろう位置)まで送り出し、カット後次ページの先頭位置(用紙の吸入位置)まで自動的に逆送りする機能です。これにより、連続紙をむだなく使用することができます。

✔チェック

- カット機能を使うためには、あらかじめ連続紙の用紙長を正しく設定しておく必要があります。第4章の「メモリスイッチ設定を変更する」(72ページ)を参照してください。
- 印字終了後トラクタにかかっている連続紙が残り少ない場合は、カット機能は働きません。

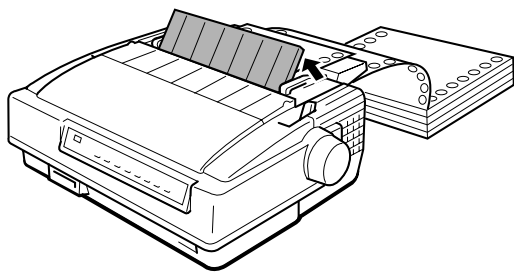
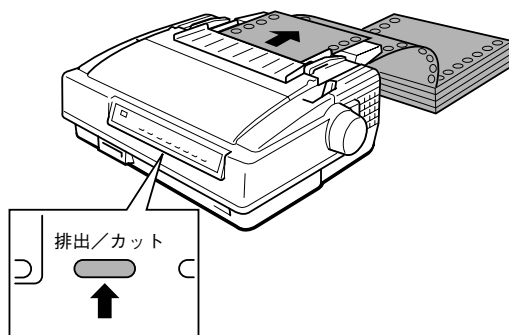
カット機能を使わないで連続紙をカットするときには「プラテンノブを使う」(45ページ)をご覧ください。

カット機能を使う

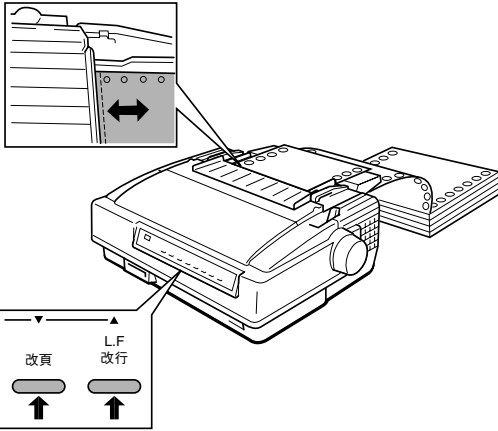
印字が終了したら、カット機能を使う前に連続紙の現在の位置を確認してください。印字位置がページの途中にある場合は手順❶から、印字位置がページの先頭(印字第1行目にある場合は手順❸から始めてください。

❶ **印字可スイッチを押してプリンタをディセレクト状態(印字可ランプ消灯)にします。**

❷ **改頁スイッチを押して連続紙を改ページします。**

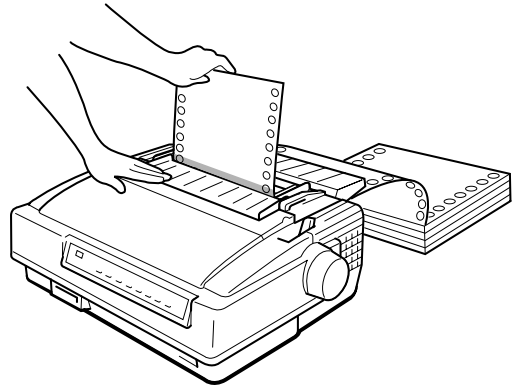
❸ **シートガイドカバーを手前にロックした状態のまま開けます。**

❹ **排出/カットスイッチを押します。連続紙がカット位置まで送られます。**

✔チェック

同時にインジケータには と表示され、プリンタはカット／位置の微調整モードになります。カット位置を微調整する必要がないときは手順❻に進んでください。

❺ **カット位置を微調整します。▼スイッチを押して連続紙を多めに戻してから、ミシン目がシートガイドカバーのエッジにそろうまで▲スイッチを押してください。**

▲スイッチと▼スイッチの機能は次の表のとおりです。

スイッチ	1回押す	1秒以上押す
▲スイッチ	約0.4mm （2/120インチ） 順方向に用紙を送る	連続して送る
▼スイッチ	約4.2mm （20/120インチ） 逆方向に用紙を送る	（連続動作なし）

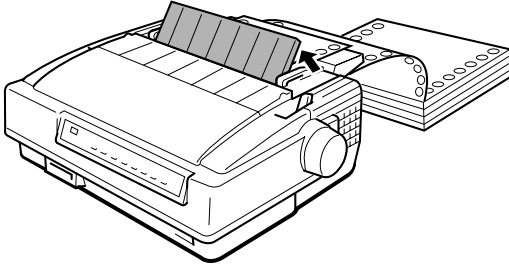
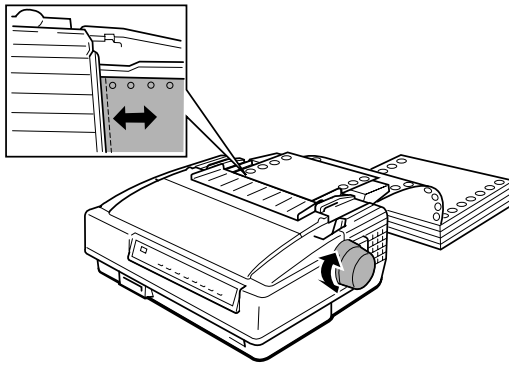
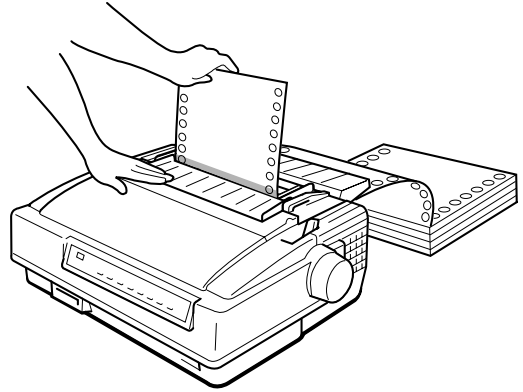
- 用紙送りには両方向とも限界位置があります。
- 設定した新しいカット位置は記憶され、次からのカット機能実行時のカット位置になります。

❻ **シートガイドカバーを手で押さえながら、連続紙を手前に引っ張ってカットします。**

❼ **印字可スイッチを押してプリンタをセレクト状態（印字可ランプ点灯）にします。連続紙がもとの位置まで戻ります。**

排出／カットスイッチを押して連続紙をカット位置に送ってから、またはカット位置の微調整を終了してから約8秒経過すると、連続紙は自動的にもとの位置に戻りますが、プリンタはディセレクト状態（印字可ランプ消灯）のままです。

プラテンノブを使う

プラテンノブを回して、手動で連続紙をカット位置まで送り出す方法です。

❶ **シートガイドカバーを手前にロックした状態のまま開けます。**

❷ **シートガイドカバーのエッジにミシン目がそろうまで、プラテンノブを時計方向に回します。**

❸ **シートガイドカバーを手で押さえながら、連続紙を手前に引っ張ってカットします。**

❹ **プラテンノブを反時計方向に回して、連続紙を次の印字開始位置まで戻します。**

はがきへの印字－シートガイドを使う－

はがき印字に関する注意

はがきは一般の用紙に比べると、その取り扱いに注意が必要です。はがきに印字するときは、付録の「用紙の規格と印字範囲」(130ページ)のはがきの項目をよく確認した上で、以下の点に注意して印字してください、

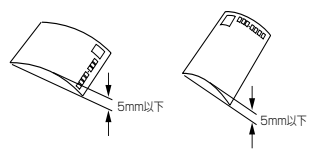
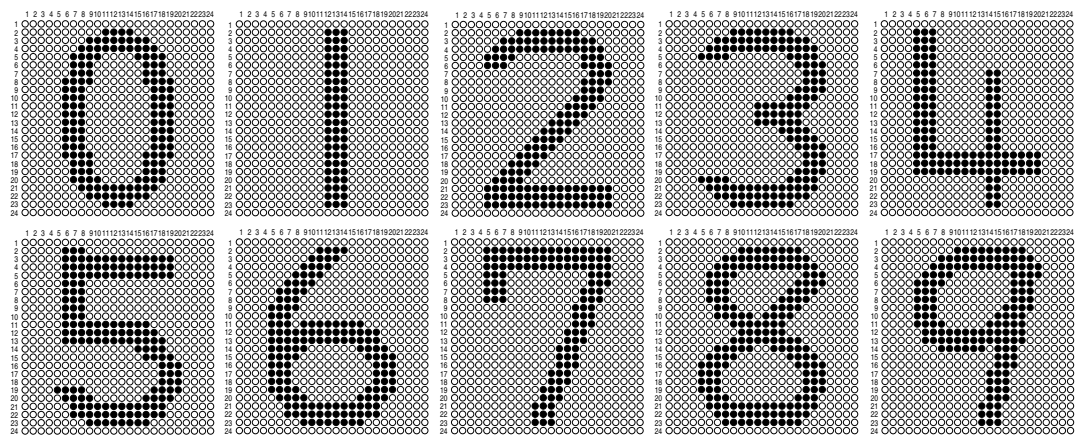
■ はがきを保管するときは、はがきのカール(反り)を防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください。

■ はがきへの印字は、環境温度、湿度がそれぞれ10～35℃，45～70％の場所で行ってください。

■ はがきがカールしているときは、平らな状態にしてからセットしてください。カールが小さいときは凹部が上側になるようにセットしてください。

■ はがきの両面に印字するときは、片面印字後必ずカールを直してから反対面に印字してください。

■ コンピュータの画面ハードコピーによってはがきに印字することは避けてください。プリンタに送られる印字データは、はがきの印字範囲をはみ出します。

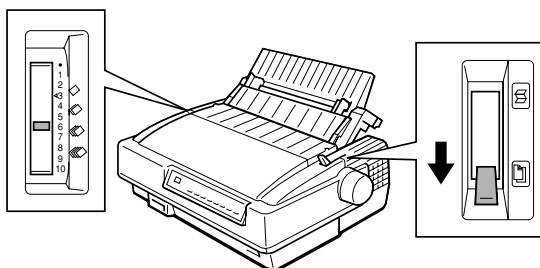
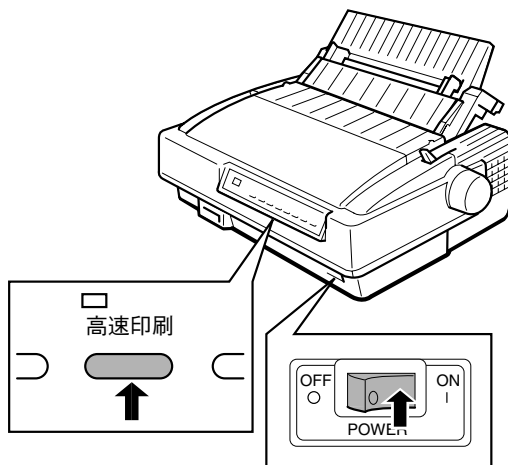
■ 印字したはがきを投函するときは、カールが5mm以下になるように直してください。カールしていると、郵便番号読取機が番号を読み取れないことがあります。

■ お手持ちのソフトウェアで外字登録を行うことができる場合、下記の日本郵政公社推奨の郵便番号パターンを登録してご使用になることをお勧めします。

はがきのセット・吸入

シートガイドを使ってはがきに印字する場合は、事前に官製はがきと同等の用紙(添付の模擬はがきなど)を使って試し印字を行い、印字位置や印字濃度を調整してから実際のはがきに印字してください。

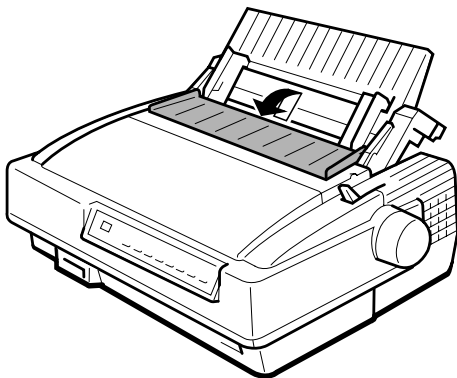
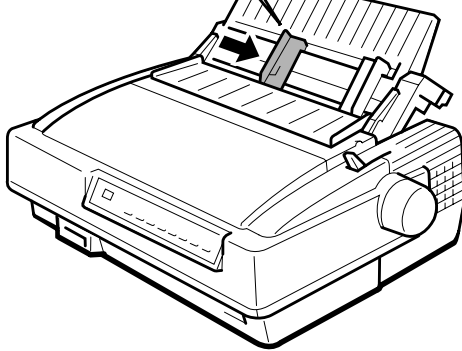
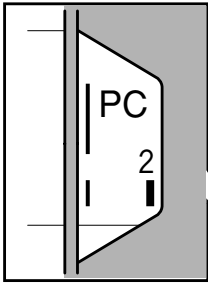
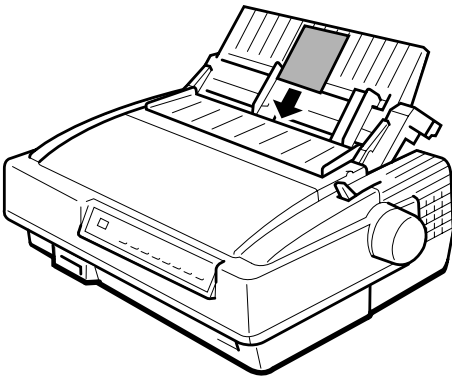
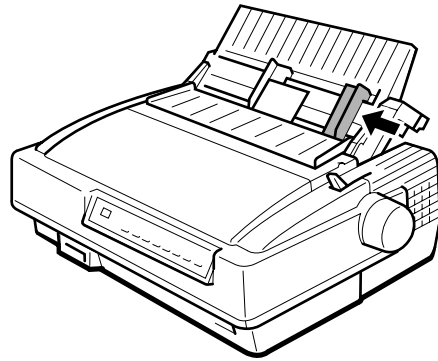
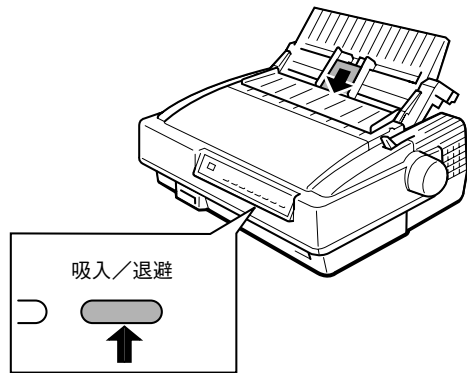
❶ シートガイドを取り付けます。

❷ ペーパセレクションレバーを手前側(カット紙側)にします。

❸ 用紙厚さセットレバーを6の位置にします。

これは、はがき印字時のレバーの推奨位置です。はがきに印字したときにインクリボンの汚れが付着したり文字が不鮮明だったりしたときは、用紙厚さセットレバーの位置を調整してください。

❹ 高速印字スイッチを押しながら電源をONにします。高速印字スイッチは、インジケータにPCと表示されるまで押し続けてください。PCが5回点滅して、ハガキモードが選択されます。

チェック

この後インジケータにはPCとoFが交互に表示されます。PCはハガキモードが選択されていることを、oFは高速印字が選択されていないことを示しています。

❺ シートガイドを手で押さえながら、シートガイドカバーを開けます。

❻ 左側のペーパセットピースの用紙端ガイド部を、シートガイド上の用紙スケールの“PC”の位置に動かします。

❼ 左側のペーパセットピースに沿ってはがきを水平に、突き当たるまで差し込みます。印字する面を下にしてセットしてください。用紙ランプが消灯すればセット完了です。

❽ 右側のペーパセットピースをはがきの幅に合わせて移動します。このとき、はがき右端とペーパセットピースの間にわずかなすきま(約0.5mm)を残すようにしてください。

❾ 吸入／退避スイッチを押します。はがきが自動的に吸入されます。

ここで、はがきの吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは「用紙吸入位置の微調整」(49ページ)をご覧ください。

❿ はがきが確実に吸入されたことを確認してから、印字可スイッチを押して印字可ランプを点灯させます。(吸入位置を微調整した場合には、この操作は必要ありません。)

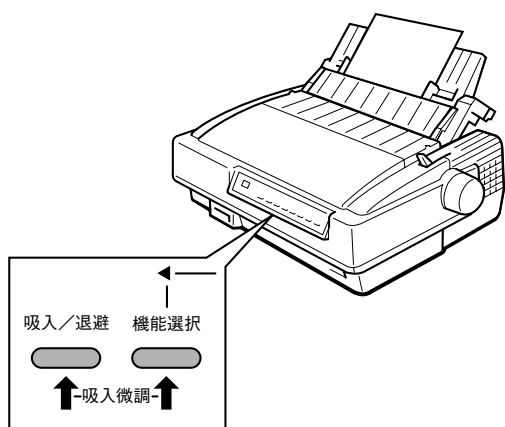
これで、プリンタはコンピュータから受信した印字データをはがきに印字できる状態になりました。

- はがきの吸入時あるいは印字中に紙づまり、改行不良などが発生した場合には、電源をOFFにしてから手作業またはプラテンノブを回してはがきを取り除いてください。
- 手順❹で選択されたハガキモードは電源をOFFにすると解除されます。電源をOFFにしてもハガキモードが解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキモードを選択してください(第4章の「パラメータ設定を変更する」(69ページ)参照)。

用紙吸入位置の微調整

用紙を吸入したとき、用紙吸入位置を微調整することができます。吸入位置はカット紙、連続紙、はがきに対して個別に設定できます。たとえばカット紙吸入時に吸入位置を微調整した場合、その設定は次からのカット紙の吸入位置になりますが、連続紙やはがきの吸入位置には影響しません。

❶ 吸入／退避スイッチを押して用紙(カット紙、連続紙、はがき)を吸入します。

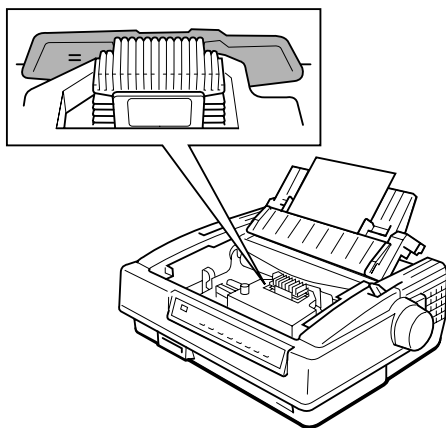
❷ 機能選択スイッチを押しながら吸入／退避スイッチを押します。インジケータには AJ と表示され、プリンタは用紙吸入位置の微調整モードになります。

❸ トップカバーを開けます。

❹ ▲スイッチと▼スイッチを使って用紙吸入位置を微調整します。

▲スイッチと▼スイッチの機能は次の表のとおりです。

スイッチ	1回押す	1秒以上押す
▲スイッチ	約0.4mm (2/120インチ) 順方向に用紙を送る	連続して送る
▼スイッチ	約4.2mm (20/120インチ) 逆方向に用紙を送る	(連続動作なし)

チェック

- まず▼スイッチで用紙を多めに戻してから▲スイッチで微調整するようにしてください。
- カードホルダの左右にある上下2本の凸状の線の間に印字第1行目がくるので、用紙吸入位置を調整するときの目安にしてください。

❺ トップカバーを閉めます。

❻ 印字可スイッチを押して印字可ランプを点灯させます。これで新しい吸入位置がプリンタに記憶されます。

- ▲スイッチを押し続けると約0.4mm（2/120インチ）単位で連続して用紙送りされますが、工場出荷時の基準位置になると停止し、インジケータに[-C]と表示されます。さらに用紙を送りたいときは、あらためて▲スイッチを押してください。

  用紙吸入の基準位置は次のとおりです。

用紙の種類	用紙上端から印字第1行目までの距離
カット紙（シートガイド使用時）	23.6mm（文字中央まで）
連続紙	23.6mm（文字中央まで）
はがき	11.5mm（文字中央まで）
カット紙（シートフィーダ使用時）	8.0mm（文字中央まで）

- 用紙吸入位置の微調整範囲は、用紙上端から印字第1行目（文字中央）までの距離が8～26mmになる範囲です。

カット紙と連続紙の切り替え印字

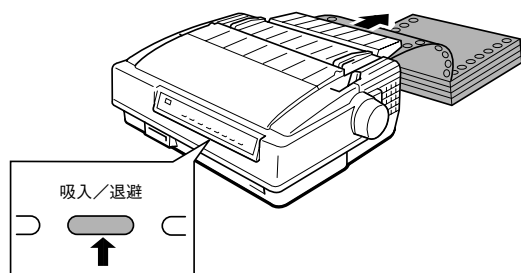
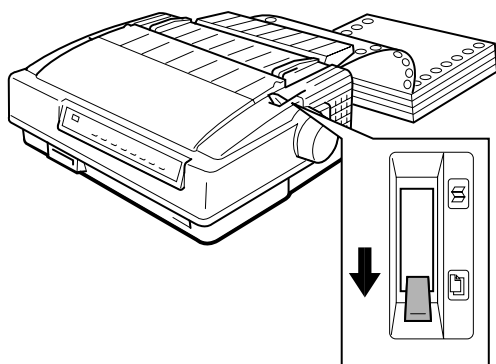
吸入されている連続紙は、吸入／退避スイッチを押すことにより吸入前の位置（連続紙のセット位置）まで戻すことができます。この機能を使えば、セットした連続紙をいちいち取り除かないでもカット紙に印字することができます。カット紙と連続紙に交互に印字したいときに便利な機能です。

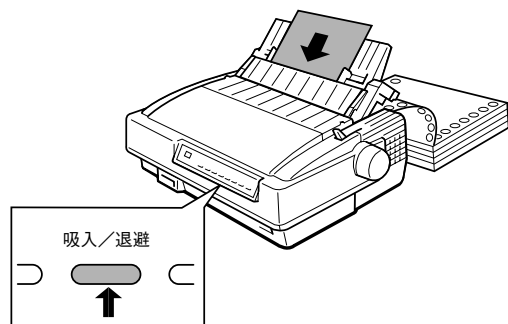
連続紙からカット紙への切り替え

連続紙への印字が終わってカット紙への印字に切り替えるときは、連続紙の先端をセット位置まで戻してからカット紙をセットします。

❶ 印字の終了した連続紙を、そのページまでカットします（「連続紙のカット」（43ページ）参照）。

❷ 印字可スイッチを押して、プリンタをディセレクト状態（印字可ランプ消灯）にします。

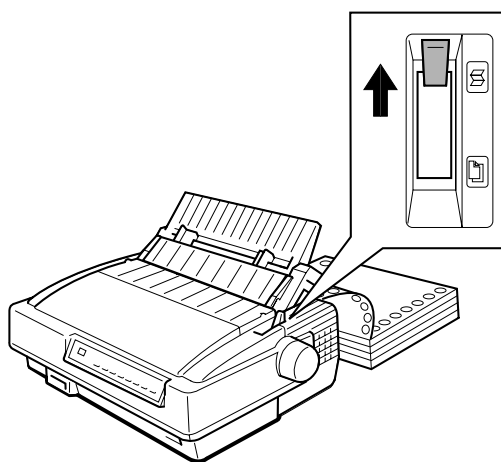
❸ 吸入／退避スイッチを押します。連続紙はセット位置に戻ります（連続紙の一時退避）。

❹ ペーパセレクションレバーを手前側（カット紙側）にします。

❺ カット紙をセットします（「カット紙のセット・吸入」（37ページ）参照）。

❻ 吸入／退避スイッチを押します。カット紙が吸入されます。

❼ 印字可スイッチを押してプリンタをセレクト状態（印字可ランプ点灯）にします。これでカット紙に印字できます。

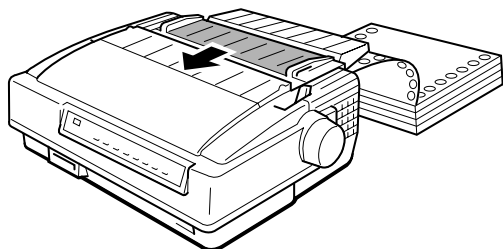
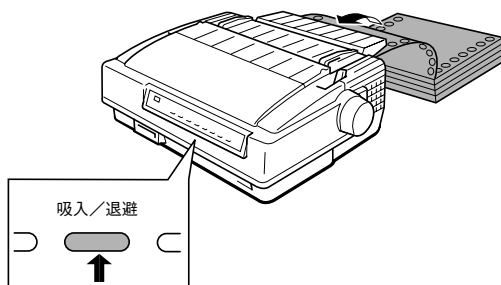
カット紙から連続紙への切り替え

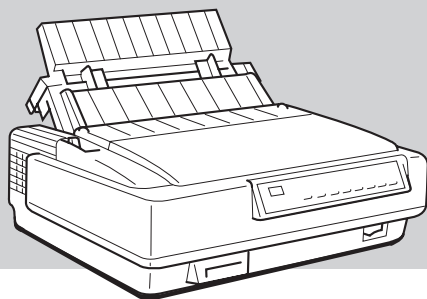
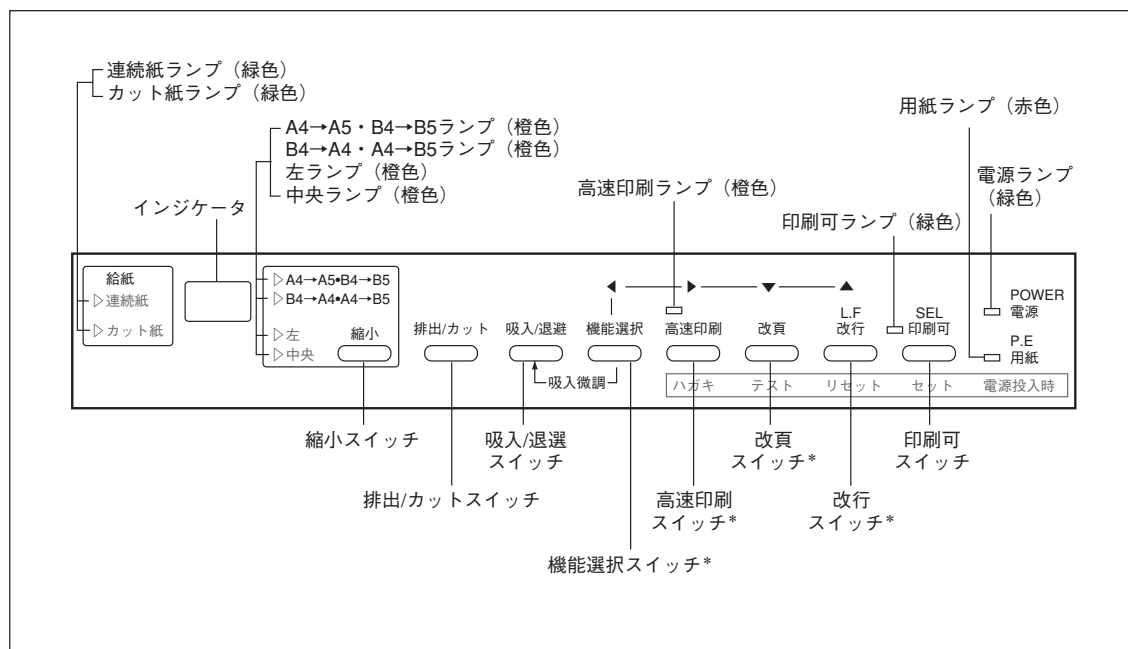
カット紙への印字が終わって連続紙への印字に切り替えるときは、カット紙を排出してから一時退避させておいた連続紙を吸入します。

❶ 印字可スイッチを押してプリンタをディセレクト状態（印字可ランプ消灯）にします。

❷ カット紙が吸入されている場合は、排出/カットスイッチを押して排出します。

❸ ペーパセレクションレバーを奥側（連続紙側）にします。

❹ シートガイドをななめ後方へ引き上げて奥へ倒し、手前に引き寄せてロックします。

❺ シートガイドカバーを完全に閉じて、手前に引き寄せてロックします。

❻ 吸入／退避スイッチを押します。連続紙が吸入されます（連続紙の復帰）。

❼ 印字可スイッチを押してプリンタをセレクト状態（印字可ランプ点灯）にします。これで連続紙に印字できます。

4章 PC-PR101/63を使いこなそう

本プリンタは、プリンタの操作が簡単にできるように、操作に必要な表示器やスイッチ類をプリンタ前面の操作パネルにまとめています。操作パネルにはプリンタを操作するための8個のスイッチ、およびプリンタの状態やエラーをユーザに知らせるための2桁のインジケータと10個のランプがあります。

* インジケータを見ながらスイッチを押して操作するような場面では、機能選択スイッチ、高速印字スイッチ、改頁スイッチ、および改行スイッチの4つを、各スイッチ上段にある表記「◀▶▼▲」に従ってそれぞれ◀スイッチ、▶スイッチ、▼スイッチ、▲スイッチと呼びます。

ランプの表示

操作パネルには10個のランプがあります。各ランプは点灯あるいは点滅することによってプリンタの状態を知らせます。各ランプの表示の意味は次の表のとおりです。

<table>
<tr><th>ランプ</th><th>状　態</th><th colspan="2">意　　味</th></tr>
<tr><td>電源ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">プリンタの電源が入っています。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">用紙がセットされていません。または、セットされている用紙にこれ以上印字できません。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td colspan="2">プリンタにエラーが発生しています。第6章の「エラー表示一覧」（92ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">印刷可ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">プリンタがセレクト状態（印字データを受信できる状態）になっています。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td colspan="2">プリンタがディセレクト状態（印字データを受信できない状態）になっています。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点滅</td><td>用紙ランプ消灯</td><td>プリンタ内に未印字データが残っています。（印刷可スイッチを押すと印字が再開します。）</td></tr>
<tr><td>用紙ランプ点灯</td><td>プリンタ内に未印字データが残っています。（用紙をセット・吸入してから印刷可スイッチを押すと印字が再開します。）</td></tr>
<tr><td>用紙ランプ点滅</td><td>プリンタにエラーが発生しています。第6章の「エラー表示一覧」（92ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>高速印刷ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">高速印字が選択されています。</td></tr>
<tr><td>A4→A5・B4→B5ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">2/3縮小印字が選択されています。</td></tr>
<tr><td>B4→A4・A4→B5ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">4/5縮小印字が選択されています。</td></tr>
<tr><td>左ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">縮小基準位置は左端です。</td></tr>
<tr><td>中央ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">縮小基準位置は中央です。</td></tr>
<tr><td>連続紙ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">連続紙が使用できます。（ペーパセレクションレバーが連続紙側になっています。）</td></tr>
<tr><td>カット紙ランプ</td><td>点灯</td><td colspan="2">カット紙が使用できます。（ペーパセレクションレバーがカット紙側になっています。）</td></tr>
</table>

スイッチの基本機能

操作パネルには8個のスイッチがあります。スイッチの中には複数の機能を持つものがありますが、ここでは各スイッチの名称が示している基本的な機能についてのみ説明します。その他の機能については、この後の「プリンタの便利機能」(56ページ)で説明します。

各スイッチを単独で押したときの基本的な機能は次の表のとおりです。

スイッチ	機　能
印刷可スイッチ	押すごとに、データを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプ点灯）とできない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）が交互に切り替わります。 印字中にこのスイッチを押すと、印字が一時的に停止します。もう一度押すと印字が再開します。
改行スイッチ	印刷可ランプが消灯しているときにこのスイッチを押すと、4.23mm（1/6インチ）（1行分）用紙が送られます。1秒以上押し続けると、押している間連続して用紙が送られます。逆方向改行指定時でも用紙は順方向に送られます。
改頁スイッチ	印刷可ランプが消灯しているときにこのスイッチを押すと、連続紙は次のページのあらかじめ設定された吸入位置（1行目の印字位置）まで送られます。シートフィーダを使用しているときは次のカット紙が吸入されます。
高速印刷スイッチ	高速印刷ランプが消灯しているときにこのスイッチを押すと、高速印字が選択されます（高速印刷ランプ点灯）。 詳しくは、「高速印字」(57ページ)を参照してください。
機能選択スイッチ	印刷可ランプが消灯しているときにこのスイッチを押すと、次に示すようなプリンタの機能を選択できるようになります（**太字**は工場設定です）。 ■　印字音の大小（クワイエット印字の選択／**解除**）の切り替え ■　プリンタの登録文字の印字 ■　プリンタの設定状態の印字 詳しくは、「クワイエット印字」(57ページ)、「登録文字の印字」(62ページ)、および「現在の設定状態を確認する」(67ページ)を参照してください。
吸入/退避スイッチ	印刷可ランプが消灯しているときにこのスイッチを押すと、プリンタは用紙の吸入または退避（または排出）を行います。使用している用紙の種類や状態、用紙送りの方式によって、プリンタは次のように動作します。 カット紙使用時 用紙が吸入されていない：カット紙吸入 用紙が吸入されている　：カット紙排出（シートガイド） 　　　　　　　　　　　　カット紙排出後吸入（シートフィーダ） 連続紙使用時 用紙が吸入されていない：連続紙吸入 用紙が吸入されている　：連続紙退避 詳しくは、第3章「用紙の取り扱い」を参照してください。
排出／カットスイッチ	連続紙使用時にこのスイッチを押すと、連続紙がカット位置まで送り出されます。もう一度押すと、連続紙は吸入位置まで戻ります（逆方向に送られます）。 カット紙使用時にこのスイッチを押すと、セットされている用紙または吸入されている用紙が排出されます。 トラクタフィーダ使用時はこのスイッチは無効です。 詳しくは、第3章「用紙の取り扱い」を参照してください。
縮小スイッチ	印字が終了し、印刷可ランプが消灯しているときにこのスイッチを押すと、縮小印字が選択されます（A4→A5・B4→B5ランプと左ランプ点灯）。 詳しくは、「縮小印字」(57ページ)を参照してください。

インジケータの表示

操作パネルには2桁の数字や英字を表示できるインジケータがあります。インジケータの表示には、プリンタにエラーが発生したときに表示されるものと正常なプリンタを操作中に表示されるものとがあります。エラーの表示については、第6章の「エラー表示一覧」(92ページ)をご覧ください。その他の表示については、プリンタの操作の説明の中で必要に応じて説明します。付録の「インジケータ表示と操作一覧」(156ページ)も参照してください。

プリンタの便利機能

本プリンタには"コンピュータからのデータを印字する"、"用紙を送る"という基本的な機能のほかにも、いろいろな機能が用意されています。ここでは用紙の取り扱いに関すること以外でユーザが知っていると便利な機能について説明します。これらの機能の実行は、すべて操作パネルから行うことができます。

なおプリンタのさまざまな設定の変更も操作パネルから行うことができますが、これについては「プリンタの設定を変更する」(66ページ)で説明します。

強制リセット

プリンタを電源ON直後の状態(初期状態)に戻します。強制リセットすると、プリンタ内に残っている未印字データは消失します。

強制リセットするときは、印字可スイッチを押しながら改行スイッチを2回押してください。印字ヘッドが左端に移動します(すでに左端にあったときは移動しません)。

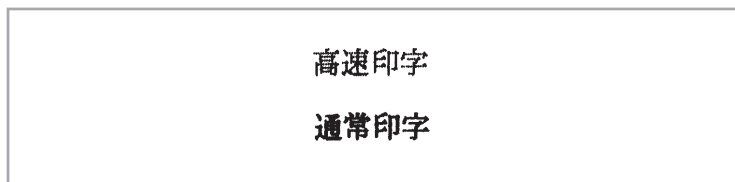
フォームズオーバライド

通常の最終印字行を超えて印字させたいときに使う機能です。

印字中に用紙が少なくなると用紙ランプが点灯し、さらにあらかじめ決められた印字範囲を印字し終わると印字動作が停止します。このときプリンタ内に未印字データが残っている(印字可ランプ点滅)場合には、ここで印字可スイッチを押すことにより、用紙ランプは点灯したままでさらに1行印字することができます。このフォームズオーバライド機能を何度か繰り返し使えば、用紙ギリギリ(用紙下端から約3mm)まで印字することも可能です。

- シートフィーダが取り付けられているときは、フォームズオーバライド機能は働きません。
- フォームズオーバライドを使って印字すると印字位置がばらつくことがあります。したがって合成印字(拡大、強調印字など)、罫線印字、絵の印字などを行っているときには、フォームズオーバライド機能は使わないでください。

高速印字

印字速度を上げて印字時間を短縮します。高速印字を選択すると、プリンタは通常の印字データを1ドットおきに印字するので、印字品質は通常印字より悪くなります。プログラムリストなど多量のデータを速く印字したいときに役立つ機能です。

高速印字
通常印字

- 高速印字を選択するときは、印字が終了していることを確認してから高速印字スイッチを押してください。高速印字ランプが点灯し、高速印字が選択されます。
- 高速印字を解除するときも、印字が終了していることを確認してから高速印字スイッチを押してください。高速印字ランプが消灯して、通常印字に戻ります。

クワイエット印字

印字音を小さくします。クワイエット印字を選択すると、プリンタは1行の印字データを2度に分けて印字するので音は静かになりますが、印字に要する時間が通常印字より長くなります。

クワイエット印字を選択・解除するときは、次の手順に従ってください。

❶ **印字可スイッチを押してプリンタをディセレクト状態(印字可ランプ消灯)にします。**

❷ **機能選択スイッチを押します。インジケータには [qu] と [oF] または [On] が交互に表示されます。**

❸ **▼スイッチまたは▲スイッチを押して [oF] と [On] を切り替えます。クワイエット印字を選択するときは [On]、解除するときは [oF] を表示させてください。**

❹ **印字可スイッチを押します。プリンタはセレクト状態(印字可ランプ点灯)になります。**

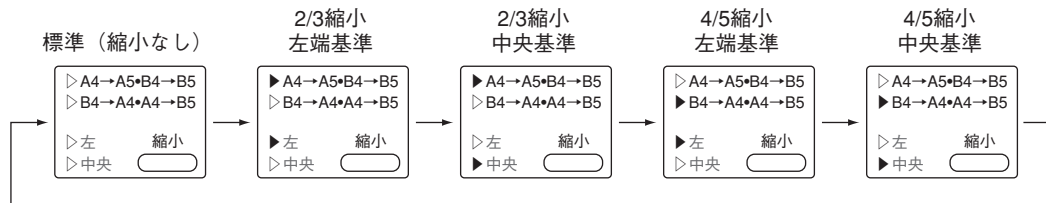
縮小印字

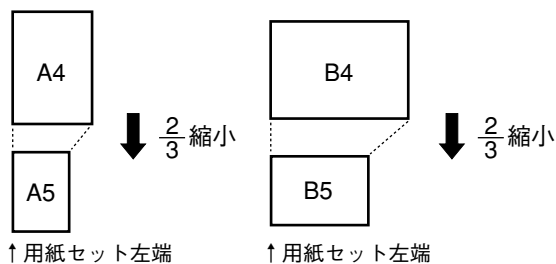
受信したデータを2/3または4/5に縮小して印字します。例えばB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印字したいようなときに役立つ機能です。

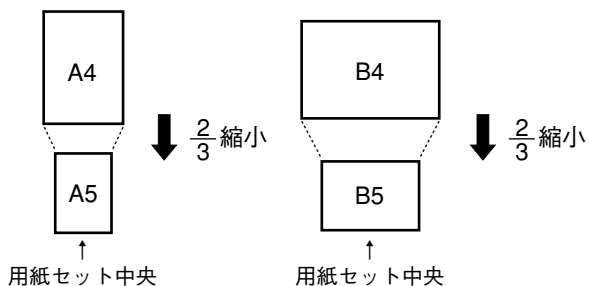
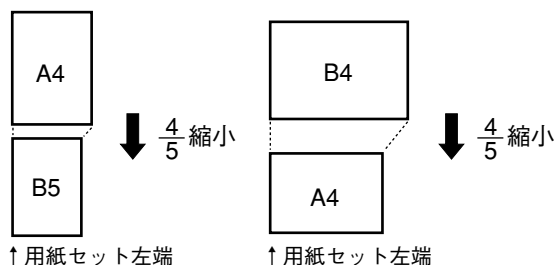
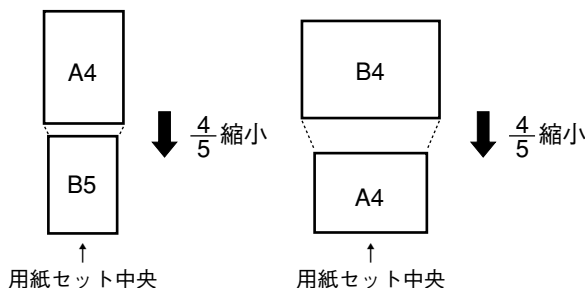
縮小印字を選択すると、PC-PR201系プリンタ用に作成されたデータを印字することができます(用紙サイズは限定されます)。そのときアプリケーションソフトウェアのプリンタ設定は、PC-PR201/63, PC-PR201/63AなどのPC-PR201系プリンタを選択してください。

縮小印字を選択するときには、次の手順に従ってください。

❶ **印字が終了し、印字可ランプが消灯していることを確認します。**

❷ **縮小スイッチを押します。押すごとに、縮小スイッチの左側にある4つのランプが次のように点灯または消灯して縮小率と縮小基準位置を表示します。**

■　2/3縮小、左端基準

左端基準で作成されたA4サイズのデータをA5サイズに縮小して印字します。

■　2/3縮小、中央基準

中央基準で作成されたA4サイズのデータをA5サイズに縮小して印字します。

■ 4/5縮小、左端基準
左端基準で作成されたB4サイズのデータをA4サイズに縮小して印字します。(B5→A5も可能です。)

■ 4/5縮小、中央基準
中央基準で作成されたB4サイズのデータをA4サイズに縮小して印字します。(B5→A5も可能です。)

左端基準/中央基準の選択について

アプリケーションソフトウェアを使用して縮小印字を行う場合、左端基準/中央基準の選択については以下のようにして決めてください。

■ 用紙を左端にセットして印字していた印字データを縮小する場合は、左端基準を選択し(左ランプ点灯)、用紙を左端にセットします。

■ 用紙を中央にセットして印字していた印字データを縮小する場合は、中央基準を選択し(中央ランプ点灯)、用紙を中央にセットします。

重要

- 受信したデータがプリンタ内に残っていると縮小スイッチが機能しません。このような場合は、データをすべて印字するまで待つか、強制リセットでプリンタを初期状態にしてから縮小印字を設定してください。
- 縮小印字を行う場合、用紙から印字がはみ出さないよう注意してください。
- ハガキモードのときは縮小印字はできません。
- 縮小印字の設定は、電源をOFFにすると解除されます。

受信データのHEXダンプ

プリンタが受信したデータを16進コードとデータに対応する文字で印字します。自作のプログラムで正しく印字できないようなとき、その原因を見つけるためにHEXダンプ機能を使います。

HEXダンプを行うときは、次の手順に従ってください。

❶ **A4サイズのカット紙を縦置きにしてプリンタの左端に合わせてセットし、吸入します。**

❷ **印字可スイッチを押しながら改頁スイッチを2回押します。未印字データがプリンタ内に残っていれば印字されます。**

❸ **印字可スイッチを押します。インジケータには Hd と表示されます。**

❹ **コンピュータからプリンタへ印字データを送ります。プリンタはSHSパイカ文字でHEXダンプを開始します。**

たとえばコンピュータから“日本電気”という印字データを受信した場合、HEXダンプは次のようになります。

```
1B 4B 46 7C 4B 5C 45 45 35 24 1B 48 0D 0A          .KF¦K¥EE5$.H..
```

❺ **HEXダンプを終了させるときは、印字可スイッチを押しながら改行スイッチを2回押してプリンタを強制リセットします。**

✔チェック

- HEXダンプを一時中断するときは印字可スイッチを押してください。もう一度押すと再開します。
- 途中で用紙がなくなった(用紙ランプ点灯)場合は、新しい用紙をセット・吸入してから印字可スイッチを押してください。続きが印字されます。

テスト印字

プリンタに内蔵されたすべての文字フォントを印字します。テスト印字によって、プリンタが正しく動作しているか、印字の状態(品質)はどうかを確認することができます。

次の手順でテスト印字を行ってください。

❶ **用紙がセットされていない状態で電源をONにします。**

❷ **用紙をセットし、吸入します。**

重要

テスト印字のときは必ず254mm(10インチ)幅の連続紙、またはA4サイズのカット紙を縦置きにしてプリンタ中央にセットしてください。これより幅の狭い用紙を使用すると、印字範囲が用紙からはみ出して印字ヘッドがプラテンを傷つけることがあります。

❸ **プリンタの電源をOFFにします。**

❹ **改頁スイッチを押しながら再度プリンタの電源をONにします。数秒後にテスト印字が始まるので、それまで改頁スイッチを押し続けてください。**

テスト印字は漢字から始まり、すべてのフォントを印字すると再び漢字から印字します。中止しないかぎりテスト印字が繰り返されます。なお、テスト印字の結果は付録の「テスト印字サンプル」(148ページ)に載っています。

❺ **テスト印字を終了させるときは、印字可スイッチを押しながら改行スイッチを2回押してプリンタを強制リセットします。**

チェック

- テスト印字中に印字可スイッチを押すとテスト印字が中断します。もう一度、印字可スイッチを押すとテスト印字が再開します。
- テスト印字中に機能選択スイッチを押すと、現在印字中の印字モードを中断して次の印字モードに移ります。
- 途中で用紙がなくなった(用紙ランプ点灯)場合は、新しい用紙をセット・吸入してから印字可スイッチを押してください。続きが印字されます。
- カラーインクリボンカートリッジを取り付けてテスト印字を行った場合、漢字モードのときは改頁スイッチを押すたびに黒→水色→赤紫→黄→緑→青紫→赤の順で色が切り替わります。漢字モード以外のときは、1行ごとに色が自動的に切り替わります。

登録文字の印字

プリンタに登録されている外字とダウンロード文字を印字します。プリンタにどのような文字が登録されているかを確認したいときには、次の手順で登録文字の印字を行ってください。

❶ **A4サイズのカット紙を縦置きにしてプリンタの左端に合わせてセットし、吸入します。**

❷ **プリンタがディセレクト状態(印字可ランプ消灯)になっていることを確認します。**

❸ **機能選択スイッチを押します。インジケータには qu が表示されます。**

❹ **インジケータに Ch が表示されるまで▶スイッチまたは◀スイッチを押します。**

❺ **▼スイッチを押します。プリンタは登録文字の印字を開始します。**

登録文字は次のような形式で印字されます。

■ 外字　○○○○ー●
○：登録アドレス(16進数表示)
●：印字される外字

■ ダウンロード文字　◎ー◇◇ー◆
◎：文字種を表すコード(下表参照)
◇：登録コード(16進数表示)
◆：1印字されるダウンロード文字

印字モード	文字種コード（◎）					
	7ビットコード				8ビットコード	
	英数	ひらがな	カタカナ	CGグラフィック	カタカナ	ひらがな
HDパイカ	1	A	Q	a	1	A
NHSパイカ	2	B	R	b	2	B
エリート	3	C	S	c	3	C
コンデンス	4	D	T	d	4	D
プロポーショナル	5	E	U	e	5	E

❻ **印字が終了したら、印字可スイッチを押します。プリンタはセレクト状態(印字可ランプ点灯)になります。**

✔チェック

- 用紙がセット・吸入されていない場合、登録文字の印字は行われません。
- 途中で用紙がなくなった(用紙ランプ点灯)場合は、新しい用紙をセット・吸入してから▼スイッチを押してください。続きが印字されます。
- プリンタがハガキモードのときは、登録文字の印字はできません。

罫線ぞろえ

罫線を印字したときに右方向印字の行と左方向印字の行で罫線の位置がずれていて、罫線がきれいにつながっていないことがあります。このようなときは、罫線ぞろえ機能を使うことによってきれいな罫線を印字できるようになります。罫線ぞろえを行うときは、まず罫線のずれ具合を確認するためのテストパターンを印字し、その結果を見ながら罫線のずれを修正します。次の手順に従ってください。

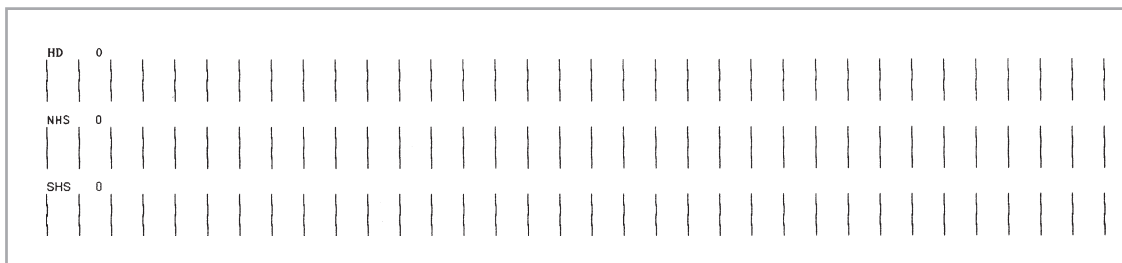
❶ **印字可スイッチを押しながらプリンタの電源をONにします。印字可スイッチは、インジケータに F 1 と表示されるまで押し続けてください。**

❷ **印字可スイッチをさらに2回ゆっくりと押します。インジケータには F 3 と表示されます。**

❸ **A4サイズのカット紙を縦置きにしてプリンタの左端に合わせてセットし、吸入します。**

❹ **▶スイッチを押します。インジケータには Pr と表示されます。**

❺ **▼スイッチを押します。プリンタはテストパターンの印字を開始します。**

印字結果は次のようになります。

＊ HD、NHS、SHSは印字モードを、数字は修正量を示しています(次ページの表参照)。

4 PC-PR101/63を使いこなそう

つづいてHD，NHS，SHSの各印字モードそれぞれについて罫線のずれを修正します。罫線ぞろえはインジケータに表示される“モード表示”と“修正量表示”を見ながら行います。“モード表示”は現在罫線のずれを修正できる印字モードを、“修正量表示”は現在選択されている修正量を示しています。

モード表示	印字モード
P1	HD　（漢字、HDパイカ、エリート）
P2	NHS　（高速漢字、高速HDパイカ、高速エリート、NHSパイカ、コンデンス）
P3	SHS　（SHSパイカ）

修正量表示	修正量
7	＋0.245mm（＋7/720インチ）
6	＋0.210mm（＋6/720インチ）
5	＋0.175mm（＋5/720インチ）
4	＋0.140mm（＋4/720インチ）
3	＋0.105mm（＋3/720インチ）
2	＋0.070mm（＋2/720インチ）
1	＋0.035mm（＋1/720インチ）
0	0（工場設定）
-1	—0.035mm（—1/720インチ）
-2	—0.070mm（—2/720インチ）
-3	—0.105mm（—3/720インチ）
-4	—0.140mm（—4/720インチ）
-5	—0.175mm（—5/720インチ）
-6	—0.210mm（—6/720インチ）
-7	—0.245mm（—7/720インチ）

罫線ぞろえの手順を続けます。

❻ 修正したい印字モードの“モード表示”がインジケータに表示されるまで、▶スイッチまたは◀スイッチを押します。インジケータには“モード表示”と“修正量表示”が交互に表示されます。

❼ ▼スイッチまたは▲スイッチを押して罫線のずれ方に適した修正量を表示させます。

修正量を＋側に変更するか－側に変更するかについては、次の表を参考にしてください。

罫線のずれ方		修正方法
左方向印字の罫線が、右方向印字の罫線に対して右側にずれている	印字方向 → ←	－側に修正する（▼スイッチを押す）
左方向印字の罫線が、右方向印字の罫線に対して左側にずれている	印字方向 → ←	＋側に修正する（▲スイッチを押す）

❽ 他の印字モードも修正するときは、手順❻、❼を繰り返します。

❾ 修正量の選択が終わったら、インジケータに Pr と表示されるまで▶スイッチまたは◀スイッチを押します。

❿ ▼スイッチを押して再度テストパターンを印字します。

⓫ テストパターンの印字結果を見て、罫線がきれいにつながったかを確認します。

→ 罫線がきれいにつながっていれば、印字可スイッチを押します。プリンタはセレクト状態(印字可ランプ点灯)になります。
→ 罫線がまだずれている場合は、手順❻からやり直します。

✔チェック

- 用紙がセット・吸入されていない場合、テストパターンは印字されません。
- 途中で用紙がなくなった(用紙ランプ点灯)場合は、新しい用紙をセット・吸入してから▼スイッチを押してください。続きが印字されます。

プリンタの設定を変更する

本プリンタでは、操作パネルのインジケータ表示を見ながらスイッチを押していくことにより、プリンタの様々な設定を変更したり、設定の状態を確認したりすることができます。

通常はプリンタお買い上げ時の設定(工場設定)のままで使用できます。設定を変更した場合、その設定はプリンタ内部のメモリに記憶され、電源をONにしたときや強制リセットしたときに呼び出される設定(初期状態の設定)となります。

変更できるプリンタの設定とは

本プリンタで変更できる設定を次に示します(アンダーラインは工場設定です)。設定を変更する方法には2通りあります。変更したい設定があれば、その設定の変更方法のページをご覧ください。

パラメータ設定を変更する(69ページ参照)

- 拡張制御コードESC O 1で選択できるANK文字フォント(標準/イタリック/クーリエ/ゴシック)
- 拡張制御コードESC O 2で選択できるANK文字フォント(標準/イタリック/クーリエ/ゴシック)
- カット紙の用紙長指定の有効/無効
- カット紙の用紙長(1行〜66行〜99行)
- ハガキモードの選択/解除

メモリスイッチ設定を変更する(72ページ参照)

- 各国文字(日本/アメリカ/イギリス/ドイツ/スウェーデン)
- 用紙長(66行/72行)
- 制御コードDC1、DC3の有効/無効
- 自動復帰改行機能(復帰改行/復帰のみ)
- 印字指令コード(CR/CR+その他)
- 制御コードCRの機能(復帰のみ/復帰改行)
- 1バイトコード系の数字ゼロの字体(0/Ø)
- グラフィックモード(ネイティブモード/コピーモード)
- 印字モード(HDパイカ/HSパイカ)
- 8ビット/7ビットデータ
- 印字方向(両方向最短/片方向)
- HSパイカモード(NHSパイカ/SHSパイカ)
- 2バイトコード系の数字ゼロの字体(0/Ø)
- ミシン目スキップの有効/無効
- ドット列印字モードの印字方向(片方向/両方向)
- 高速印字の選択/解除
- 用紙吸入位置の記憶の有効/無効
- シートガイドからの用紙の自動吸入方式(マニュアル方式/オート方式)

現在の設定状態を確認する

プリンタが現在どのような設定になっているかを確認したいときには、次の手順に従ってプリンタの設定状態を印字してください。

❶ A4用紙を縦置きにしてプリンタの左端に合わせてセットし、吸入します。

❷ プリンタがディセレクト状態(印字可ランプ消灯)になっていることを確認します。

❸ 機能選択スイッチを押します。インジケータには qu が表示されます。

❹ ◀スイッチを押します。インジケータには Pr が表示されます。

❺ ▼スイッチを押します。プリンタは設定状態の印字を開始します。印字結果は次のようになります。

```
パラメータ設定
  フォント１            ：        選択なし
  フォント２            ：        選択なし
  単票用紙長設定        ：            無効
  ハガキ印字モード      ：          ＯＦＦ

メモリスイッチ設定
  ＭＳＷ１－１：  ＯＦＦ  各国文字の切り替え
        １－２：  ＯＦＦ  各国文字の切り替え
        １－３：  ＯＦＦ  各国文字の切り替え
        １－４：  ＯＦＦ  用紙長の初期設定
        １－５：  ＯＦＦ  ＤＣ１／ＤＣ３コード処理の切り替え
        １－６：  ＯＦＦ  自動復改の切り替え
        １－７：  ＯＦＦ  印字指令の切り替え
        １－８：  ＯＦＦ  ＣＲ機能の切り替え

  ＭＳＷ２－１：  ＯＦＦ  数字「０」（１バイトコード系）の字体
        ２－２：  ＯＦＦ  （未使用）
        ２－３：  ＯＦＦ  ドット対応グラフィックドット数の初期設定
        ２－４：  ＯＦＦ  （未使用）
        ２－５：  ＯＦＦ  印字モードの初期設定
        ２－６：  ＯＦＦ  ７／８ビットデータの切り替え
        ２－７：  ＯＦＦ  （未使用）
        ２－８：  ＯＦＦ  印字方向の初期設定

  ＭＳＷ３－１：  ＯＦＦ  （未使用）
        ３－２：  ＯＮ    ＮＨＳ／ＳＨＳパイカの初期設定
        ３－３：  ＯＦＦ  （未使用）
        ３－４：  ＯＦＦ  （未使用）
        ３－５：  ＯＦＦ  （未使用）
        ３－６：  ＯＦＦ  （未使用）
        ３－７：  ＯＦＦ  数字「０」（２バイトコード系）の字体
        ３－８：  ＯＦＦ  ミシン目スキップの初期設定

  ＭＳＷ４－１：  ＯＦＦ  （未使用）
        ４－２：  ＯＦＦ  （未使用）
        ４－３：  ＯＦＦ  （未使用）
        ４－４：  ＯＦＦ  ドット列印字モードの印字方向の切り替え
        ４－５：  ＯＦＦ  ドラフトモードの初期設定
        ４－６：  ＯＦＦ  用紙吸入位置の記憶
        ４－７：  ＯＦＦ  （未使用）
        ４－８：  ＯＦＦ  オートローディング方法の切り替え

罫線ぞろえ        ＨＤ            ０
                  ＮＨＳ          ０
                  ＳＨＳ          ０

クワイエット              ＯＦＦ

吸入量（×１／１２０”）
                  ハガキ                  ５４
                  プッシュトラクタ      １１０
                  シートガイド          １１０
                  シートフィーダ          ３８
```

＊ この印字結果は、プリンタが工場設定のままのときの印字例です。

❻ **印字が終了したら、印字可スイッチを押します。プリンタはセレクト状態（印字可ランプ点灯）になります。**

✔チェック

- 用紙がセット・吸入されていない場合には、設定状態の印字は行われません。
- 途中で用紙がなくなった（用紙ランプ点灯）場合は、新しい用紙をセット・吸入してから▼スイッチを押してください。続きが印字されます。
- ハガキモードのときは、設定状態の印字はできません。

パラメータ設定を変更する

次の表に示す設定は、インジケータに[F 1]を表示させてから変更します。この[F 1]を表示させるためには、いったん電源をOFFにしなければなりません。

設定の変更はインジケータに表示される“設定表示”と“状態表示”を見ながら行います。“設定表示”は現在変更できる設定を、“状態表示”はその設定の現在の状態を示し、インジケータに交互に表示されます。

設　定	設定表示	状態表示
ESC O 1で選択できるフォント	[1F]	[- -]、[1L]、[cu]、または[9c]
ESC O 2で選択できるフォント	[2F]	[- -]、[1L]、[cu]、または[9c]
カット紙の用紙長指定の有効／無効	[FF]	[oF]または[On]
カット紙の用紙長	[FL]	[01]から[99]
ハガキモードの選択／解除	[PC]	[oF]または[On]

これらの設定を変更するときは、以下の手順に従ってください。

❶ **印字可スイッチを押しながらプリンタの電源をONにします。印字可スイッチは、インジケータに[F 1]と表示されるまで押し続けてください。**

❷ **▶スイッチを押します。インジケータには[Pr]と表示されます。**

チェック

上の5種類の設定が現在どのような状態になっているかを確認したいときは、ここで設定状態一覧を印字させることができます。用紙をセット・吸入してから▼スイッチを押してください。

印字結果は次のようになります。

```
パラメータ設定
  フォント1            ：     選択なし
  フォント2            ：     選択なし
  単票用紙長設定       ：       無効
  ハガキ印字モード     ：       OFF
```

＊　この印字結果は、プリンタが工場設定のままでシートフィーダを取り付けた場合の印字例です。

❸ **▶スイッチを押します。インジケータには“設定表示”と“状態表示”が交互に表示されます。**

プリンタが工場設定のときは[1F]と[- -]が交互に表示されます。

これは、ESC O 1で選択できるANK文字フォントが標準であることを示しています。

❹ **目的の設定の“設定表示”がインジケータに表示されるまで、▶スイッチまたは◀スイッチを押します。**

❺ ▼スイッチまたは▲スイッチを押して“状態表示”を変更します。（それぞれの設定の説明を参照してください。）

❻ 設定の変更が終わったら、印字可スイッチをゆっくりと3回押します。プリンタはセレクト状態(印字可ランプ点灯)になります。

なお、変更したい設定が2つ以上ある場合には、上記の手順❹、❺を繰り返してください。

設定の詳細

ESC O 1で選択できるフォント

拡張制御コードESC O 1を受信したときに印字するANK文字フォントを指定します。

設定表示	状態表示	内　容	
1F	--	標準	工場設定
	IL	イタリック	
	cu	クーリエ	
	gc	ゴシック	

ESC O 2で選択できるフォント

拡張制御コードESC O 2を受信したときに印字するANK文字フォントを指定します。

設定表示	状態表示	内　容	
2F	--	標準	工場設定
	IL	イタリック	
	cu	クーリエ	
	gc	ゴシック	

カット紙の用紙長指定の有効／無効

カット紙の用紙長指定を有効にするか無効にするかを指定します。

設定表示	状態表示	内　容	
FF	oF	無効（用紙長を指定できない）	工場設定
	On	有効（用紙長を指定できる）	

カット紙の用紙長*

カット紙の用紙長指定を有効にしたとき、カット紙の用紙長を指定します。設定値は4.23mm（1/6インチ）単位の行数で表します。

設定表示	状態表示	工場設定
FL	01～99	66 （66行=279.4mm（11インチ））

＊ この機能はカット紙の用紙長を指定できるときのみ有効です。指定できないときは、“設定表示”や“状態表示”は表示されません。

ハガキモードの選択／解除

ハガキモードを選択するか解除するかを指定します。

設定表示	状態表示	内　容	
PC	oF	ハガキモード解除	工場設定
	On	ハガキモード選択	

メモリスイッチ設定を変更する

本プリンタには32個のメモリスイッチ(MemorySwitch：MSW)が内蔵されていて、各メモリスイッチの状態(ON/OFF)を切り替えることによってプリンタの様々な設定を変更することができます。

メモリスイッチとは電源スイッチのように機械的なものではなく、設定内容を電気的に切り替え、記憶するものです。メモリスイッチのON/OFFはインジケータにF2を表示させてから切り替えます。このF2を表示させるためには、いったん電源をOFFにしなければなりません。

各メモリスイッチの機能とメモリスイッチのON/OFFに対応する設定内容は下の表のとおりです(太字は工場設定です)。

MSW番号	機能	OFF	ON
1-1 1-2 1-3	各国文字の切り替え	3つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、**日本**、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンを切り替えます。	
1-4	用紙長の切り替え*	**66行（11インチ）**	72行（12インチ）
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効
1-6	自動復帰改行機能の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ
1-7	印字指令コードの切り替え	**CR**	CR+その他
1-8	CRの機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行
2-1	1バイトコード系ゼロの字体の切り替え	**0**	Ø
2-2	（未使用）		
2-3	グラフィックモードの切り替え*	**ネイティブモード**	コピーモード
2-4	（未使用）		
2-5	印字モードの切り替え*	**HDパイカ**	HSパイカ
2-6	8ビット/7ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット
2-7	（未使用）		
2-8	印字方向の切り替え*	**両方向最短**	片方向
3-1	（未使用）		
3-2	HSパイカモードの切り替え*	SHSパイカ	**NHSパイカ**
3-3	（未使用）		
3-4	（未使用）		
3-5	（未使用）		
3-6	（未使用）		
3-7	2バイトコード系ゼロの字体の切り替え	**0**	Ø
3-8	ミシン目スキップの有効／無効の切り替え*	**スキップしない**	スキップする
4-1	（未使用）		
4-2	（未使用）		
4-3	（未使用）		

MSW 番号	機能	OFF	ON
4-4	ドット列印字モードの印字方向の切り替え	**片方向**	両方向
4-5	高速印字の選択／解除の切り替え*	**通常印字**	高速印字
4-6	用紙吸入位置の記憶の有効／無効の切り替え	**記憶する**	記憶しない
4-7	（未使用）		
4-8	シートガイドの自動吸入方式の切り替え	**マニュアル方式**	オート方式

＊ 制御コードを使って設定を変えることができます。（初期状態になるとメモリスイッチの設定に戻ります。）

未使用のメモリスイッチは工場設定(OFF)のままにしておいてください。

メモリスイッチのON／OFFの切り替えは、インジケータに表示されるメモリスイッチの番号(11～48)とスイッチの状態(On／oF)を見ながら行います。切り替えたいときは、以下の手順に従ってください。

❶ **印字可スイッチを押しながらプリンタの電源をONにします。印字可スイッチは、インジケータにF 1と表示されるまで押し続けてください。**

❷ **もう一度印字可スイッチを押します。インジケータにはF2と表示されます。**

❸ **▶スイッチを押します。インジケータにはPrと表示されます。**

メモリスイッチが現在どのような状態になっているかを確認したいときは、ここでメモリスイッチ一覧を印字させることができます。用紙をセット・吸入してから▼スイッチを押してください。

印字結果は次のようになります。

```
メモリスイッチ設定
 MSW1－1： OFF 各国文字の切り替え
     1－2： OFF 各国文字の切り替え
     1－3： OFF 各国文字の切り替え
     1－4： OFF 用紙長の初期設定
     1－5： OFF DC1／DC3コード処理の切り替え
     1－6： OFF 自動復改の切り替え
     1－7： OFF 印字指令の切り替え
     1－8： OFF CR機能の切り替え

 MSW2－1： OFF 数字「0」（1バイトコード系）の字体
     2－2： OFF （未使用）
     2－3： OFF ドット対応グラフィックドット数の初期設定
     2－4： OFF （未使用）
     2－5： OFF 印字モードの初期設定
     2－6： OFF 7／8ビットデータの切り替え
     2－7： OFF （未使用）
     2－8： OFF 印字方向の初期設定

 MSW3－1： OFF （未使用）
     3－2： ON  NHS／SHSパイカの初期設定
     3－3： OFF （未使用）
     3－4： OFF （未使用）
     3－5： OFF （未使用）
     3－6： OFF （未使用）
     3－7： OFF 数字「0」（2バイトコード系）の字体
     3－8： OFF ミシン目スキップの初期設定

 MSW4－1： OFF （未使用）
     4－2： OFF （未使用）
     4－3： OFF （未使用）
     4－4： OFF ドット列印字モードの印字方向の切り替え
     4－5： OFF ドラフトモードの初期設定
     4－6： OFF 用紙吸入位置の記憶
     4－7： OFF （未使用）
     4－8： OFF オートローディング方法の切り替え
```

＊　この印字結果は、プリンタが工場設定のままのときの印字例です。

❹ ▶スイッチを押します。インジケータには、現在ON／OFFを切り替えられるメモリスイッチの番号とON／OFF状態が交互に表示されます。

チェック

プリンタが工場設定のときは 1 1 と oF が交互に表示されます。

これは、メモリスイッチ1-1がOFFであることを示しています。

❺ 目的の設定に対応するメモリスイッチの番号がインジケータに表示されるまで、▶スイッチまたは◀スイッチを押します。

❻ ▼スイッチまたは▲スイッチを押してON／OFFを切り替えます。（それぞれのメモリスイッチの機能説明を参照してください。）

❼ 設定の変更が終わったら、印字可スイッチをゆっくりと2回押します。プリンタはセレクト状態(印字可ランプ点灯)になります。

なお、設定を変更したい機能が2つ以上ある場合には、上記の手順❺、❻を繰り返してください。

メモリスイッチの機能

各国文字の切り替え(MSW1-1、1-2、1-3)

3つのメモリスイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字になります。

国　名	MSW1-1	MSW1-2	MSW1-3	
アメリカ	OFF	ON	OFF	
イギリス	ON	ON	OFF	
ドイツ	OFF	OFF	ON	
スウェーデン	ON	ON	ON	
日本	OFF	OFF	OFF	工場設定

用紙長の切り替え(MSW1-4)

用紙長の初期設定を切り替えます。

用紙長	MSW1-4	
72行（12インチ）	ON	
66行（11インチ）	OFF	工場設定

行数は4.23mm(1/6インチ)改行時の場合です。3.18mm(1/8インチ)改行時には、それぞれ96行(304.8mm(12インチ))、88行(279.4mm(11インチ))となります。

DC1、DC3の有効／無効の切り替え(MSW1-5)

制御コードDC1、DC3を有効にするか無効にするかを切り替えます。

DC1、DC3の有効／無効	MSW1-5	
無効	ON	
有効	OFF	工場設定

自動復帰改行機能の切り替え（MSW1-6）

バッファフル印字を行うとき、復帰のみの動作を行うか復帰改行動作を行うかを切り替えます。

自動復帰改行	MSW1-6	
復帰のみ	ON	
復帰改行	OFF	工場設定

印字指令コードの切り替え（MSW1-7）

印字指令コードを何にするかを切り替えます。

印字指令コード	MSW1-7	
CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b	ON	
CRのみ	OFF	工場設定

CRの機能の切り替え（MSW1-8）

制御コードCRの機能を復帰のみにするか復帰改行にするかを切り替えます。

CRの機能	MSW1-8	
復帰改行	ON	
復帰のみ	OFF	工場設定

1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え（MSW2-1）

8ビットコード表、7ビットコード表において、数字ゼロを“0”と印字するか“Ø”と印字するかを切り替えます。

ゼロの字体	MSW2-1	
Ø	ON	
0	OFF	工場設定

グラフィックモードの切り替え（MSW2-3）

グラフィック（ドット列印字）モードの初期設定をネイティブモードにするかコピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。

グラフィックモード	MSW2-3	
コピーモード	ON	
ネイティブモード	OFF	工場設定

印字モードの切り替え（MSW2-5）

印字モードの初期設定をHDパイカにするかHSパイカにするかを切り替えます。

印字モード	MSW2-5	
HSパイカ	ON	
HDパイカ	OFF	工場設定

8ビット/7ビットデータの切り替え（MSW2-6）

インタフェースのデータが8ビット有効か7ビット有効かを切り替えます。

有効データ	MSW2-6	
7ビット	ON	
8ビツト	OFF	工場設定

グラフィック（ドット列印字）モードでのデータ転送は、このメモリスイッチの設定によらず8ビット有効です。

印字方向の切り替え（MSW2-8）

印字方向の初期設定を両方向最短印字にするか片方向印字にするかを切り替えます。

印字方向	MSW2-8	
片方向印字	ON	
両方向最短印字	OFF	工場設定

HSパイカモードの切り替え（MSW3-2）

HSパイカモードの初期設定をNHSパイカにするかSHSパイカにするかを切り替えます。

HSパイカモード	MSW3-2	
NHSパイカ	ON	工場設定
SHSパイカ	OFF	

2バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え（MSW3-7）

漢字コード表において、数字ゼロを“0”と印字するか“Ø”と印字するかを切り替えます。

ゼロの字体	MSW3-7	
Ø	ON	
0	OFF	工場設定

ミシン目スキップの有効/無効の切り替え（MSW3-8）

電源投入時に連続紙のミシン目の前後25.4mm（1インチ）の印字をスキップするかしないかを切り替えます。

ミシン目スキップ	MSW3-8	
有効（する）	ON	
無効（しない）	OFF	工場設定

この機能はプッシュトラクタ使用時のみ有効です。また、VFUコマンドによってフォーマットを設定しているときは、その設定が優先します。

ドット列印字モードの印字方向の切り替え（MSW4-4）

ドット列印字モードの印字方向を、片方向にするか両方向にするかを切り替えます。

ドット列印字方向	MSW4-4	
両方向	ON	
片方向	OFF	工場設定

メモリスイッチ2-8で片方向印字を指定している場合、メモリスイッチ4-4をONにしてもドット列印字方向は片方向になります。

高速印字の選択/解除の切り替え（MSW4-5）

電源投入時に高速印字を選択するか解除するかを切り替えます。

高速印字	MSW4-5	
選択（高速印字）	ON	
解除（通常印字）	OFF	工場設定

用紙吸入位置の記憶の有効/無効の切り替え（MSW4-6）

用紙吸入位置を微調整したとき、微調整後の吸入位置を記憶するかしないかを切り替えます。

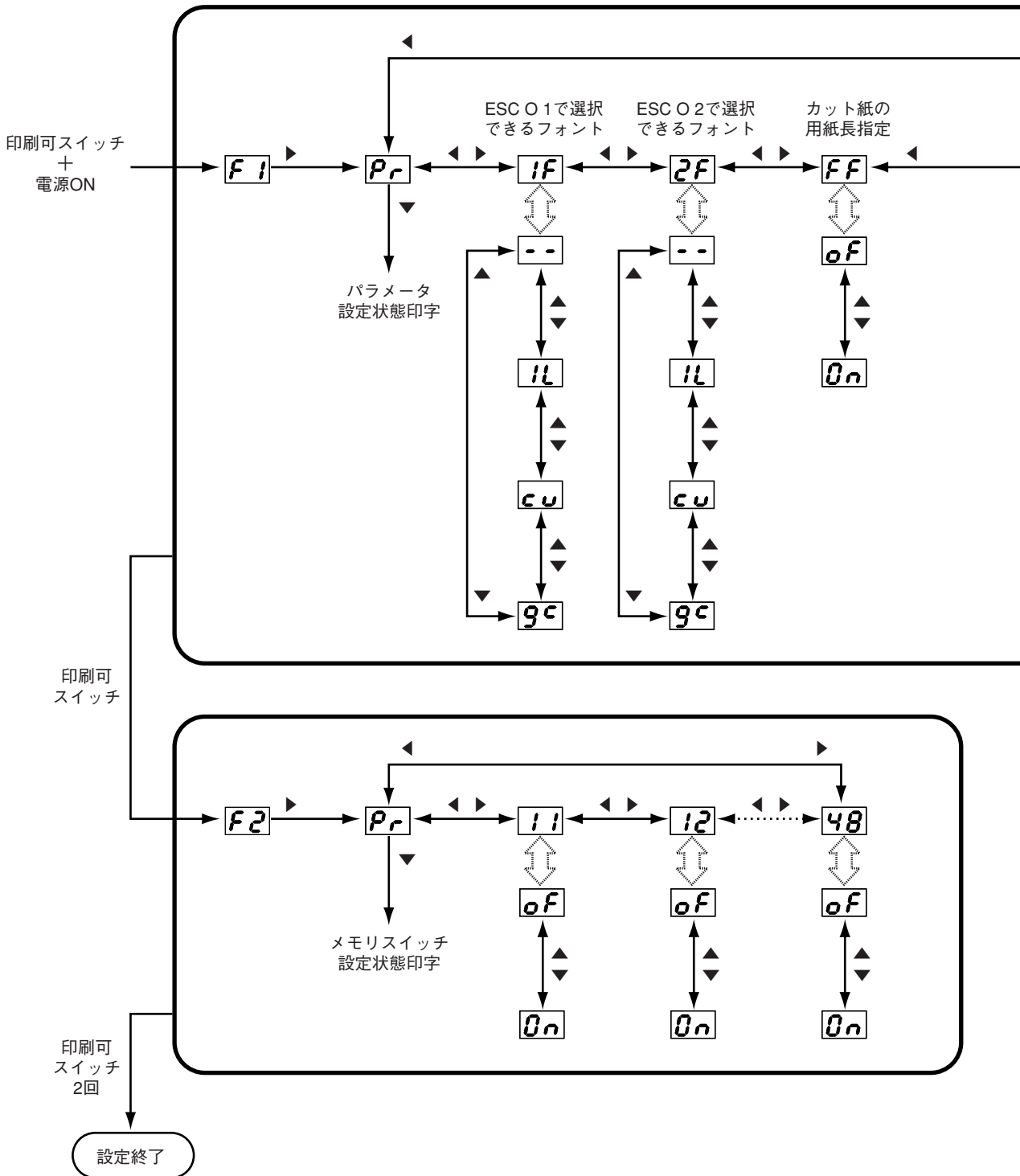
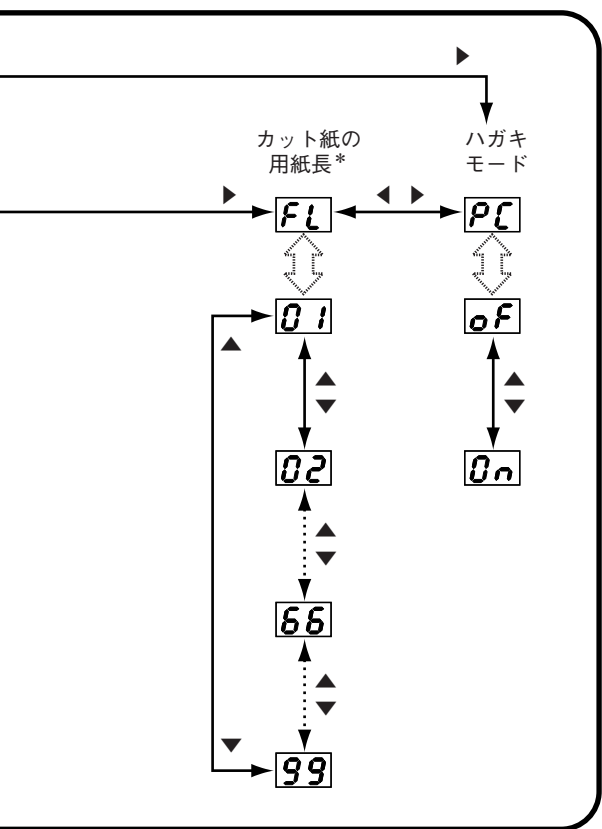
吸入位置の記憶	MSW4-6	
無効（記憶しない）	ON	
有効（記憶する）	OFF	工場設定

シートガイドの自動吸入方式の切り替え（MSW4-8）

シートガイドを使用するとき、用紙の吸入方式をマニュアル方式にするかオート方式にするかを切り替えます。マニュアル方式では吸入/退避スイッチを押して用紙を吸入させますが、オート方式にするとカット紙はセットされてから数秒で自動的に吸入されます。

吸入方式	MSW4-8	
オート方式	ON	
マニュアル方式	OFF	工場設定

設定変更のための操作方法一覧

プリンタの設定を変更するときに必要な操作の流れを次に示します。

▶ ：▶スイッチを押す

◀ ：◀スイッチを押す

▲ ：▲スイッチを押す

▼ ：▼スイッチを押す

⇕ ：交互点滅表示

*カット紙の用紙長指定が有効のときのみ表示されます。

設定内容をリセットする

変更した設定内容を一度にリセットすることができます。設定内容のリセットは、すべての設定内容を工場設定に戻します。

罫線ぞろえを行っていた場合、機能選択スイッチを使ってプリンタの機能設定を変更していた場合、また用紙を吸入するときに吸入位置を微調整していた場合は、設定内容のリセットを行うとプリンタに記憶されていたこれらの設定もすべて工場設定に戻ります。

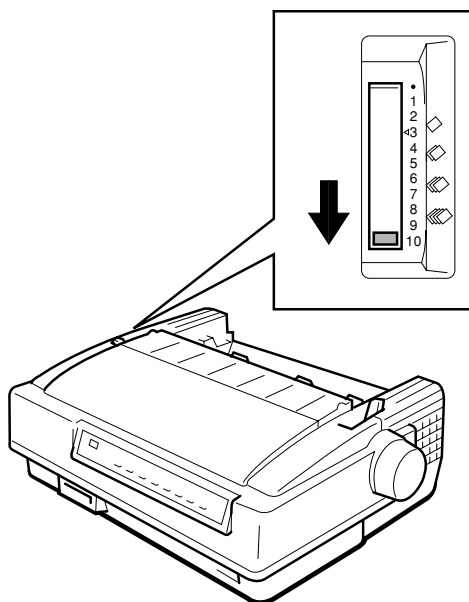
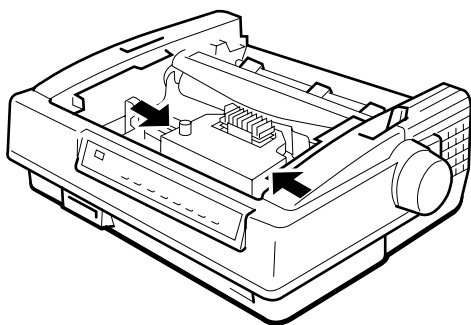
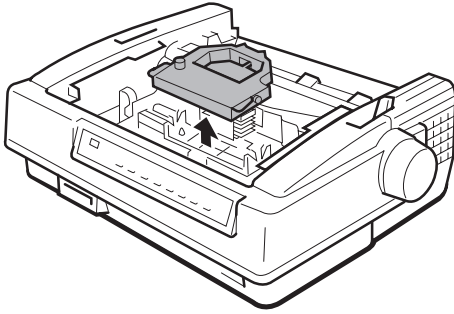
変更した設定内容をリセットするときは、いったん電源をOFFにし、改行スイッチを押しながら電源をONにしてください。

5章 日常の保守

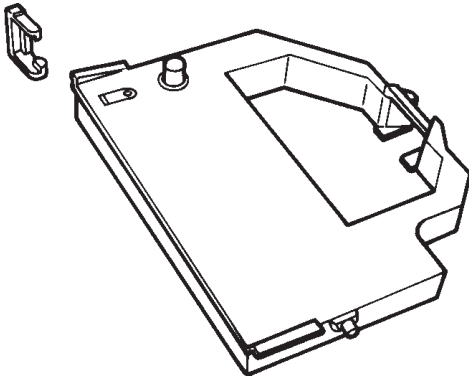
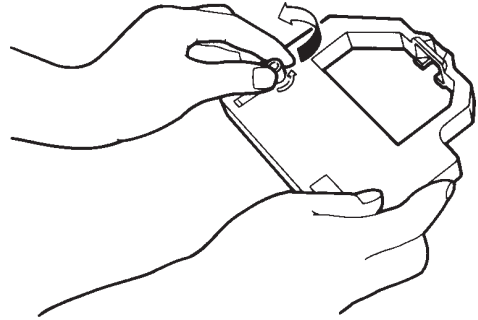
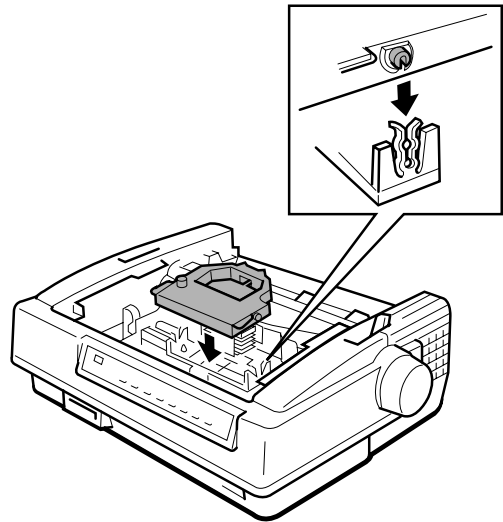
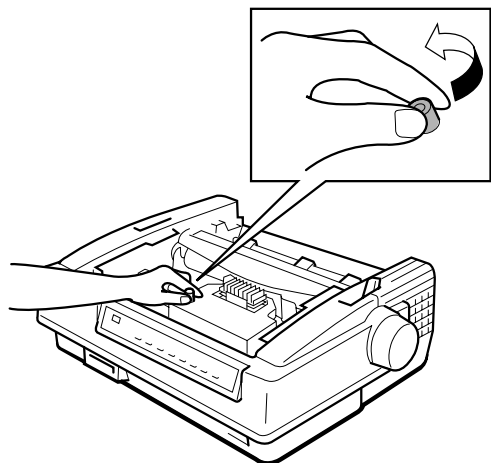
インクリボンカートリッジの交換

印字が薄くなったときには、次の手順でインクリボンカートリッジを交換してください。

❶ トップカバーを開けます。電源がONであればカートリッジホルダがプリンタの左右中央付近に移動します。電源がOFFであればカートリッジホルダをプリンタの左右中央付近に手で移動します。

❷ 用紙厚さセットレバーをいちばん手前側（10の位置）にします。

❸ 使い終わったインクリボンカートリッジの左右両側を持ち、リボンを印字ヘッドとカードホルダの間から取り外しながら水平に持ち上げます。

✔チェック

インクリボンが外れにくいときは、フィードノブを矢印の方向(反時計方向)に回しながら取り外してください。

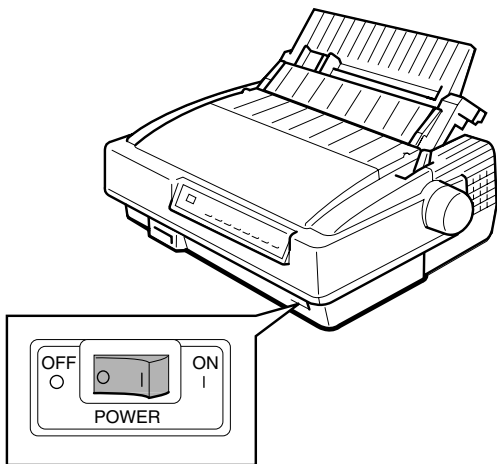
❹ 新しいインクリボンカートリッジに付いている赤色のストッパを外します。

❺ NECマークのある面が上になるようにしてインクリボンカートリッジを持ちます。リボンがたるんでいる場合は、フィードノブを矢印の方向(反時計方向)に回してたるみをとってください。

❻ インクリボンカートリッジの左右の突起をカートリッジホルダの左右の溝に合わせます。次に、リボンが印字ヘッドとカードホルダの間に入るようにし、フィードノブを使ってリボンのたるみをとりながらインクリボンカートリッジ全体を静かに押し込みます。カチッと音がしたら新しいインクリボンカートリッジの取り付け完了です。

❼ フィードノブを回してリボンのたるみをとってください。

❽ 用紙厚さセットレバーを元の位置に戻します。

❾ トップカバーを閉めます。

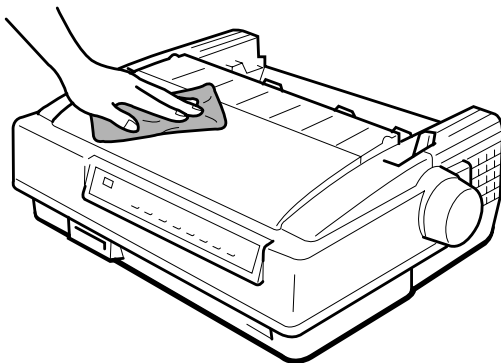
印字品質を保つために、インクリボンカートリッジは使用期限内にお使いください。

プリンタのお手入れ

プリンタをいつまでもきれいな状態で使っていただくために、プリンタの外まわりを定期的に柔らかい布で空拭きしてください。汚れが落ちにくい場合は、次のような方法できれいにしてください。

❶ **まず電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜きます。**

❷ **シートガイドを取り外します。**

❸ **中性洗剤を薄めたぬるま湯または水に柔らかい布を浸し、よく絞ります。**

❹ **プリンタの汚れた部分を❸の布で少し強めにこすって汚れをとります。**

❺ **真水でぬらしてよく絞った布でもう一度拭きます。**

❻ **最後に、乾いた布で空拭きします。**

重要

- シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤は使わないでください。材質をいためたり、変色の原因になることがあります。
- コンセント、ケーブル、およびプリンタ内部は絶対に水などでぬらさないようにしてください。
- プリンタを絶対に分解しないでください。感電などの事故の原因となり危険です。

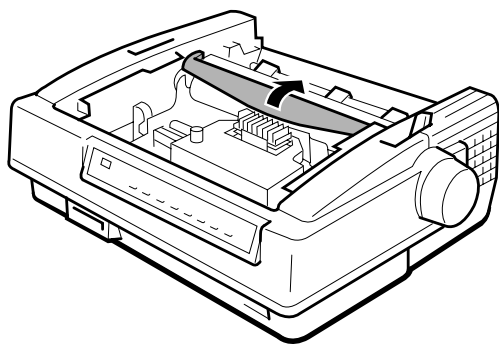
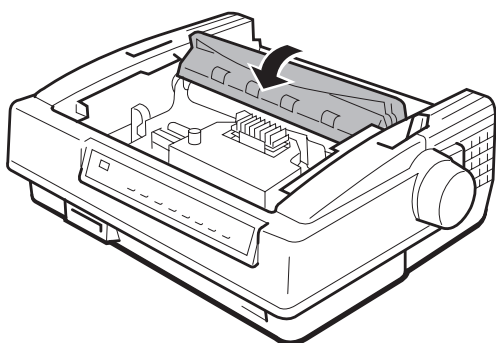
紙づまりの処理

用紙がプリンタ内部につまったときは、電源をOFFにして電源コードのプラグをコンセントから抜いてから、つまった用紙を取り除いてください。

用紙がプラテンやその周囲につまって取り除けない場合は、つまった用紙を無理に引っ張ったりせず、次の手順に従ってフィードローラユニットを取り外してから用紙を取り除くようにしてください。

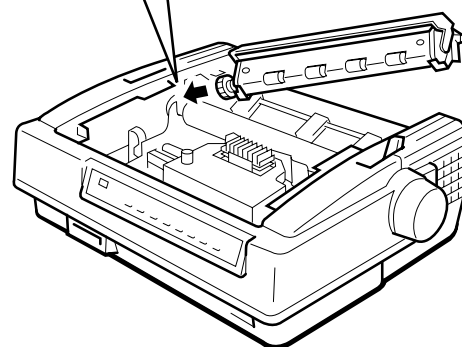
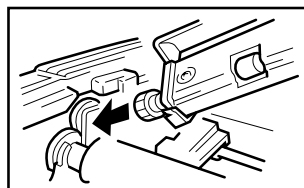
❶ シートガイドを取り外します。

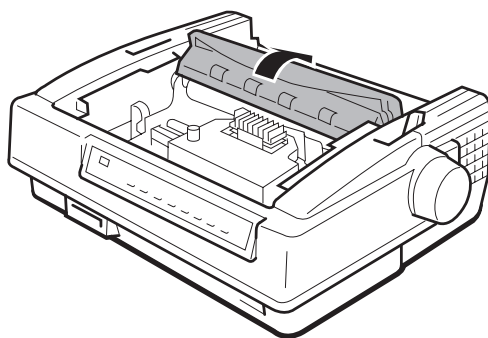
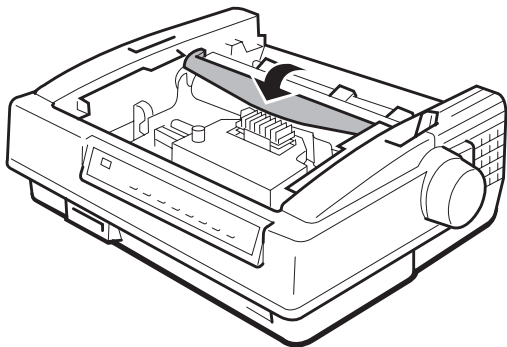
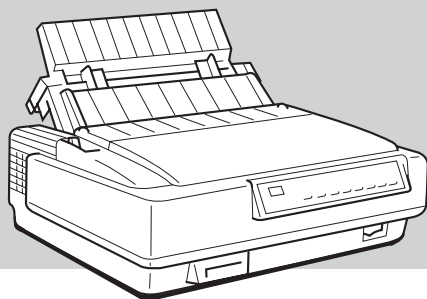
❷ トップカバーを開けます。

❸ ベールローラガイドを奥へ倒します。

❹ フィードローラユニット全体を持って、手前に回転させます。

❺ フィードローラユニットを持ち上げ、取り外します。

❻ つまった用紙を取り除きます。

用紙が取り除けたら、プラテンの周囲やプリンタ内部に用紙の切れ端などが残っていないかを確認してください。

❼ フィードローラユニットの左側をプリンタ内部に差し込みます。

❽ フィードローラユニット左右底部のスタンドをプリンタの金属バーに載せます。

❾ フィードローラユニット全体を持って、奥方向に回転させ固定します。

❿ ベールローラガイドを手前に倒し、確実にロックします。

6章
故障かな？と思ったときは

修理を依頼する前に

プリンタが思うように動作しなかったり印字の状態がよくなかったりしたときは、次の表でプリンタの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行った上でそれぞれの処置方法に従ってください。

症　　状	確認事項と処置方法
電源ランプが点灯しない。	電源コードがプリンタまたはコンセントから抜けていませんか。 電源スイッチをOFFにしてから、電源コードのプラグを確実に差し込んでください。
	電源スイッチがOFFになっていませんか。 電源スイッチをONにしてください。
	コンセントに電気がきていますか。 コンセントにスイッチがある場合は、そのスイッチをONにしてください。（スイッチで確認できない場合は、他の電気製品の電源プラグを差し込んで動作するかどうかを確認してください。）
電源ランプがいったん点灯した後消えてしまい、再度電源スイッチをONにしても点灯しない。	コンセントとプリンタの電圧が違っていませんか。 プリンタ背面のラベルに印刷されている電圧とコンセントの電圧を確認してください。万一違う電圧を使用した場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご相談ください。
印字動作をしない。	印刷可ランプが消灯していませんか。 印刷可スイッチを押して印刷可ランプを点灯させてください。
	用紙ランプが点灯していませんか。 用紙を正しくセット・吸入して印刷可スイッチを押してください。

症　　状	確認事項と処置方法
印字動作をしない。	用紙ランプや印刷可ランプが点滅していませんか。 プリンタにエラーが発生しています。エラー表示一覧表（92ページ）でインジケータの表示を確認して、それぞれの処置方法に従ってください。
	インタフェースケーブルが外れていませんか。 プリンタとコンピュータをインタフェースケーブルで正しく接続してください。
印字音はしているのに印刷されない。	リボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。 正しく取り付け直してください。
印字速度が急に遅くなった。	長時間印字を続けていませんか。 印字ヘッドが高温になったため、両方向最短印字から片方向印字に切り替えています。印字ヘッドの温度が下がればもとの印字速度に戻りますので、しばらくお待ちください。
印字が欠ける。	リボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。 正しく取り付け直してください。
	リボンがたるんだり、印字ヘッドから外れかけたりしていませんか。 リボンカートリッジを正しく取り付け直してください。
印字が横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。お買い求めの販売店にご相談ください。
印字が薄い。	リボンのインクが薄くなったり、リボンが波を打つような状態になっていませんか。 新しいリボンカートリッジと交換してください。
	用紙厚さセットレバーの位置は適切ですか。 用紙の厚さに合わせて、レバーを適切な位置に動かしてください。第2章の「㉑ 用紙厚さセットレバー」（33ページ）を参照してください。
カット紙がシートガイドから吸入されない。	用紙はしっかりと差し込まれていますか。 突き当たる感じがするまで、用紙をしっかりと差し込んでください。
	連続紙ランプが点灯していませんか。 ペーパセレクションレバーを手前側（カット紙側）にしてカット紙ランプを点灯させてください。
カット紙がシートガイドから曲がって吸入される。	用紙は水平にしっかりと差し込まれていますか。 突き当たる感じがするまで、用紙を水平にしっかりと差し込んでください。
	用紙に折り目やしわがありませんか。 新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。
	用紙は規格に合っていますか。 規格内の用紙を使用してください（付録の「用紙の規格と印字範囲」（130ページ）参照）。
シートフィーダ使用時、カット紙が吸入されない。	連続紙ランプが点灯していませんか。 ペーパセレクションレバーを手前側（カット紙側）にしてカット紙ランプを点灯させてください。
	用紙が正しくセットされていますか。 用紙をセットし直してください。

症　　状	確認事項と処置方法
シートフィーダ使用時、カット紙がうまく送られない。	セットする枚数が限界を超えていませんか。 セットする枚数を減らしてください。ホッパに一度にセットできるのは、坪量64 g/m²（連量55kg）の用紙で約180枚です。
	スタッカ部に限界を超えた枚数の用紙が積み重ねられていませんか。 スタッカの印字済み用紙を取り除いてください。スタッカ部に一度に積み重ねることができるのは、坪量64g/m²（連量55kg）の用紙の場合スタッカで約90枚、スタッカガイドで約50枚です。
	用紙に折り目やしわがありませんか。 新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。
	用紙は規格に合っていますか。 規格内の用紙を使用してください。付録の「用紙の規格と印字範囲」（130ページ）を参照してください。
連続紙が吸入されない。	用紙がトラクタから外れていませんか。 用紙をトラクタに正しくセットしてください。
	カット紙ランプが点灯していませんか。 ペーパセレクションレバーを奥側（連続紙側）にして連続紙ランプを点灯させてください。
連続紙が曲がって吸入される、またはプリンタの中で引っかかってしまう。	用紙の穴がトラクタピンに正しくかみ合っていますか。 左右でずれていませんか。用紙の穴がトラクタピンに平行になるようにセットし直してください。
	左右のトラクタの間隔が狭いために用紙がたるんでいませんか。 左右どちらかのトラクタを動かして、用紙のたるみをとってください。
	セットした用紙のストック分は正しい位置に置かれていますか。 用紙のストック分は連続紙セット位置に対して鉛直線上に、プリンタ本体と平行になるように置いてください。
	用紙のストック分を置いてある位置がプリンタから遠すぎませんか。 用紙のストック分はプリンタから1m以内に置いてください。
	用紙が何かに引っかかっていませんか。 用紙が引っかかっているものを取り除いてください。
	用紙は規格に合っていますか。 規格内の用紙を使用してください。付録の「用紙の規格と印字範囲」（130ページ）を参照してください。
ミシン目スキップがずれてしまう。	用紙長の設定が使用している用紙の用紙長に合っていますか。 メモリスイッチ1-4で連続紙の用紙長を正しく設定してください。第4章の「メモリスイッチ設定を変更する」（72ページ）を参照してください。

以上のことを確認して、それぞれの処置方法に従っても症状が改善されない場合は、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧」に記載されているサービス窓口にご相談ください。

エラー表示一覧

プリンタに何らかのエラーが発生して印字できない状態になると、用紙ランプや印字可ランプが点滅すると同時に、インジケータがエラーの内容を点滅表示します。本プリンタのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです。

エラー表示	内　容	処置方法	用紙ランプ	印刷可ランプ
C0	トップカバーが開いています。	トップカバーをきちんと閉じてから印刷可スイッチを押してください。	点滅	点滅
PH	印字ヘッドが高温になったため、印字を停止しています。	印字ヘッドの温度が下がれば自動的に印字を再開するので、そのまましばらくお待ちください。	点滅	点滅
FE	マルチストライクリボンがなくなりました。	リボンを新しいものと交換してから印刷可スイッチを押してください。	—	—
LE	セットされた用紙の種類（カット紙/連続紙）とペーパセレクションレバーの位置があっていない可能性があります。	ペーパセレクションレバーの位置を用紙の種類にあわせてから印刷可スイッチを押してください。これで回復しないときは、いったん用紙を取り除いてから再セットしてください。	点滅	消灯
CC	マルチストライクリボンカートリッジを使っているときに用紙厚さセットレバーの位置が6～10の範囲になっています。	用紙厚さセットレバーの位置を1～5の範囲の適切な位置にしてから印刷可スイッチを押してください。または、リボンカートリッジをマルチストライクリボンカートリッジ以外のものと交換してください。	点滅	消灯
SE	シートフィーダ使用時、用紙排出を実行したにもかかわらず用紙が排出されませんでした。	プラテンノブを手で回して、または排出/カットスイッチを押して用紙を排出してください。その後、手差しで用紙をセットして印刷可スイッチを押してください。	点滅	消灯
35 36	プリンタの設定を変更したときに、設定が正しくメモリに書き込まれませんでした。	電源をOFFにし、再びONにしてから設定の変更をやり直してください。	点滅	点滅
70 71	インクリボンカートリッジが正しく取り付けられていません。	電源をOFFにし、カートリッジを正しく取り付け直してから電源をONにしてください。	点滅	点滅
72 73	印字ヘッドの移動経路に障害物があります。	電源をOFFにし、印字ヘッドの移動経路に障害物がないかを確認してください。もしあれば、それを取り除いてから電源をONにしてください。	点滅	点滅
74	シートフィーダ使用時、電源をONにしたときに用紙を排出できませんでした。	電源をOFFにし、ペーパセレクションレバーが手前側（カット紙側）にあるか、用紙がつまっていないかを確認します。レバーの位置が奥側（連続紙側）になっていれば手前側にしてから、用紙がつまっていればそれを取り除いてから印刷可スイッチを押してください。	点滅	点滅

上記以外の数字が表示されたときは、電源をOFFにし、再びONにしてください。

所定の処置方法で回復しない場合はプリンタの故障が考えられます。無理な操作をせずに、お買い求めの販売店またはサービス受付窓口に修理を依頼してください。なお、保証期間中の修理は必ず「保証書」を添えてお申し込みください。

アフターサービスについて

お客様登録の方法

お客様登録をして、電話問い合わせの際に必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる時に必要な「ログインID」を取得してください。ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

ご登録はインターネット登録をお勧めします。

インターネット登録なら画面案内に従って入力するだけで、簡単に「お客様登録番号」と「ログインID」が取得できます。

インターネット登録

❶ マイアカウントにアクセス

NECパーソナル商品総合情報サイト【121ware.com】のマイアカウント
(**http://121ware.com/my/**)にアクセス

❷ ログインIDを取得

1. 「新規登録」をクリック
2. 「ご希望ID」、「パスワード」、「お名前」などを入力、ログインIDを取得

※ ログインIDを取得されているお客様は、[ログイン]をクリックし、取得済みのIDとパスワードを入力してください。

❸ 保有商品の登録

[保有商品情報]の[新規・追加登録]をクリックします。
※ ログインIDを取得されているお客様は、[保有商品情報]の[新規・追加登録]をクリック

以降は画面の指示に従ってご登録ください。

FAXによる登録

FAXからの登録は「121wareお客様登録番号」のみの取得となり、インターネットでのさまざまなサポート・サービスをご利用いただけません。インターネットが使えるようになり次第、[ログインID]の取得をお勧めします。

❶ お手持ちのFAXから次に示すFAX電話番号に電話してFAX情報サービス窓口の「9番」を押します。

電話番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

0120-977-121（フリーコール） → 9（FAX情報サービス）

❷ 音声ガイダンスに従ってボックス番号「7612＃」を押してください。

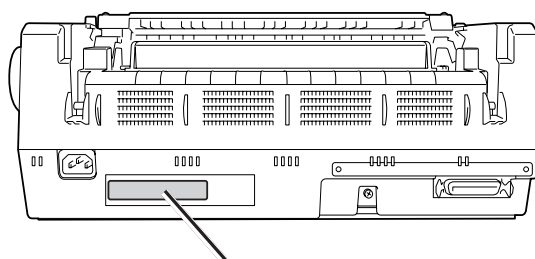
お客様登録用紙を入手できます。

❸ お客様登録用紙に必要事項を記入の上、FAXでお送りください。

保証について

PC-PR101/63には『保証書』が付いています。『保証書』はお買い上げいただいた販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の修理については、この後の「保守サービスについて」(95ページ)をご覧のうえ、PC-PR101/63をお買い求めになった販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様の要望により、有料修理いたします。

本体の背面に、製品の型番、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご相談ください。

修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

① 電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されていることを確認する。

② インクリボンカートリッジの取り付けが確実に行われていることを確認する。

③ 「修理を依頼する前に」(89ページ)を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行う。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、この後の「保守サービスについて」(95ページ)をご覧のうえ、お近くのサービス窓口にご連絡ください。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。また、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し込みください。

- 電話をする際、液晶ディスプレイの表示内容やランプの状態(点灯または点滅)をご確認ください。故障時の液晶ディスプレイの表示、ランプの表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンタをお持ち込みいただくときは「プリンタを運搬するときは」(98ページ)の手順に従ってプリンタを梱包してください。

保守サービスについて

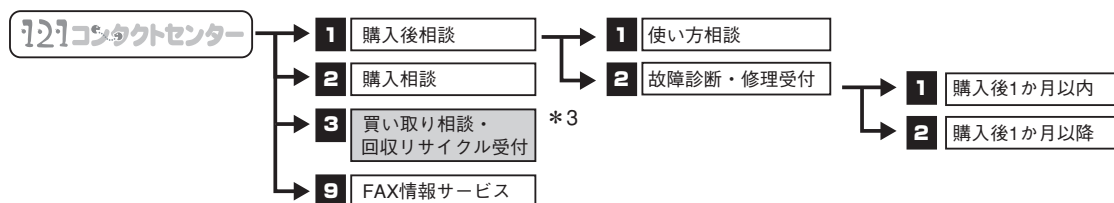
プリンタの問題はプリンタ自身に起因するものばかりでなくパソコンなど関連商品にも起因する場合があります。マニュアルの記載どおりの処置を行っても、なお問題が解決しない場合は次のステップに従って保守サービスをご利用ください。*1

1 インターネットサポート(http://12ware.com/support/)

事前にお客様登録および保有商品登録をお済ませください(「インターネット登録」(93ページ))。この登録を行うとお客様一人ひとりに合わせた以下の情報・サービスをタイムリーに受けることができます。

- ご登録商品のサポート情報やサポートプログラム
- お客様のパソコンを最新の状態にする「自動アップデートサービス」
- 121コンタクトセンターにお問い合わせいただいた履歴、メールにて121ware.comにお問い合わせいただいた履歴

2 電話サポート(0120-977-121)

121コンタクトセンターでは、パソコンや周辺機器・ソフトウエアに関する技術的なご質問・ご相談を全国約850人の技術スタッフが24時間365日*2(年中無休)電話でサポートします。
電話音声ガイドをご確認の上、ご利用になりたい窓口番号を押してください。

3 NECあんしんサービス便(送料・梱包無料)

121コンタクトセンターでは、パソコンや周辺機器に関する故障診断や修理のお問い合わせを承ります。修理が必要な場合は、当社指定の宅配業者が故障したプリンタを無料でお引き取りし、修理完了後に修理品をお届けする「NECあんしんサービス便」の受け付けを行います。

- 約1週間のスピード修理でお届けします。*4
- 梱包箱の準備から故障品の梱包作業まで宅配業者が無料で実施します。
- お申し込みは365日24時間受付します。

4 対面サポート(有償)

お客様と直接フェイス・トゥ・フェイスで技術相談や操作指導をします。以下のサポートがあります。

- アクティブワン
- PCクリーンスポット

詳しくは次のサイトにアクセスしてください。 http：//www.fielding.co.jp

---

*1 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣する契約保守システムがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
*2 「購入相談」や「使い方相談」に関するお問い合わせは電話サポート予約サービスを一部利用した場合です。(2004年12月現在の情報です。サービス内容の詳細や最新情報については、http://121ware.com/121cc/をご覧ください。)
*3 NEC製パソコンのみ対象
*4 修理の内容によっては約1週間以上の日数を要する場合があります。

プリンタの寿命について

PC-PR101/63の製品寿命は使用年数5年です。その後も継続使用される場合は、販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。なお、印字ヘッドは消耗部品であり、寿命はピンごとに2億ドットです。(ただし、使用方法により寿命が変動する場合があります。)

補修用部品について

PC-PR101/63の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル(コピー版)を実費で再度購入することができます。

品名　PC-PR101/63ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター

URL：　http://pcm.mepros.com/

電話：　03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00〜12：00/13：00〜16：00
(土曜、日曜、祝日は、ご利用になれません)

FAX：　03-5471-3996
受付時間　24時間(いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。)

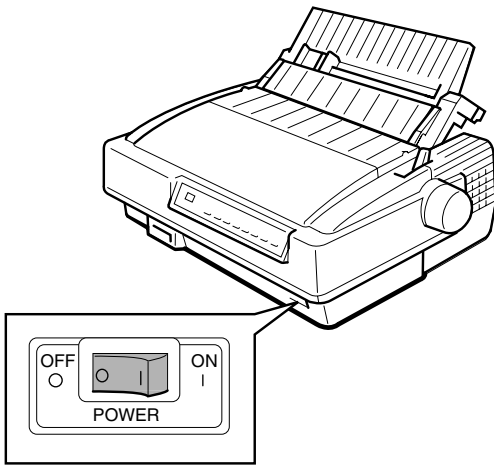
情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を、下記で提供しています。

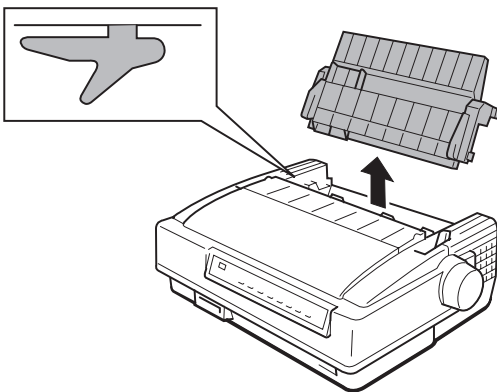
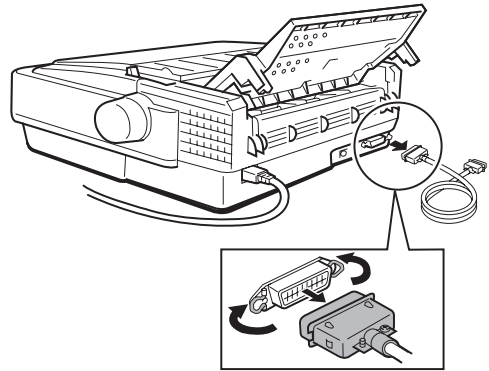
インターネットのWebページ	NEC 8番街（http://nec8.com/）

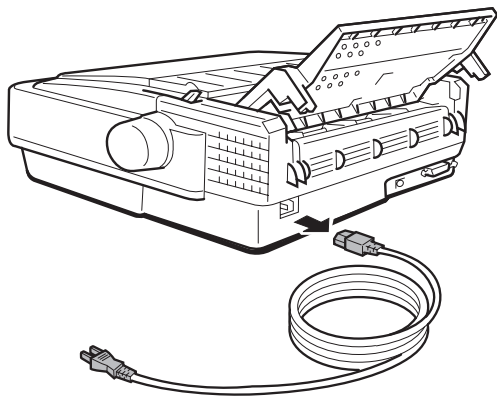
プリンタを運搬するときは

プリンタを運搬するにあたっては、プリンタを運搬時の衝撃から守るための準備が必要です。運搬の準備には、お買い上げ時にプリンタの入っていた箱、最初に取り外した梱包材や保護用部品を使います。次の手順で運搬の準備を行ってください。

❶ プリンタおよびコンピュータの電源スイッチをOFFにします。

❷ オプション類を使用していたときは、すべて取り外します。

→第7章「オプション」を参照してください。

❸ シートガイドが付いていれば取り外します。

❹ インタフェースケーブル（プリンタケーブル）を取り外します。

① コンピュータに接続しているコネクタ部を持って、インタフェースケーブルをコンピュータから抜きます。

② プリンタに接続しているコネクタを固定している固定用ワイヤを外し、コネクタ部を持ってインタフェースケーブルをプリンタから抜きます。

❺ **電源コードを取り外します。**

① コンセントに接続しているプラグを持って、電源コードをコンセントから抜きます。

② 三極プラグを持って、電源コードをプリンタから抜きます。

❻ **インクリボンカートリッジを取り外します。**

→「インクリボンカートリッジの交換」(83ページ)を参照してください。

❼ **保護用部品を元の位置に取り付けます。**

→第2章の「保護用部品を取り除く」(19ページ)を参照してください。

❽ **梱包材を元のように取り付けて、プリンタおよび付属品を箱にしまいます。これで準備完了です。**

プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジの処理について

プリンタを廃棄する

プリンタの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。
また、NECでも法人のお客様に販売したプリンタを対象として、NECグループの物流ネットワークを効率的に活用し、使用済みとなったプリンタを有償でお客様から再資源化拠点まで回収しております。

回収を依頼される場合の連絡先

- NECロジスティクス株式会社　ロジスティクス営業本部　営業部
  TEL　044-733-1298　FAX　044-733-1398
  〒211-0063　川崎市中原区小杉町1-403(武蔵小杉STMビル)

- NECフィールディング株式会社　保守ビジネス推進本部　第一ビジネス推進部
  TEL　03-3457-7161　FAX　03-3457-1808
  〒108-0073　東京都港区三田一丁目4番28号(三田国際ビル)

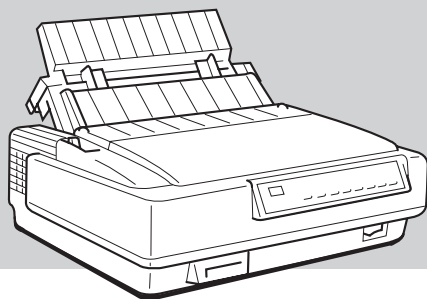
- 株式会社シンシア　リサイクル事業部
  TEL　03-3799-5320　FAX　03-3799-5322
  〒140-0003　東京都品川区八潮3-2-10

インクリボンカートリッジの処理について

NECでは、資源の有効活用と地域環境保全を目的に使用済みのNEC製インクリボンカートリッジの回収を行っております。恐れ入りますが、使い終りましたインクリボンカートリッジがございましたら、全国のNECサービス窓口(添付のサービス網一覧参照)のカウンターにお持ちいただき、回収にご協力をお願いいたします。

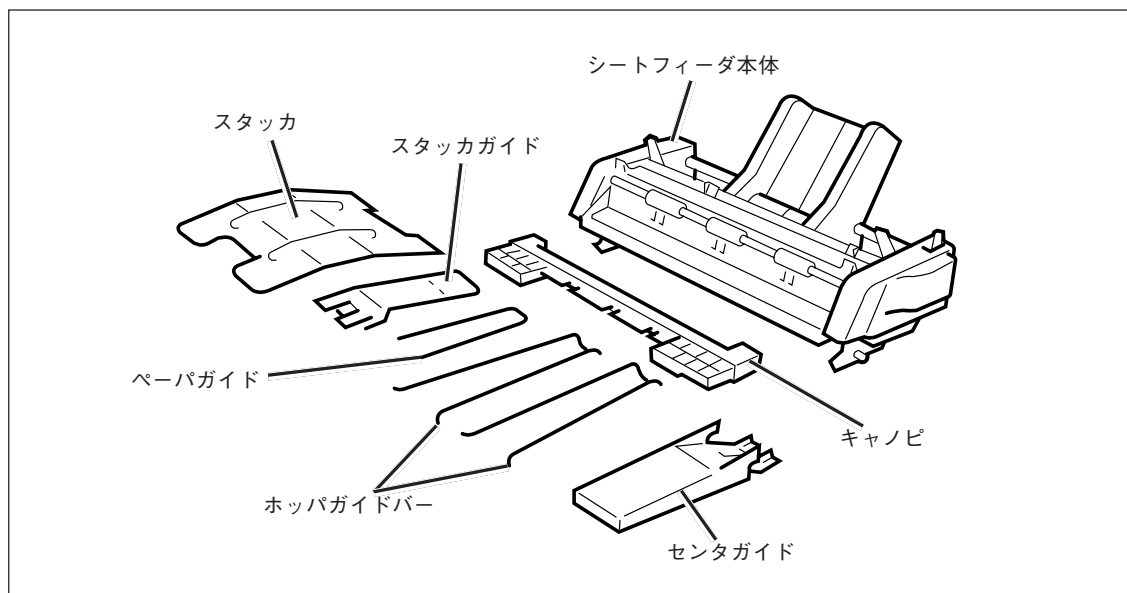
* 詳しくは、http://www.nec.co.jp/eco/ja

お近くにNECサービス窓口がない場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

7章
オプション

シートフィーダ

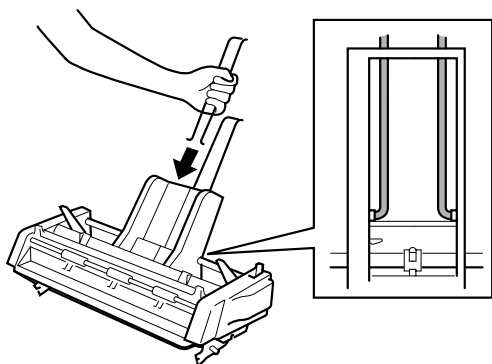
シートフィーダを取り付ければ、まとめてセットしたカット紙やはがきを連続吸入させることができます。また、シートガイドと同じように手差しで1枚ずつセットして吸入させることもできます。

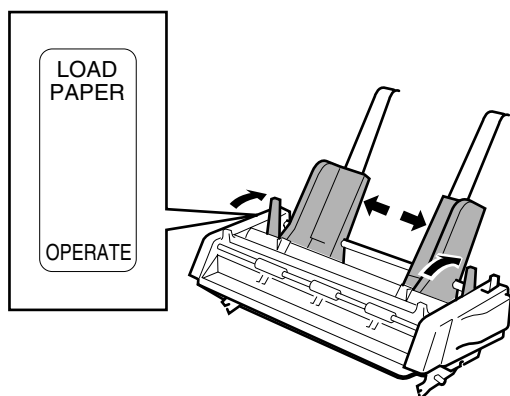
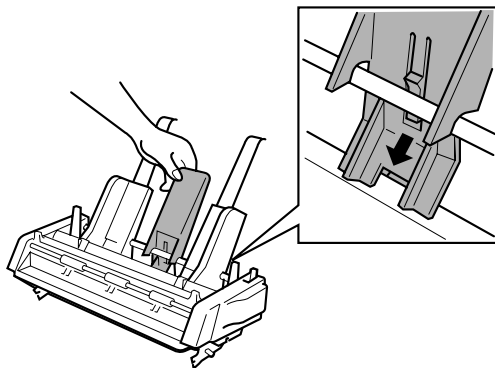
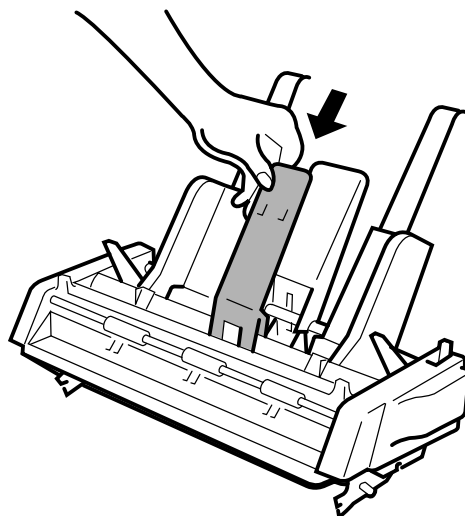
構成部品

シートフィーダの箱には、以下に示すものが入っています。

組み立て

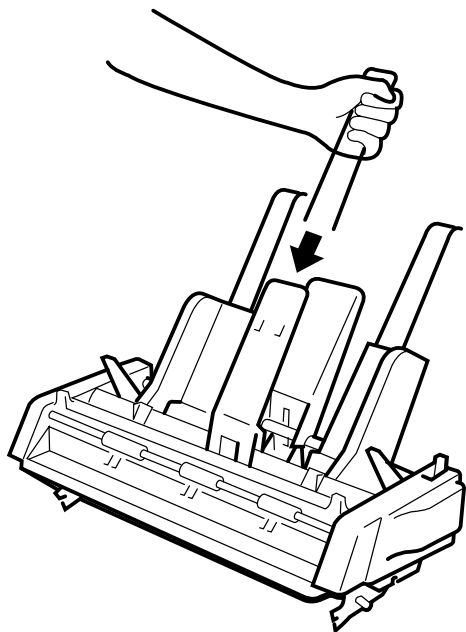
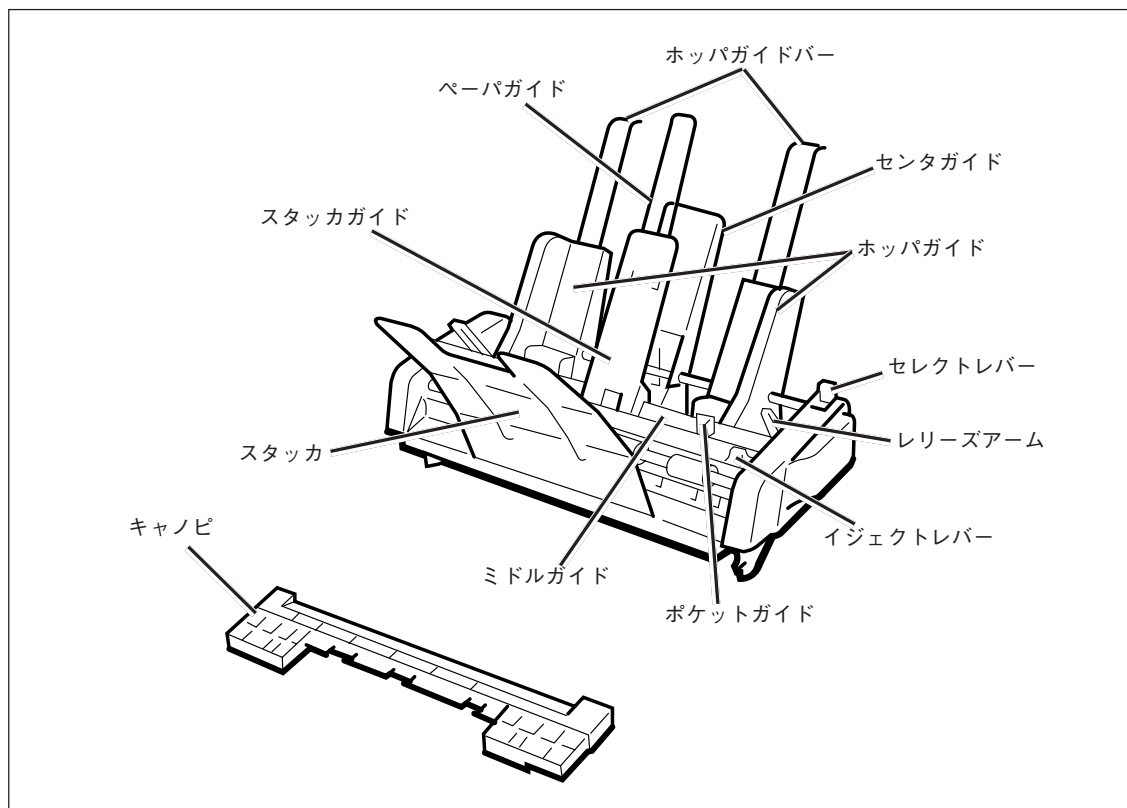
次の手順でシートフィーダを組み立ててください。

❶ ホッパガイドバーを握って右側のホッパガイドの上から差し込み、ホッパガイドバーの先端をホッパガイド背面の穴に固定します。ホッパガイドバーの上部が奥方向にカーブする向きに取り付けてください。

❷ 残りのホッパガイドバーを手順❶と同じ方法で左側のホッパガイドに取り付けます。

❸ レリーズアームを奥側(LOAD PAPER側)に倒します。

❹ 左右のホッパガイドを両端にそれぞれ移動します。

❺ 左右のホッパガイドの間にセンタガイドを取り付けます。センタガイドの下端のつめで本体の金属部分をはさむようにして取り付けてください。

❻ スタッカガイドをミドルガイド(透明なプラスチック板)の左右中央付近に差し込みます。

❼ ペーパガイドをスタッカガイドの先端から差し込みます。

各部の名称

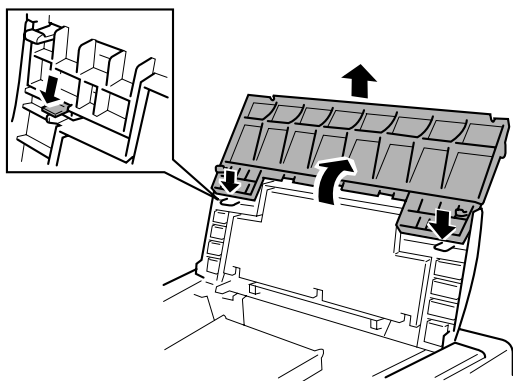
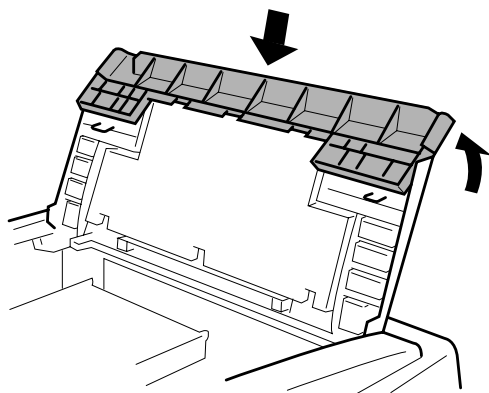
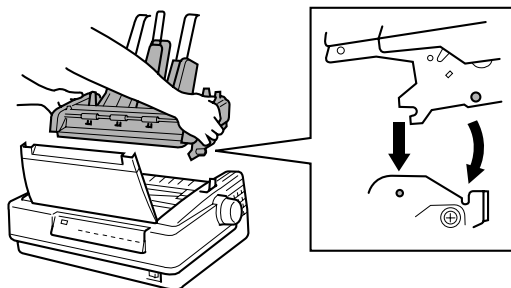
ホッパガイドバー
ペーパガイド
センタガイド
スタッカガイド
ホッパガイド
セレクトレバー
レリーズアーム
スタッカ
イジェクトレバー
キャノピ
ミドルガイド
ポケットガイド

取り付け・取り外し

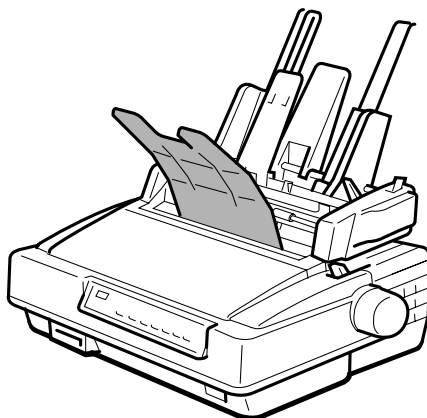
次の手順でシートフィーダをプリンタに取り付けてください。なお、プリンタに用紙がセットされている場合は、シートフィーダを取り付ける前に取り除くか(カット紙、はがき)退避させるか(連続紙)してください。

❶ プリンタの電源をOFFにします。

❷ シートガイドを取り外します。シートガイドをななめ後方に引き上げてから、真上に持ち上げてください。

❸ トップカバーを開けます。

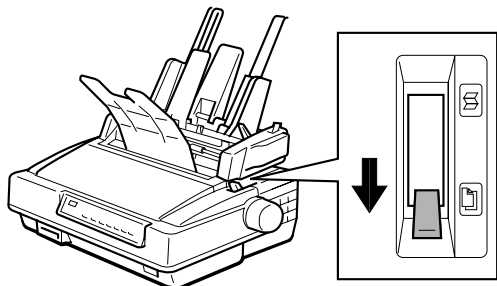
❹ トップカバーのキャノピ(透明な部分)を取り外します。トップカバー裏側の左右にある突起を押し下げ、キャノピを持ち上げるようにして取り外してください。

❺ シートフィーダの箱に入っていたキャノピを❹と逆の手順でトップカバーに取り付けます。カチッと音がするまではめ込んでください。

❻ シートフィーダ下部の左右にある半月状の切り欠きをプラテン奥側にあるオプションスタッド(金属棒)に引っかけて、シートフィーダを奥方向に回転させながら取り付けます。

❼ トップカバーを閉めます。

❽ スタッカをシートフィーダ手前側のスロットに差し込みます。

❾ 電源をONにします。これで取り付け完了です。

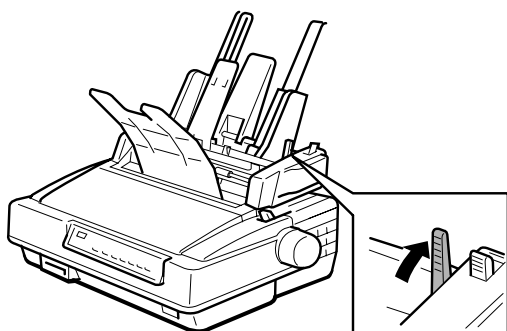
❿ シートフィーダの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

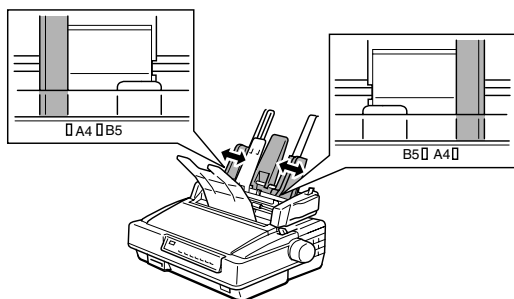
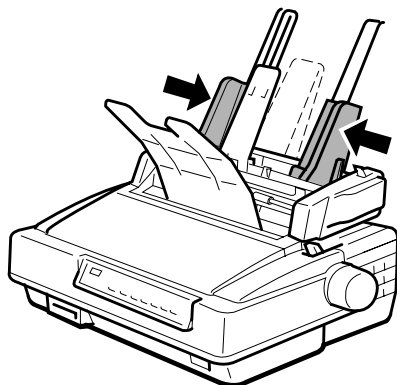
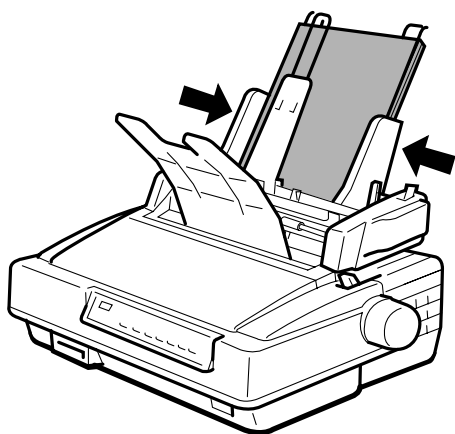
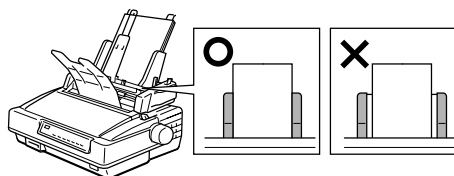
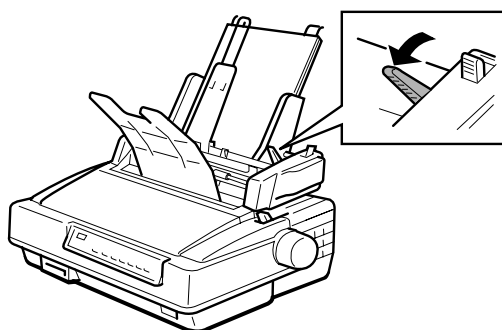
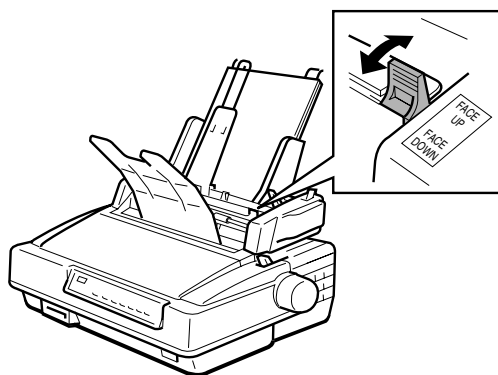
シートフィーダの取り付け・取り外しは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。

カット紙のセット・吸入　－ホッパを使う－

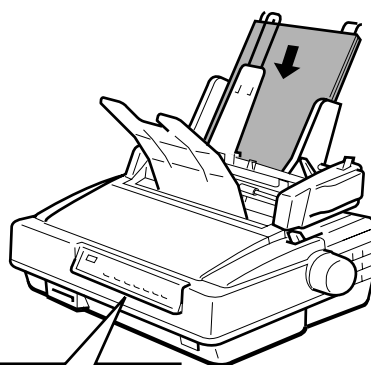
カット紙をまとめてセットして連続吸入させたいときは、ホッパを使います。次の手順に従ってください。

❶ ペーパセレクションレバーを手前側（カット紙側）にします。

❷ 電源をONにします。プリンタ内にカット紙が残っていれば排出されます。

❸ レリーズアームを奥側（LOAD PAPER側）に倒します。

❹ ミドルガイド上の用紙スケールを参考にして、左右のホッパガイドを使用するカット紙の幅に合わせます。

❺ センタガイドを左右のホッパガイドの中央にくるように移動します。

使用するカット紙の幅が狭いためにセンタガイドを取り付けるスペースがない場合は、センタガイドを取り外してください。

❻ まとめたカット紙を十分にさばいてから用紙端をそろえ、印字する面を下にしてホッパにセットします。

- 紙質あるいは厚さの異なるカット紙を混ぜてセットすることは避けてください。うまく吸入されないことがあります。
- ホッパに一度にセットできるカット紙の枚数は、坪量64g/m²(連量55kg)の用紙で約180枚です。
- 左右のホッパガイドが用紙の両端に軽く接触する程度に合わせてください。

❼ レリーズアームを手前側(OPERATE側)に倒します。

❽ カット紙をスタッカガイドに排出するときはイジェクトレバーを奥側(FACE UP側)に、スタッカに排出するときはイジェクトレバーを手前側(FACE DOWN側)にします。

カット紙をスタッカガイドに排出すると印字面を上にして積み重ねられるので、印字結果を確認しながら印字を行うことができます。一方、スタッカに排出すると印字面を下にして積み重ねられるので、数ページにわたる文書を印字したときに用紙をページ順に並べ直す必要がなくなります。

❾ 印字可スイッチを押してプリンタをディセレクト状態(印字可ランプ消灯)にします。

❿ 吸入／退避スイッチを押します。カット紙がホッパから1枚自動的に吸入されます。

ここでカット紙の吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは、「用紙吸入位置の微調整について」(112ページ)をご覧ください。

⓫ **セットしたカット紙の厚さに応じて、用紙厚さセットレバーを適切な位置にします。**

⓬ **印字可スイッチを押して印字可ランプを点灯させます。（吸入位置を微調整した場合には、この操作は必要ありません。）**

✔チェック

- スタッカまたはスタッカガイドに一度に積み重ねることができるカット紙の枚数は、坪量64g/m²(連量55kg)の用紙の場合スタッカで約90枚、スタッカガイドで約50枚です。
- 印字の途中でホッパに用紙がなくなった(用紙ランプ点灯)場合は、新しいカット紙をセット・吸入してから印字可スイッチを押してください。続きが印字されます。

印字範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印字ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

7 オプション

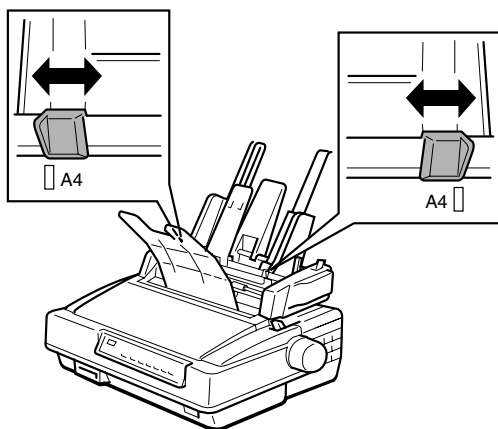
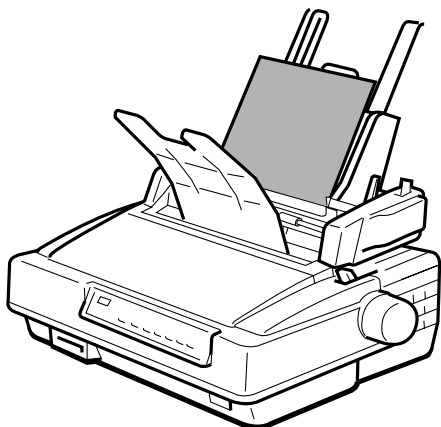
カット紙のセット・吸入　ーポケットを使うー

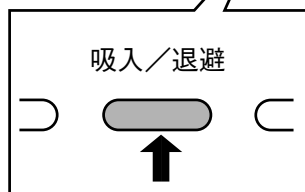
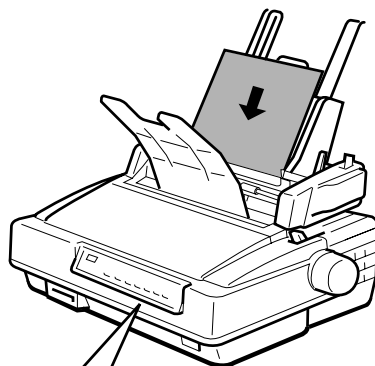
シートフィーダを取り付けたままカット紙を手差しで1枚ずつセットして吸入させたいときは、ポケットを使います。次の手順に従ってください。

❶ ペーパセレクションレバーを手前側(カット紙側)にします。

❷ 電源をONにします。プリンタ内にカット紙が残っていれば排出されます。

❸ レリーズアームを奥側(LOAD PAPER側)に倒します。

❹ ミドルガイド上の用紙スケールを参考にして、左右のポケットガイドを使用するカット紙の幅に合わせます。

❺ カット紙1枚を水平にしてポケットガイドの間に挿入し、ポケットの中に突き当たるまで差し込みます。印字する面を下にしてセットしてください。

❻ 印字可スイッチを押してプリンタをディセレクト状態(印字可ランプ消灯)にします。

❼ 吸入／退避スイッチを押します。カット紙がポケットから自動的に吸入されます。

チェック

ここでカット紙の吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは、「用紙吸入位置の微調整について」(112ページ)をご覧ください。

❽ 印字可スイッチを押して印字可ランプを点灯させます。(吸入位置を微調整した場合には、この操作は必要ありません。)

重要

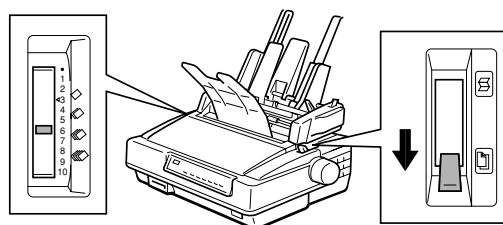
- ポケットを使う場合は、プラテンノブを使っての逆方向改行は行わないでください。ホッパからカット紙を吸入してしまうことがあります。
- 印字範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印字ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

はがきのセット・吸入

はがきをまとめてセットして連続吸入させたいときは、次の手順に従ってください。なお、はがきに印字するときは、第3章の「はがき印字に関する注意」(46ページ)に必ず目を通してください。

❶ ペーパセレクションレバーを手前側(カット紙側)にします。

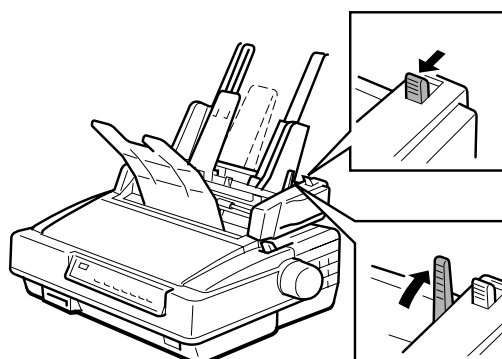
❷ 用紙厚さセットレバーを6の位置にします。

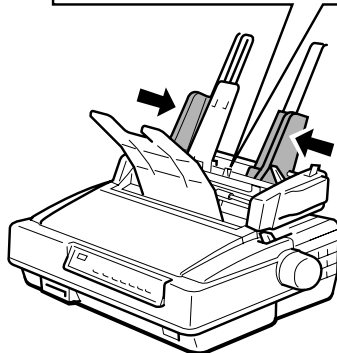
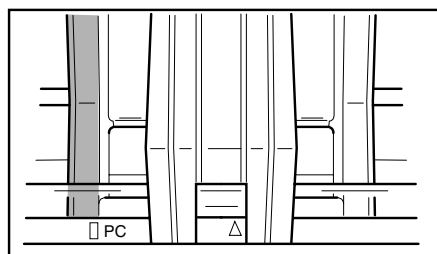
これは、はがき印字時のレバーの推奨位置です。はがきに印字したときにインクリボンの汚れが付着したり文字が不鮮明だったりしたときは、用紙厚さセットレバーの位置を調整してください。

❸ 高速印字スイッチを押しながら電源をONにします。高速印字スイッチは、インジケータにPCと表示されるまで押し続けてください。PCが5回点滅して、ハガキモードが選択されます。

❹ ホッパにセットされている用紙があれば取り除きます。

❺ レリーズアームを奥側(LOAD PAPER側)に倒します。

❻ セレクトレバーを手前側(はがき側)にします。

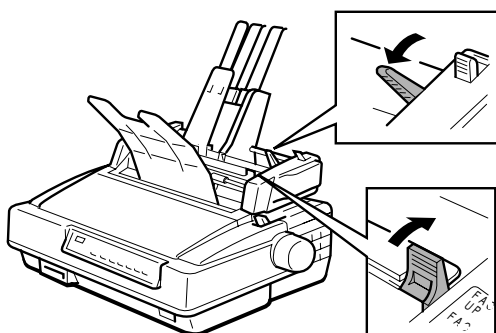
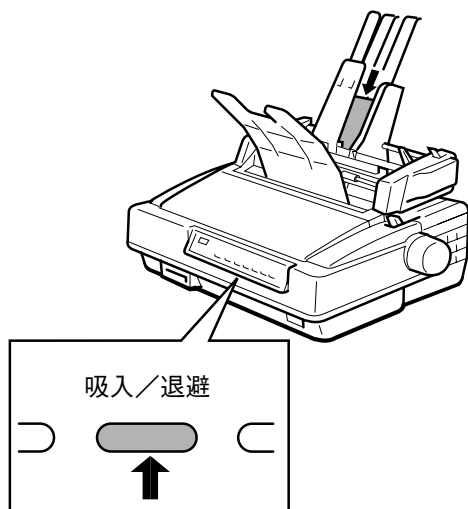
❼ センタガイドを取り外します。

❽ 左側のホッパガイドをミドルガイド上の用紙スケールの"PC"の位置に動かします。

❾ 右側のホッパガイドをはがきの縦置きまたは横置きの幅に合わせて移動します。

❿ **まとめたはがきを十分にさばいてから端をそろえ、印字する面を下にしてホッパにセットします。**

チェック

ホッパには一度に70枚までの官製はがきをセットすることができます。

⓫ **レリーズアームを手前側（OPERATE側）に倒します。**

⓬ **イジェクトレバーを奥側（FACE UP側）にします。**

⓭ **吸入／退避スイッチを押します。はがきがホッパから1枚自動的に吸入されます。**

チェック

ここで、はがきの吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは、「用紙吸入位置の微調整について」（112ページ）をご覧ください。

⓮ **はがきが確実に吸入されたことを確認してから、印字可スイッチを押して印字可ランプを点灯させます。（吸入位置を微調整した場合には、この操作は必要ありません。）**

チェック

- はがきの排出は、必ずイジェクトレバーを奥側（FACE UP側）にして行ってください。はがきは印字面を上にしてスタッカガイドに積み重ねられます。なお、スタッカガイドには官製はがきで30枚まで排出することができます。
- はがき吸入時あるいは印字中に紙づまり、改行不良などが発生した場合には、電源をOFFにしてから手作業またはプラテンノブを回してはがきを取り除いてください。
- 手順❸で選択されたハガキモードは電源をOFFにすると解除されます。電源をOFFにしてもハガキモードが解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキモードを選択してください（第4章の「パラメータ設定を変更する」（69ページ）参照）。

シートフィーダ使用時の注意

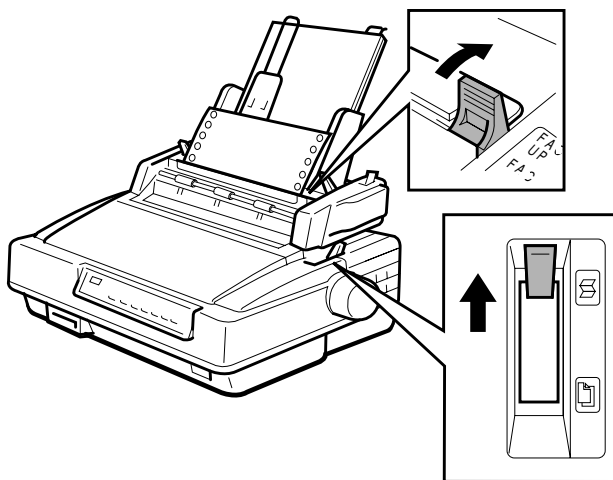
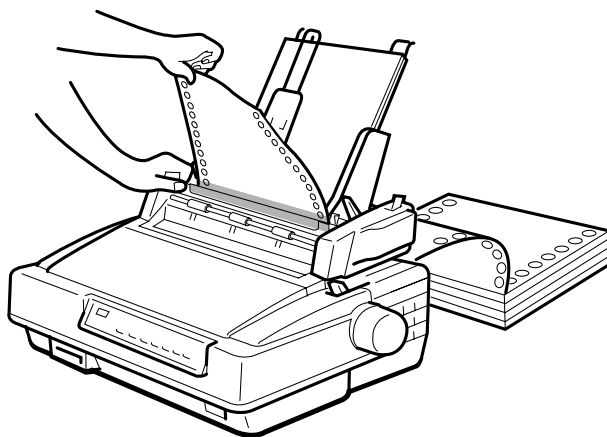
カット紙と連続紙の切り替え印字について

シートフィーダを取り付けたままでも連続紙に印字することができます。カット紙と連続紙の切り替え手順はシートフィーダを取り付けていない場合と同じです(第3章の「カット紙と連続紙の切り替え印字」(51ページ)参照)が、次の点に注意してください。

■ 連続紙をセットするときは、いったんシートフィーダを取り外してから連続紙をセットし、再度シートフィーダを取り付けてください。

■ 複写式の連続紙を使うことはできません。複写式の連続紙を使う場合はシートフィーダを取り外してください。

■ イジェクトレバーは奥側(FACEUP側)にしてください。

■ スタッカは取り外してください。

■ シートフィーダを取り付けていても、連続紙のカット機能を使うことができます(第3章の「連続紙のカット」(43ページ)参照)。カットするときは、イジェクトレバーのエッジにミシン目を合わせ、イジェクトレバーを押さえながら連続紙を手前に引っ張ってカットしてください。

用紙吸入位置の微調整について

シートフィーダ使用時に用紙吸入位置の微調整を行う場合、1回の微調整では約8.5mm(40/120インチ、▼スイッチ2回分)までしか逆方向に用紙送りできません。これ以上逆方向に用紙を送りたいときは次のようにしてください。

❶ **印字可スイッチを押して新しい用紙吸入位置をいったんプリンタに記憶させます。**

❷ **印字可スイッチを押してプリンタをディセレクト状態(印字可ランプ消灯)にします。**

❸ **改頁スイッチを押します。プリンタはカット紙を排出後、新しいカット紙を吸入します。**

❹ **ここで再び用紙吸入位置を微調整します。**

❺ **カット紙が目的の用紙吸入位置にくるまで、手順❷〜❹を繰り返します。**

用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から印字第1行目(文字中央)までの距離が8〜26mmになる範囲です。

用紙がつまったときは

用紙吸入時にカット紙がつまったときは、印字可ランプが消灯または点滅し、用紙ランプが点灯します。また、排出時につまったときは、印字可ランプが消灯、用紙ランプが点滅し、インジケータにSEと表示されます。このようなときは、次の手順に従って処理してください。

❶ **プラテンノブを時計方向に回して、つまったカット紙を取り除きます。**

❷ **吸入／退避スイッチを押します。カット紙が吸入され、用紙ランプが消灯します。**

❸ **印字可スイッチを押して印字可ランプを点灯させます。**

その他

- 用紙吸入位置から下へ約50.8mm(2インチ)の領域に印字するときには、改行するたびに印字ヘッドが自動的に中央に移動(センタリング)するため、印字速度が少し落ちます。

- カット紙がプリンタ内に残ったまま電源をONにしたりソフトウェアリセットや強制リセットを行ったりしたときは、そのカット紙は自動的に排出されます。

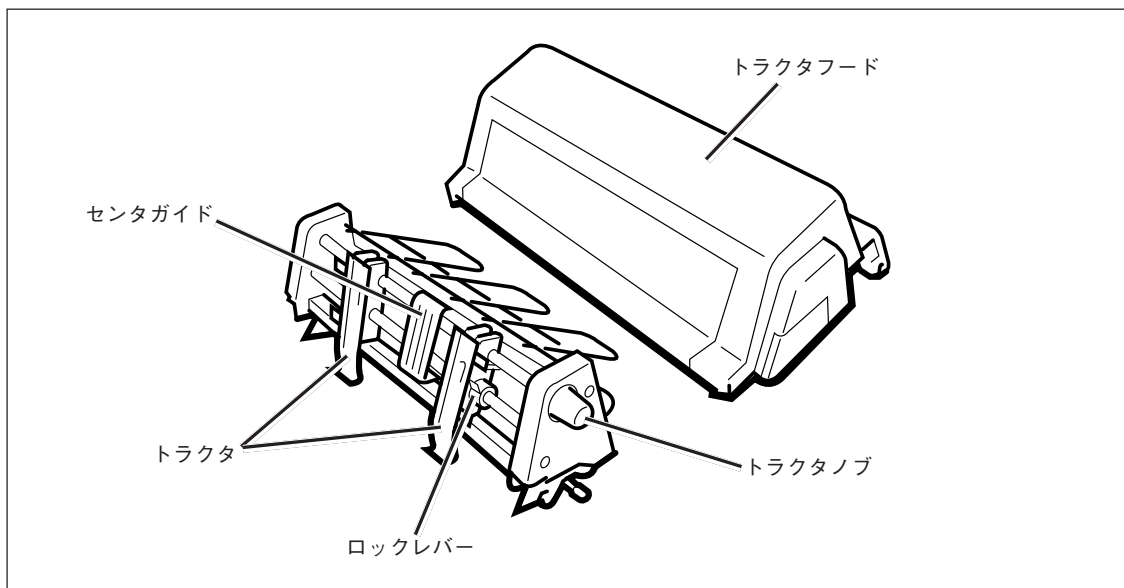
- 電源ON時や強制リセット時には、ホッパにカット紙がセットされている、いないにかかわらず、用紙ランプは消灯しています。

- シートフィーダを使ってテスト印字を行うときは、あらかじめ用紙を吸入しておく必要はありません。改頁スイッチを押しながら電源をONにすると、カット紙が自動的に吸入されてテスト印字が始まります。(カット紙があらかじめ吸入されていた場合は、プリンタはそのカット紙を排出してから新しいカット紙を吸入してテスト印字を開始します。)

- シートフィーダでは逆方向改行はできません。

トラクタフィーダ

トラクタフィーダを取り付ければ、標準装備のプッシュトラクタだけのときに比べ、より高い精度で連続紙を送ることができます。複写式の連続紙などに印字するときにはトラクタフィーダを使用することをおすすめします。なお、複写式の連続紙を使うときには、付録の「用紙の規格と印字範囲」(130ページ)に必ず目を通してください。

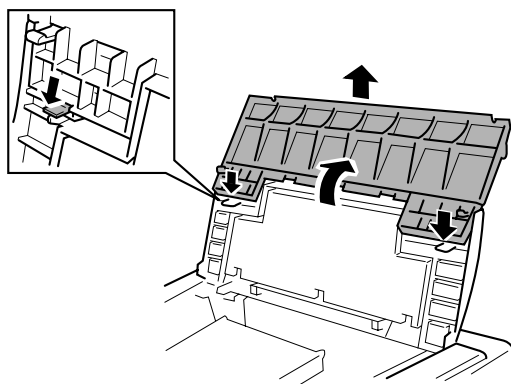
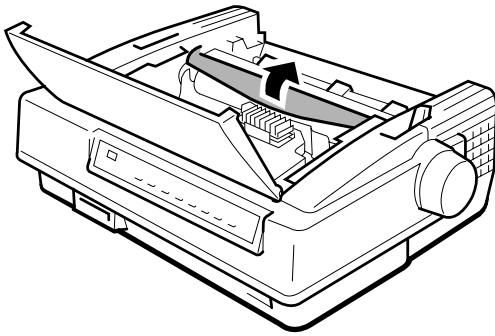
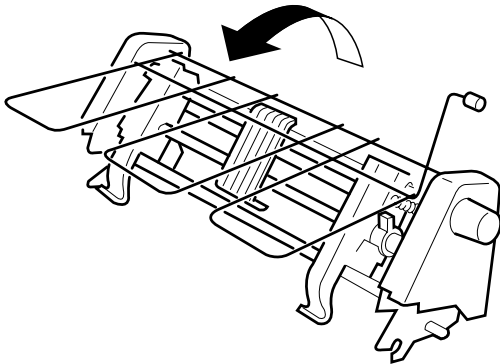
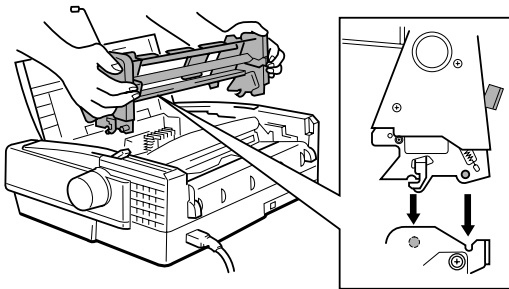
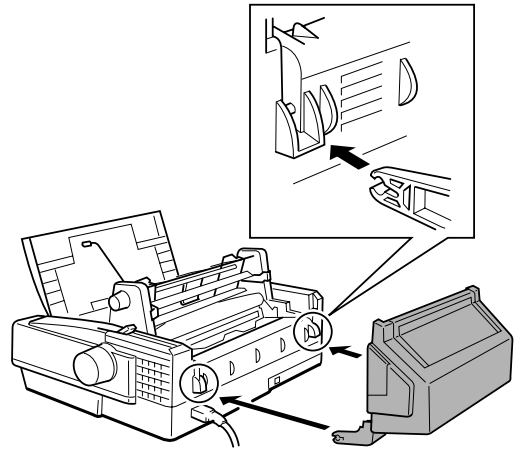
各部の名称

取り付け・取り外し

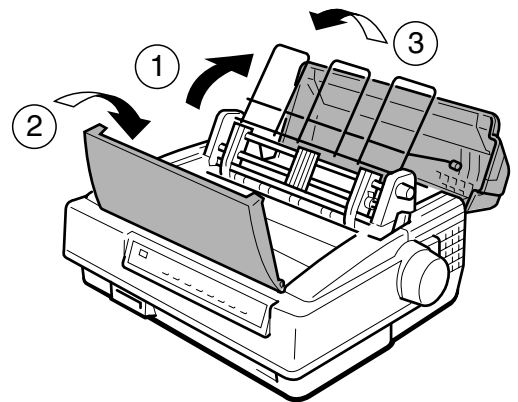
次の手順でトラクタフィーダを取り付けてください。

❶ **電源をOFFにします。**

❷ **シートガイドを取り外します。シートガイドをななめ後方に引き上げてから、真上に持ち上げてください。**

❸ **トップカバーを開けます。**

❹ **トップカバーのキャノピ(透明な部分)を取り外します。トップカバー裏側の左右にある突起を押し下げ、キャノピを持ち上げるようにして取り外してください。**

❺ ベールローラガイドを奥へ倒します。

❻ ペーパネットを手前に倒します。

❼ トラクタフィーダ奥側の左右にあるレバーを押しながら、左右下部のつめをプラテン奥側にあるオプションスタッド(金属棒)にかみ合わせるようにしてトラクタフィーダを取り付けます。トラクタフィーダがガタついていないことを確認してください。

❽ トラクタフードを取り付けます。

❾ ペーパネットを奥へ倒し、トップカバーを閉めます。

❿ トラクタフードを閉めます。

⓫ 電源をONにします。これで取り付け完了です。

⓬ トラクタフィーダの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

重要

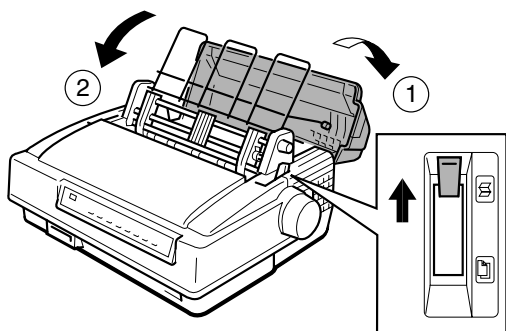
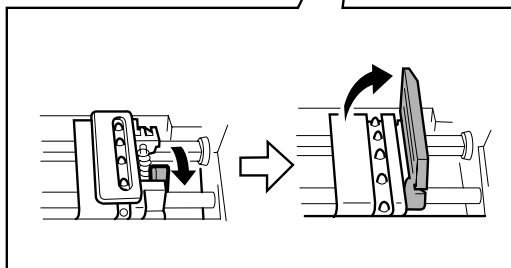
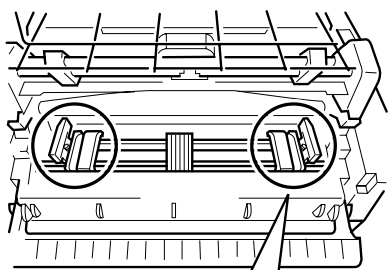
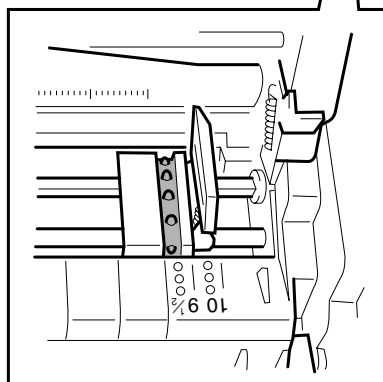
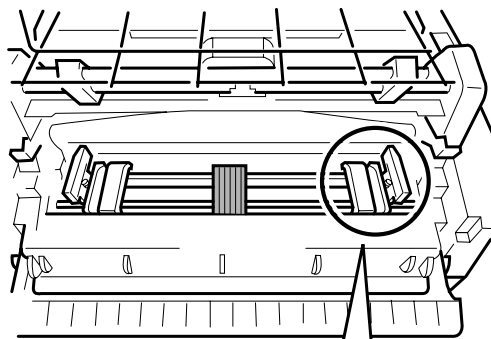
トラクタフィーダの取り付け・取り外しは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。

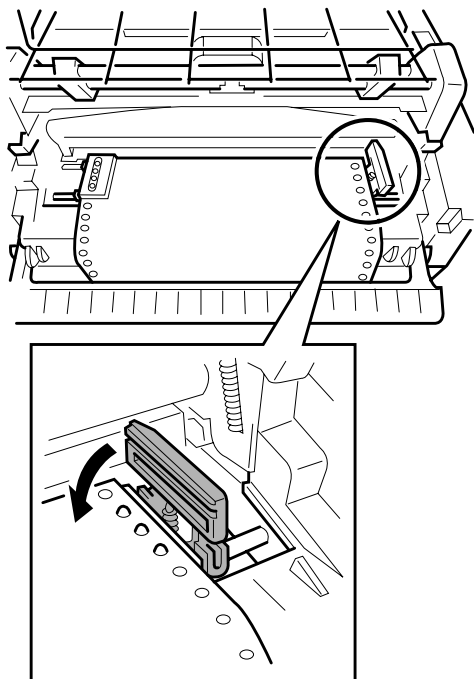
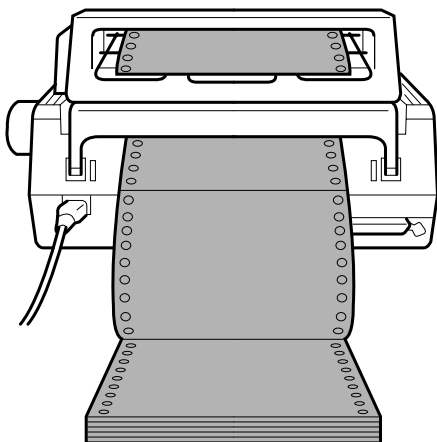
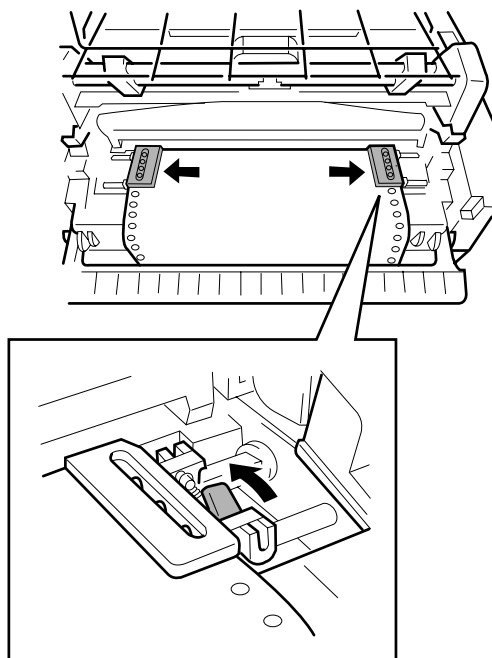
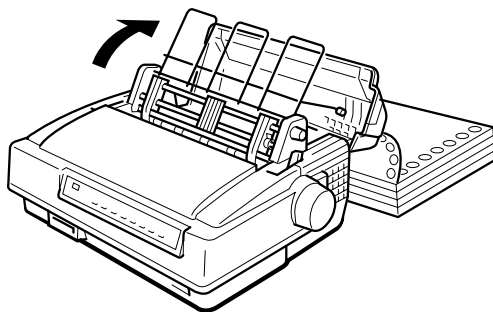
連続紙のセット・吸入

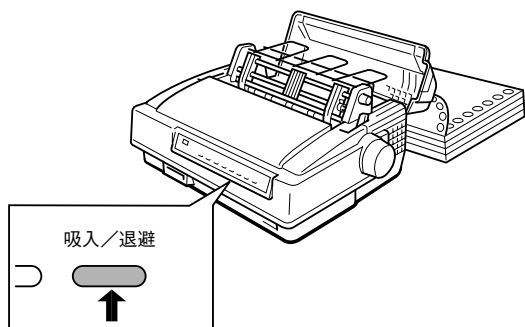
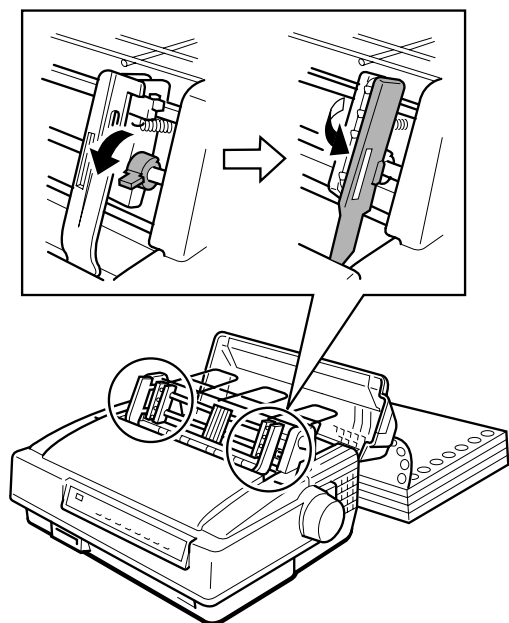
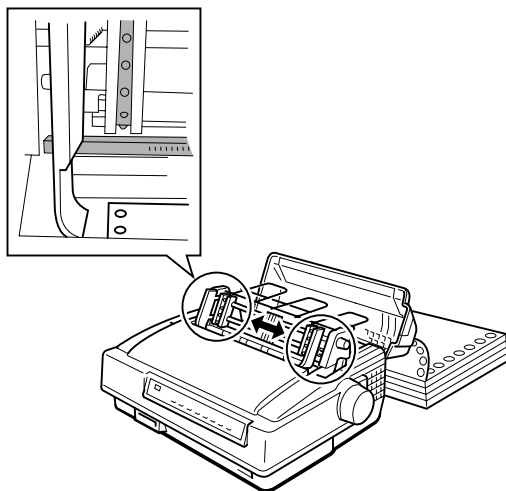
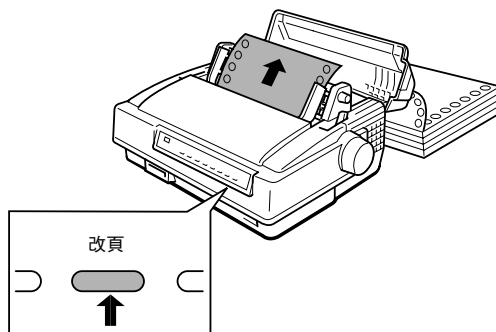
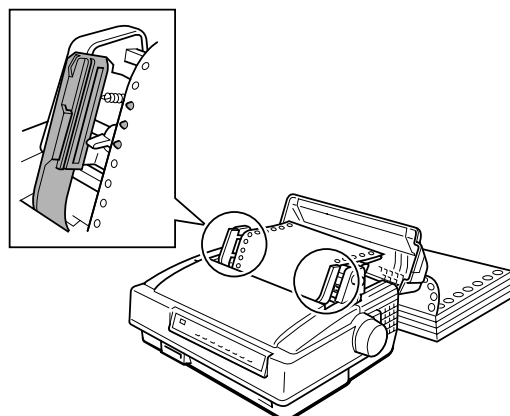
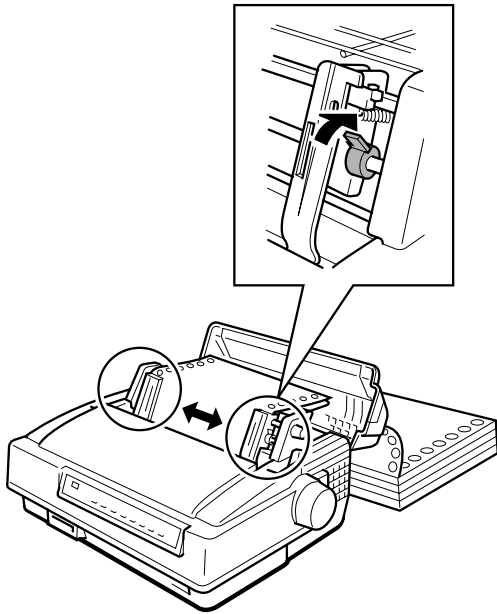
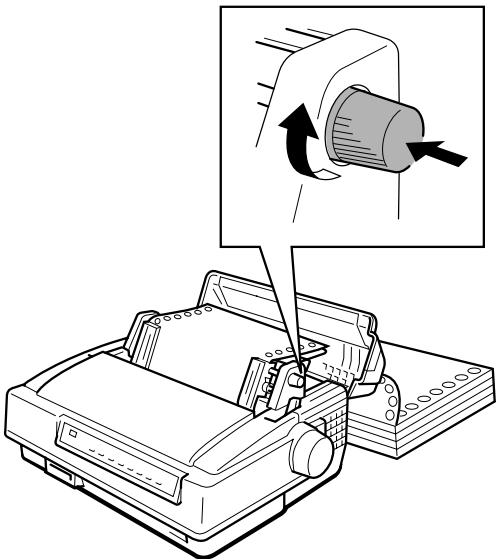
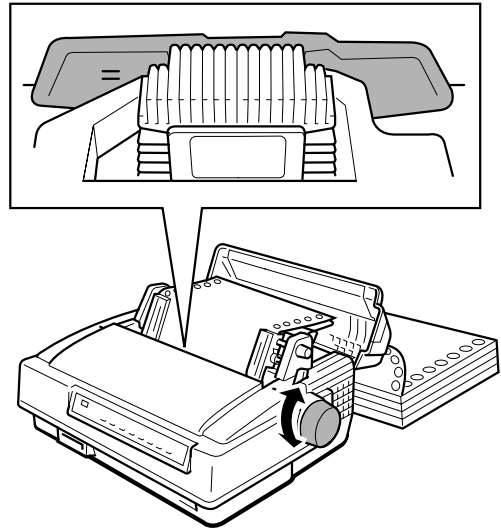
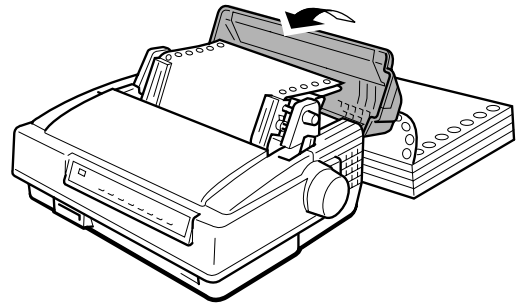
トラクタフィーダに連続紙をセットするときには、まずプッシュトラクタに連続紙をセットして用紙送りをしてからトラクタフィーダにセットするという手順になります。

❶ トラクタフードを開けます。

❷ ペーパネットを手前側に倒します。

❸ ペーパセレクションレバーを奥側（連続紙側）にします。

❹ プッシュトラクタの左右のロックレバーを奥側にしてロックを解除し、左右のトラクタカバーを開けます。

❺ ベールローラガイド上の目盛り（カラムスケール）を目安にしながら、左右のトラクタをほぼ連続紙の幅に合わせます。また、センタガイドを左右のトラクタの中央にくるように移動します。

6 印字する面を下にして、連続紙をプリンタ背面とトラクタフードの間のすきまから差し込みます。

7 トラクタの位置を微調整しながら連続紙の先端左右の用紙送り穴をトラクタピンに差し込み、トラクタカバーを閉じます。連続紙は印字する面を下にしてセットしてください。

セットする連続紙のストック分は、プッシュトラクタの連続紙セット位置に対して鉛直線上で、プリンタ本体と平行にしてください。

8 連続紙が左右方向にたるまないようにトラクタの位置を決めたら、左右のロックレバーを手前側にしてロックします。

9 ペーパネットを奥側に倒します。

⑩ 電源をONにします。電源ランプと用紙ランプが点灯します。

⑪ 吸入／退避スイッチを押します。連続紙が吸入され、用紙ランプが消灯します。このとき、連続紙がプラテンの下を回り込みプラテンとカードホルダの間を通っていることを確認してください。

⑫ トラクタフィーダの左右のロックレバーを下側にしてロックを解除し、左右のトラクタカバーを開けます。

⑬ トラクタフィーダ前面の目盛り（カラムスケール）を目安にしながら、左右のトラクタをほぼ連続紙の幅に合わせます。また、センタガイドを左右のトラクタの中央にくるように移動します。

⑭ 改頁スイッチを押して連続紙を1ページ分送り出します。

⑮ トラクタの位置を微調整しながら連続紙左右の用紙送り穴をトラクタピンに差し込み、トラクタカバーを閉じます。

⑯ 連続紙が左右方向にたるんだりしわになったりしないようにトラクタの位置を決めたら、左右のロックレバーを上側にしてロックします。

⑰ 連続紙が用紙送り方向にたるんでいる場合は、たるみがなくなるまでトラクタノブを十分に押し込みながら時計方向に回します。

⑱ 印字第1行目はカードホルダの左右にある2本の凸状の線の間にくるので、位置が合わない場合はプラテンノブを回して調整します。

⑲ トラクタフードを閉めます。

⑳ セットした連続紙の厚さに応じて、用紙厚さセットレバーを適切な位置に動かします。

㉑ 印字可スイッチを押して印字可ランプを点灯させます。

✔チェック

トラクタフィーダ使用時には、連続紙のカット機能は使えません。

重要

印字範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印字ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

カラーキット

カラーキットを取り付ければ、次のようなことができます。

■ 使用しているソフトウェアがPC-PR101系のカラー印字に対応しているならば、カラーキットにカラーインクリボンカートリッジを取り付けることにより7色のカラー印字を行うことができます。

■ カラーキットにロングライフインクリボンカートリッジを取り付けることにより、通常の黒単色印字のランニングコストを安くすることができます。

カラーキットにインクリボンカートリッジ(黒)を取り付けて通常の黒単色印字を行うこともできます。

カラーキットとリボンカートリッジの取り付け

まず、次の手順でカラーキットを取り付けてください。

重要

長時間印字を続けた後は印字ヘッドが高温になっているため、手を触れると危険です。十分に温度が下がってから作業するようにしてください。

❶ **プリンタの電源をOFFにします。**

❷ **トップカバーを開けます。**

❸ **カートリッジホルダをプリンタの左右中央付近に手で移動します。**

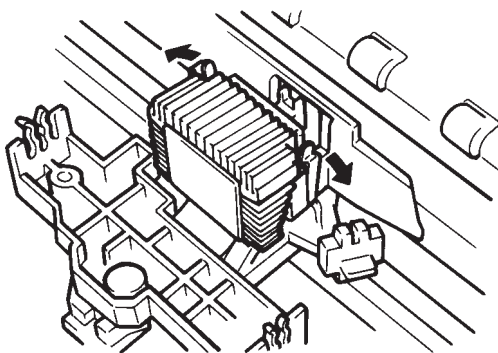
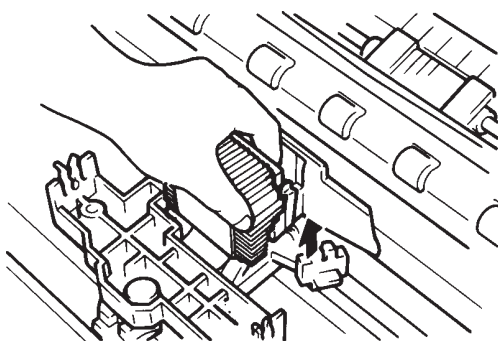
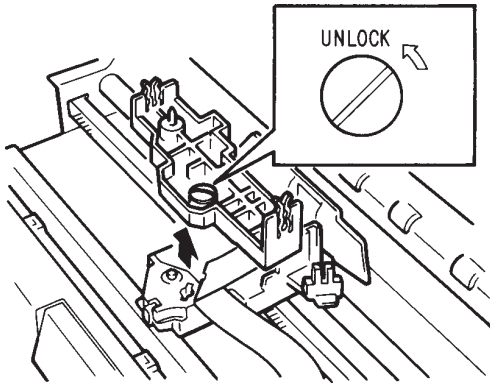
❹ **用紙厚さセットレバーをいちばん手前側(10の位置)にします。**

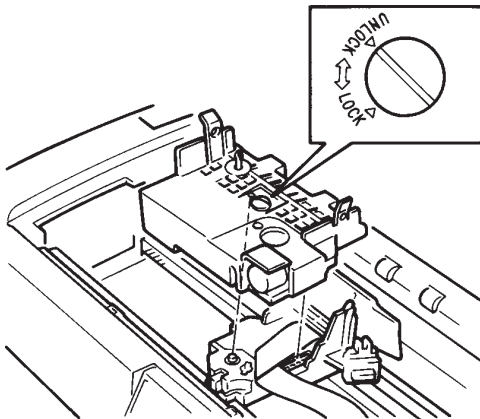
❺ **インクリボンカートリッジ(黒)を取り外します。リボンカートリッジの左右両側を持ち、リボンを印字ヘッドとカードホルダの間から取り外しながら水平に持ち上げてください。**

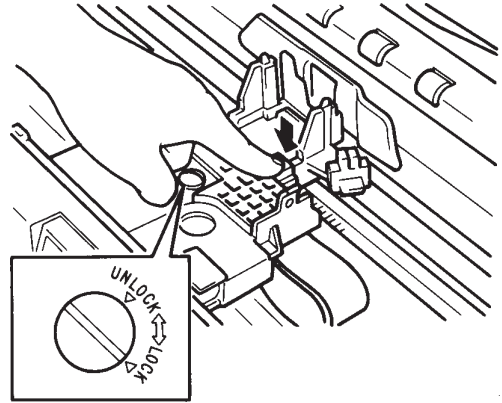
チェック

インクリボンが外れにくいときは、フィードノブを矢印の方向(反時計方向)に回しながら取り外してください。

❻ **ベールローラガイドを奥へ倒します。**

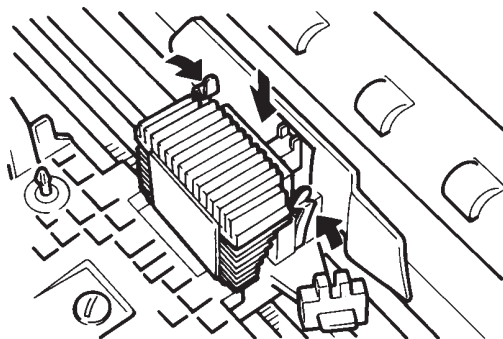
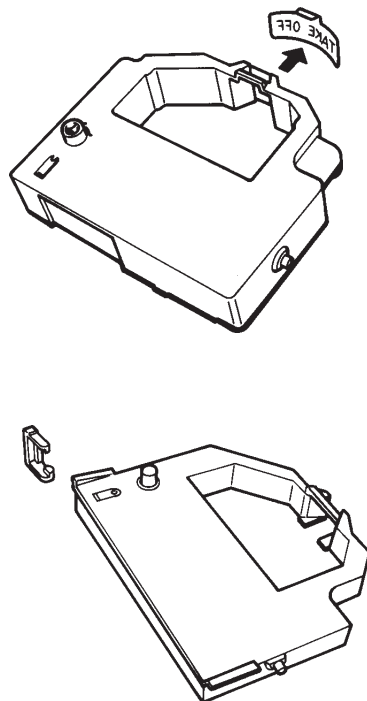
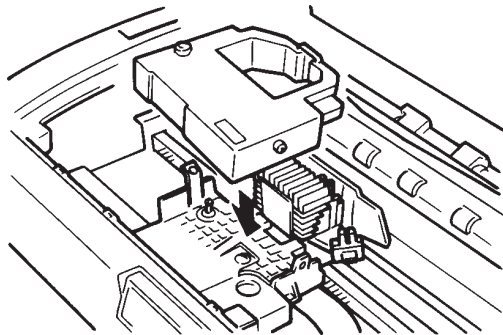
❼ **印字ヘッドの左右にある止め金を外側に外します。**

❽ **印字ヘッドを図のようにしっかりとつかみ、上方に強く引っ張って取り外します。**

❾ カートリッジホルダの中央部にあるファスナをコインなどで反時計方向に回してゆるめ、カートリッジホルダを水平に持ち上げて取り外します。

❿ カラーキットを図のような向きにして、ファスナの頭の溝をUNLOCKの▼の位置に合わせます。

⓫ カラーキットのファスナとその左側の穴がキャリッジフレームの溝と突起にぴったりとはまるように、また右上部の切り欠きがキャリッジフレームにはまるように、カラーキットをキャリッジフレームに載せます。

⓬ カラーキット右上にあるコネクタを上から押さえ、キャリッジフレームのコネクタにはめ込みます。

⓭ ファスナをLOCKの▼の位置まで時計方向に回し、カラーキットを固定します。

⓮ キャリッジフレームを左右に動かして、カラーキット左上のピンが回転することを確認します。

ピンが回転しない場合は取り付け位置がずれています。もう一度手順❾からやり直してください。

⓯ **印字ヘッドを元の位置に取り付け、止め金をはめて固定します。これでカラーキットの取り付け完了です。**

つづいてリボンカートリッジを取り付けます。カラーインクリボンカートリッジ、ロングライフインクリボンカートリッジ、インクリボンカートリッジ（黒）とも取り付け方は同じです。

⓰ **カラーインクリボンカートリッジからは保護シートを、インクリボンカートリッジ（黒）からは赤色のストッパをそれぞれ取り外します。**

⑰ リボンカートリッジの右の突起をカートリッジホルダに差し込みます。次に、リボンが印字ヘッドとカードホルダの間に入るようにし、フィードノブを使ってリボンのたるみをとりながらインクリボンカートリッジの左側を静かに押し込みます。カチッと音がしたら取り付け完了です。

⑱ ベールローラガイドを手前に倒し、確実にロックします。

⑲ トップカバーを閉めます。

プリンタケーブル

PC-PR101/63には、プリンタケーブル(コンピュータとプリンタをつなぐケーブル)が添付されていません。次の表をご覧になり、適切なプリンタケーブルを別途お買い求めください。

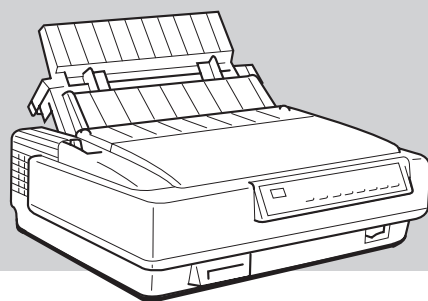
<table>
<tr><th colspan="2">コンピュータ本体</th><th>プリンタケーブル</th></tr>
<tr><td colspan="2">PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機(DOS/V対応機)</td><td>PC-PRCA-01(1.5m)
PC-CA205(4m)*1</td></tr>
<tr><td rowspan="3">PC-9800シリーズ
デスクトップタイプ
ミニタワータイプ</td><td>98MATEシリーズ(除くAp・As・Ae・Af)
98MATEサーバシリーズ
98FELLOWシリーズ(除くBA・BX)
98MULTiシリーズ(除くCe)
98MULTi CanBeシリーズ
VALUE STARシリーズ
CanBeJam
CEREB
98FINE
PC-H98シリーズ*3</td><td>PC-CA202(1.5m)*2
PC-CA204(4m)</td></tr>
<tr><td>PC-98XA・XL・XL2・RL*3</td><td>PC-PR801-21
(パソコン本体に標準添付)</td></tr>
<tr><td>上記以外の14ピンパラレルインタフェースを持つデスクトップタイプ</td><td>PC-CA203(4m)</td></tr>
<tr><td>98サーバシリーズ</td><td>SV-H98シリーズ*3
SV-98シリーズ</td><td>PC-CA204(4m)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">98NOTEシリーズ</td><td>Lavieシリーズ
Aileシリーズ
98NOTE Light
PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2
PC-9801NL/A・NS/A</td><td>PC-CA202(1.5m)*2
PC-CA204(4m)</td></tr>
<tr><td>上記以外の20ピンパラレルインタフェースを持つ98NOTEシリーズ</td><td>PC-9801N-19(1.5m)</td></tr>
<tr><td>PC-9800シリーズ
ラップトップタイプ</td><td>PC-9821Ts</td><td>PC-CA202(1.5m)*2
PC-CA204(4m)</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタ増設インタフェースボード(PC-9801-94)</td><td>PC-CA202(1.5m)*2
PC-CA204(4m)</td></tr>
</table>

*1　PC98-NXシリーズでのみ使用可

*2　PC-H98-K05と同等、長さ1.5m

*3　ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可

- コンピュータ本体とプリンタとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切り替え器、プリンタ共有器などを使用すると、プリンタの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合はオプションの「LANアダプタ」と専用のネットワークケーブルが必要です。
- 対応コンピュータについての最新情報はカタログや情報サービスで提供しています。

付録

仕様

印字方式	インパクトドットマトリクス方式
印字ヘッドワイヤ数	24本(12本×2列　千鳥配列)
印字ヘッドワイヤ径	0.2mm
解像度	約6.3 ドット/mm(160DPI)
印字方向	両方向最短距離印字および片方向印字
混在印字	同一行の混在についてはコンデンスモードおよびコピーモードのグラフィック以外はすべて可能
改行幅	4.233mm(1/6インチ)、3.175mm(1/8インチ)、および0.212×n mm(n/120インチ(n=0〜99))
改行時間	約80ms(4.233mm(1/6インチ)改行時)
改行方向	順方向および逆方向
最小改行量	0.212mm(1/120インチ)

印字桁数と印字速度

文字種				印字桁数/行	印字速度*/秒
ANK（英数カナ）	パイカ	HS	NHS	80字	180字
			SHS	80字	240字
		HD		80字	94字
	コンデンス			137字	206字
	エリート			96字	96字
	プロポーショナル			最大213字	100〜251字
CGグラフィック	パイカ	HS	NHS	80字	180字
			SHS	80字	240字
		HD		80字	94字
	コンデンス			137字	206字
	エリート			96字	96字
	プロポーショナル			80字	94字
漢字（全角）		10.5P、3/20インチ幅		53字	63字
		10.5P、1/5インチ幅		40字	47字
		9.5P相当、1/6インチ幅		48字	48字
		9.5P相当、2/15インチ幅		60字	60字
		7P相当、1/10インチ幅		80字	60字
		12P相当、1/6インチ幅		48字	48字
グラフィック	8ビット	コピーモード		640ドット	180字
		ネイティブモード		1280ドット	188字
	16ビット			1280ドット	94字
	24ビット			1280ドット	63字

* インクリボンカートリッジ(黒)を使用し、用紙厚さセットレバーの位置を3にした場合の印字速度

用紙送り方式

- シートガイド
- プッシュトラクタ
- シートフィーダ(オプション)
- トラクタフィーダ(オプション)

用紙厚調整

手動11段(ヘッド移動)

インクリボンカートリッジ

- インクリボンカートリッジ(黒)(PC-PR201G-01)
- カラーインクリボンカートリッジ(PC-PR101G2-01)*
- ロングライフインクリボンカートリッジ(PR201/80LA-01)*

* カラーキット(オプション)を取り付けた状態でのみ使用可能。

インタフェース

セントロニクス社仕様に準拠

使用コード	● 8ビットコード ● 7ビットコード ● 漢字コード
環境	● 動作温度　：5℃～38℃ ● 動作湿度　：10%～85%（シートフィーダ使用時は45%～70%） ● 保管温度　：－25℃～60℃* ● 保管湿度　：0%～90% ● 塵埃量、ガス成分　：一般事務室程度 * 開梱後の状態での保管条件は、0℃～40℃の環境で1年以内とします。使用時は使用場所の環境に十分なじませてください。
電源	100V±10%、50/60Hz共用
質量	約11kg
寸法	幅 460mm×奥行 380mm×高さ 167mm
消費電力	動作時最大　：175W（275VA） 動作時平均　：75W 待機時　：35W以下 電源スイッチOFF時　：0W （電源スイッチは、メカニカルスイッチを使用しています。）
ヘッド寿命	2億ドット／ピン
製品寿命	使用年数5年

用紙の規格と印字範囲

用紙サイズ

- 「印字範囲」(132ページ)を参照してください。
- シートガイドおよびシートフィーダ使用時の取り扱い可能定型用紙は次のとおりです。

◇　シートガイド使用時

使用方向	用紙サイズ			
	B4	B5	A4	A5
縦置き	○	○	○	○
横置き	×	○	×	○

◇　シートフィーダ使用時

使用方向	用紙サイズ			
	B4	B5	A4	A5
縦置き	×	○	○	○
横置き	×	×	×	○

用紙の種類と複写枚数

用紙送り方式	印字用紙		複写枚数（オリジナルを含む）
	種　類	坪量（連量）	
シートガイド	上質紙（カット紙）*	46.5～81.4g/m²（40～70kg）	1
	はがき	最大157.0g/m²（135kg）	1
シートフィーダ（オプション）	上質紙（カット紙）*	64.0～81.4g/m²（55～70kg）	1
	はがき	最大157.0g/m²（135kg）	1
プッシュトラクタ トラクタフィーダ（オプション）	上質紙（連続紙）*	46.5～81.4g/m²（40～70kg）	1
	裏カーボン紙	40.7～46.5g/m²（35～40kg）	3
	ワンタイムカーボン紙	34.9～40.7g/m²（30～35kg）	4
	感圧紙	46.5～64.0g/m²（40～55kg）	2

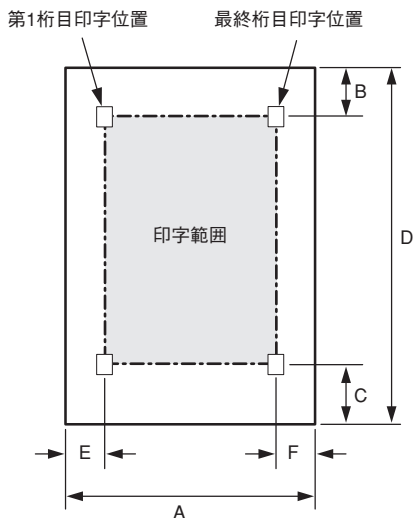
* 再生紙は、一般室温の環境下で使用してください。また紙質によってはインクのにじみや紙づまりが発生することがあります。その場合は、紙質の良いものに変更してください。

複写式の連続紙に関する注意

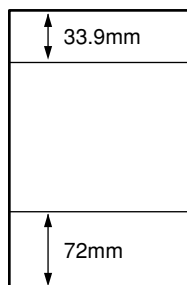
- 最上層用紙(1枚目)はインクリボンのインクをすばやく吸収し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- プレプリント用紙(書式があらかじめ印刷されている用紙)はなるべく使用しないでください。
- 複写にあたっては次の要領で用紙をまとめてください。

◇ 片端の用紙送り穴付近で点のりづけ、他端の用紙送り穴付近で紙ホッチキス止め。
◇ 両端の用紙送り穴付近で点のりづけ(双方向改行を行う場合は必ずこのとじ方にすること)。
◇ 用紙枚数2枚の場合は、両端の用紙送り穴付近の紙ホッチキス止めも可。
◇ 金属ホッチキスは使用しないこと。

印字範囲

カット紙

シートガイドを使用した場合

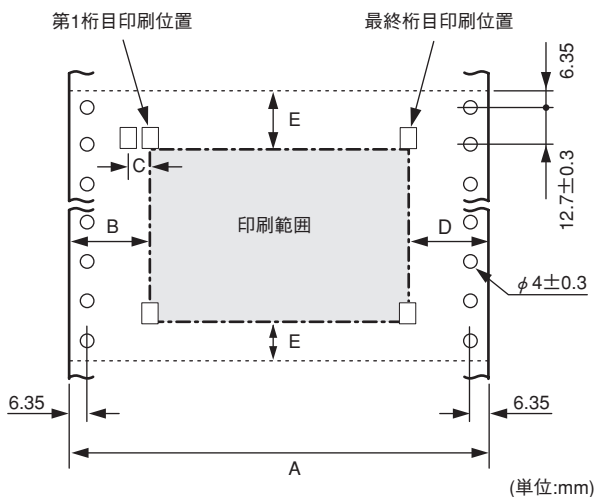
符号	項　　目	寸　　法
A	用紙幅	127～257mm（5～10.1インチ）
B	用紙上端から第1印字行までの距離	23.6mm（文字中央）
	自動用紙繰り出し量	23.6mm±2mm（文字中央）
C	用紙下端から最終印字行までの距離	27.2mm以上のこと（文字中央）注1
D	用紙長	91.4～364mm（3.6～14.3インチ）
E	用紙左端から第1桁目印字位置までの距離	12.7mm以上のこと（文字中央）
F	用紙右端から最終桁目印字位置までの距離	12.7mm以上のこと（文字中央）

* 用紙幅両端から12.7mmの範囲には印字しないでください。
* 連続紙、複写用紙は使用しないでください。
* 用紙上端より約35mmまでの範囲内では印字位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印字（拡大、強調印字など）、罫線印字、絵の印刷などは行わないでください。
* 用紙なし検出後から下端に逆方向改行はできません。
* 紙端が痛んだり用紙がつまるのを防ぐため、右の図に示した領域での逆方向改行は行わないでください。

注1　文字下端で25.4mm。フォームズオーバライド機能により用紙下端から3mmの位置まで印字できますが、用紙下端から25.4mm～3mmの範囲の紙送り精度は保証できません。

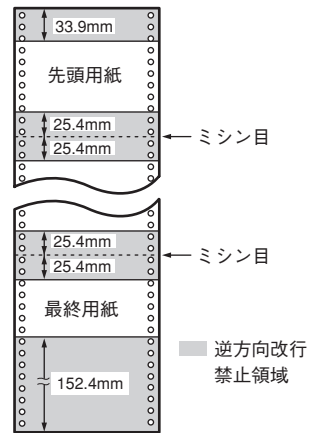
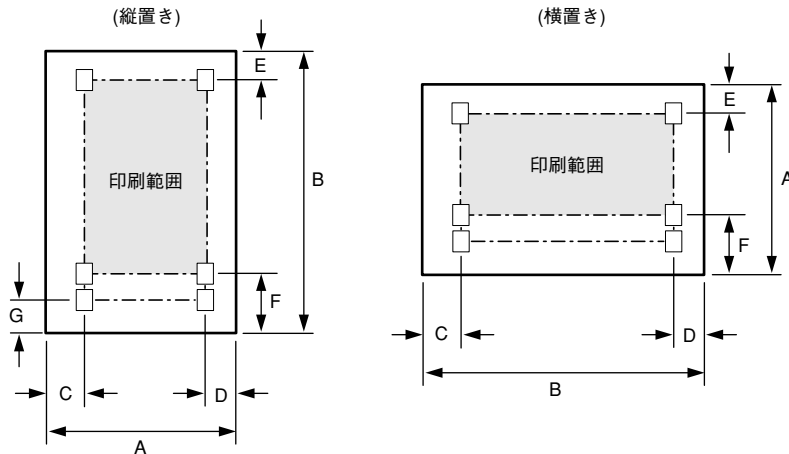
シートフィーダ（オプション）を使用した場合

符号	項　目	寸　法
A	用紙幅	148〜216mm（5.8〜8.5インチ）
B	用紙上端から第1印字行までの距離	8±2mm（文字中央）
C	用紙下端から最終印字行までの距離	8mm以上のこと（文字中央）
D	用紙長	109〜364mm（4.3〜14.3インチ）
E	用紙左端から第1桁目印字位置までの距離	12.7mm以上のこと（文字中央）
F	用紙右端から最終桁目印字位置までの距離	12.7mm以上のこと（文字中央）

* 用紙下端より約25mmまでの範囲内では印字位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印字（拡大、強調印字など）、罫線印字、絵の印刷などは行わないでください。
* 第1桁目印字位置（E）は、用紙幅に応じてセットしなければなりません。
* 逆方向改行はできません。

連続紙

符号	項　目	寸　法
A	用紙幅	114〜254mm（4.5〜10インチ）
B	トラクタを最左端に寄せたときの用紙左端から第1桁目印字位置までの距離	33mm（文字中央）
C	トラクタを最左端および最右端に寄せたときの第1桁目印字位置の移動量	10インチ用紙で2mm
D	トラクタを最右端に寄せたときの用紙右端から第80桁目印字位置までの距離	33mm（文字中央）
E	ミシン目および折り目の影響による汚れおよび改行ピッチを避けるため、印字をしないことが望しい範囲	25.4mm（文字下端）

連続紙に関する注意

* 用紙幅両端から12.7mmの範囲は印字しないでください。
  連続紙の自動用紙繰り出し量は23.6±2mm(文字中央)です。
* 連続紙の最後の部分は、用紙穴からトラクタピンが外れてしまい連続紙が送られなくなるため、用紙下端から152.4mm(6インチ)の範囲では印字しないようにしてください。
* 用紙上端より約35mmまでの範囲内では印字位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印字(拡大、強調印字など)、罫線印字、絵の印刷などは行わないでください。
* 紙端が痛んだり用紙がつまるのを防ぐため、右の図に示した領域での逆方向改行は行わないでください。

はがき

符号	項　　目	寸　　法
A	はがき横幅	100mm
B	はがき長さ	148mm
C	はがき左端から第1桁目印字位置までの距離	12.7mm（文字中央）
D	はがき右端から最終桁目印字位置までの距離	11.5mm（文字中央）
E	はがき上端から第1印字行までの距離	11.5mm（文字中央）
F	はがき下端から最終印字行までの推奨距離	24mm（文字中央）
G	はがき下端から最終印字行までの最小距離	14mm（文字中央）

* はがき上端より25mmおよびF－Gの範囲内では改行ピッチがばらつくことがあるため、合成印字(拡大、強調印字など)、絵の印刷、罫線印字などは行わないでください。

初期状態

電源をONにしたとき、ソフトウェアリセットをしたとき、強制リセットをしたとき、およびインタフェース信号INPUT･PRIMEを受信したときの初期状態を次に示します。INPUT･PRIMEでは＜　＞内の項目だけは、初期状態になりません。

項　目	初期状態	備　考
＜用紙長＞	66行（11インチ）*または72行（12インチ）	メモリスイッチ1-4による
＜ボトム領域＞	なし	
＜垂直タブセット位置＞	チャネル2：第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目 チャネル3〜6：なし	
用紙行位置	現在行をT.0.F位置とする	
レフトマージン幅	000	
ライトマージン幅	080	
水平タブセット位置	なし	
行メモリ	クリア	
行メモリアドレス	最左端相当位置	
改行幅	1/6インチ	
キャラクタモード	カタカナモード（8ビットコード）*または英数モード（7ビットコード）	メモリスイッチ2-6による
グラフィックモード	ネイティブモード*またはコピーモード	メモリスイッチ2-3による
印字モード	HDパイカ*またはHSパイカ	メモリスイッチ2-5による
HSパイカモード	NHSパイカ*またはSHSパイカ	メモリスイッチ3-2による
＜セレクト/ディセレクト＞	セレクト	ただしPE信号がHIGHのときはディセレクトになる
印字方向（文字）	両方向最短*または片方向	メモリスイッチ2-8による
改行方向	順方向改行	
拡大印字	解除	
強調印字	解除	
ラインの指定	アンダライン	
ラインの太さの指定	細線	
ライン印字モード	解除	
外字登録	登録エリアすべてにわたり未登録状態	
ダウンロード文字登録	プリンタ内蔵文字印字モード登録エリアはすべて未登録状態	
半角縦印字	解除	
半角組文字縦印字	解除	
漢字文字幅	3/20インチ	

* 工場設定

項　目	初期状態	備　考
漢字文字サイズ	10.5ポイント	
スクリプト文字	解除	
高速印字	解除*または選択	メモリスイッチ4-5による
シートフィーダ	全排出実行、用紙なし状態解除	シートフィーダ使用の場合
ミシン目スキップ	有効または無効*	メモリスイッチ3-8による
印字方向（ドット列）	片方向*または両方向	メモリスイッチ2-8、4-4による
カット紙の用紙長指定	有効または無効*	パラメータ設定による
カット紙の用紙長	66行（11インチ）*または設定値	パラメータ設定による
ANK文字フォント	標準*、イタリック、クーリエ、ゴシック	パラメータ設定による
＜ハガキモード＞	解除*または選択	パラメータ設定による
カラー	黒	
クワイエット印字	解除*または選択	機能選択スイッチを使っての設定による
固定ドットスペース	解除	
倍率設定	解除	
縮小組文字縦印字	解除	
文字修飾	解除	

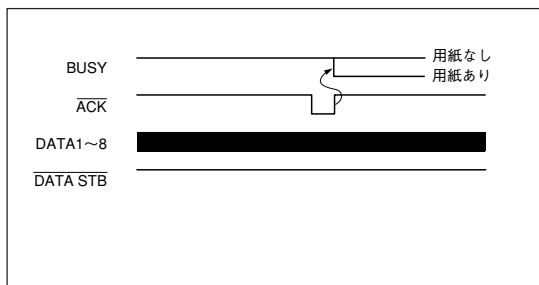
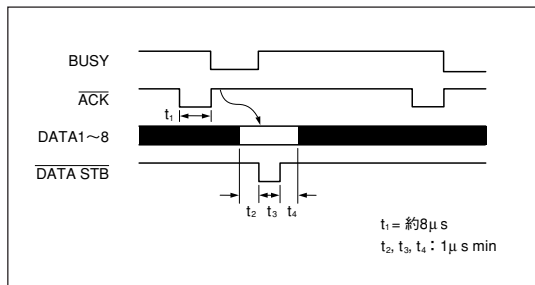
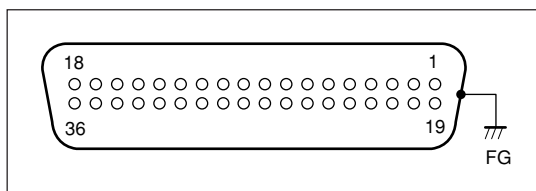
* 工場設定

インタフェース

インタフェース信号の機能

ピン番号	信号名	略称	方向 プリンタ ← コンピュータ	機　能
1	データストローブ	DATA STB	←	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。LOWのままでは次の動作を開始しない。 DATA1～8 DATA STB BUSY 1μs min　1μs min　1μs min
2	データ1	DATA 1	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。 DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA8が最上位桁（MSB）である。 パルス幅は最小3μsとする。
3	データ2	DATA 2		
4	データ3	DATA 3		
5	データ4	DATA 4		
6	データ5	DATA 5		
7	データ6	DATA 6		
8	データ7	DATA 7		
9	データ8	DATA 8		
10	アクノレッジ	ACK	→	受信したデータをプリンタ内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約8μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	→	プリンタがデータ受信不可能（BUSY）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ・ディセレクト中のとき ・INPUT PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつINPUT PRIME信号がHIGHになるまでの間 ・データを受信してから、プリンタ内へ取り込み完了するまでの間
12	ペーパエンド	PE	→	用紙の有無を示す。
13	セレクト	SELECT	→	プリンタがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。
14,15	−	−	−	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	−	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	−	フレームグランド
18	+5V	+5V	→	プリンタが電源投入状態であることを示す。
19-30	TWISTED PAIRGND	−	−	（信号用グランドに接続されている。）
31	インプットプライム	INPUT PRIME	←	この信号がLOWになるとプリンタは初期状態になる。定常状態はHIGHである。
32	フォルト	FAULT	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 ・ディセレクト中のとき ・プリンタがエラー状態のとき
33	シグナルグランド	SG	−	信号用グランド
34-36	−	−	−	将来の拡張用

タイムチャート

電源ON時

データ受信時

コネクタピン配置

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DATA STB	11	BUSY	21*	TWISTED PAIR GND	31	INPUT PRIME
2	DATA 1	12	PE	22*	TWISTED PAIR GND	32	FAULT
3	DATA 2	13	SELECT	23*	TWISTED PAIR GND	33*	SG
4	DATA 3	14	（将来の拡張用）	24*	TWISTED PAIR GND	34	（将来の拡張用）
5	DATA 4	15	（将来の拡張用）	25*	TWISTED PAIR GND	35	（将来の拡張用）
6	DATA 5	16*	SG	26*	TWISTED PAIR GND	36	（将来の拡張用）
7	DATA 6	17	FG	27*	TWISTED PAIR GND		
8	DATA 7	18	+5V	28*	TWISTED PAIR GND		
9	DATA 8	19*	TWISTED PAIR GND	29*	TWISTED PAIR GND		
10	ACK	20*	TWISTED PAIR GND	30*	TWISTED PAIR GND		

* これらのピンの端子はプリンタ内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA 1〜8 $\overline{\text{DATA STB}}$ $\overline{\text{INPUT PRIME}}$	+5V 1KΩ 1000pF LS04または LS14相当品

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT	+5V 1KΩ LS06相当品 100pF
+5V	+5V 1KΩ LS06相当品

付録

文字コード表

本プリンタは、8ビットコード、7ビットコードのうちの1つと漢字コードを使用することができます。8ビットコードと7ビットコードの切り替えはメモリスイッチ2-6によって行います。工場設定は8ビットコードです。

また、メモリスイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は各国特殊文字の入らないコードです。
漢字コードは、半角文字、JIS第1水準の漢字や記号など、およびJIS第2水準の漢字を印字するのに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります（JIS C62269-1978準拠）。

<table>
<tr><th rowspan="6">印刷モード</th><th colspan="6">文字種</th></tr>
<tr><th colspan="3">ANK</th><th rowspan="3">CG
グラフィック
56種</th><th>ANK</th><th rowspan="5">漢字*1
7014種</th></tr>
<tr><th>英数字・記号
（SPを含む）
96種</th><th>カタカナ・記号
63種</th><th>ひらがな
55種</th><th rowspan="3">各国文字
15種</th></tr>
<tr><th colspan="3">214種</th></tr>
<tr><th colspan="4">270種</th></tr>
<tr><th colspan="5">285種</th></tr>
<tr><td>NHSパイカモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>SHSパイカモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>HDパイカモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>コンデンスモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>エリートモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>プロポーショナルモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>漢字モード</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td></tr>
</table>

○：印字可能

*1　漢字の詳細：
JIS第1水準漢字　2965種
JIS第2水準漢字　3384種
記号（SPを含む）　108種
英数字　62種
ひらがな　83種
カタカナ　86種
ギリシャ文字　48種
ロシア文字　66種
半角文字（SPを含む）　212種
計　7014種

1バイト系コード表

8ビットコード表

8ビットコード表　— カタカナモード —

b8	b7	b6	b5					0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
								0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
								0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
								0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
				b4	b3	b2	b1	行＼列 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	｡	ア	チ	ム	╞	円
0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	｢	イ	ツ	メ	╪	年
0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▄	├	｣	ウ	テ	モ	╡	月
0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▅	▔	､	エ	ト	ヤ	◢	日
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	･	オ	ナ	ユ	◣	時
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	
1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	◆	
1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	
1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	
1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	
1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	
1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

8ビットコード表　— ひらがなモード —

b8	b7	b6	b5					0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
								0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
								0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
								0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
				b4	b3	b2	b1	行＼列 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	▁	┴		ー	た	み	═	×
0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	｡	あ	ち	む	╞	円
0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	｢	い	つ	め	╪	年
0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▄	├	｣	う	て	も	╡	月
0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▅	▔	､	え	と	や	◢	日
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	･	お	な	ゆ	◣	時
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	を	か	に	よ	◥	分
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ぃ	く	ね	り	♠	
1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ぅ	け	の	る	♥	
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ぇ	こ	は	れ	◆	
1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	▌	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	
1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	▋	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	
1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11	▊	╮	ゅ	す	へ	ん	○	
1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	▉	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	
1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	っ	そ	ま	゜	╲	

7ビットコード表

b8	b7	b6	b5												
→								0 または 1							
	→							0	0	0	0	1	1	1	1
		→						0	0	1	1	0	0	1	1
			→					0	1	0	1	0	1	0	1

b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7
0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p
0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q
0	0	1	0	2		DC2	"	2	B	R	b	r
0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s
0	1	0	0	4	EOT	DC4	注2	4	D	T	d	t
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w
1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x
1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z
1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9
1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10
1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11
1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12
1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o	

注13（2〜5列）

〈注1〜注12〉 各国特殊文字
（メモリスイッチ1-1〜1-3で切り替えます。）

注No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

〈注13〉 2〜5列はキャラクタモードによって以下のように切り替わります。

行＼列	CGグラフィックモード				ひらがなモード				カタカナモード			
	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5
0	▁	┴	═	╳		ー	た	み		ー	タ	ミ
1	▂	┬	╞	円	。	あ	ち	む	。	ア	チ	ム
2	▃	┤	╪	年	「	い	つ	め	「	イ	ツ	メ
3	▄	├	╡	月	」	う	て	も	」	ウ	テ	モ
4	▅	▔	◢	日	、	え	と	や	、	エ	ト	ヤ
5	▆	─	◣	時	・	お	な	ゆ	・	オ	ナ	ユ
6	▇	│	◥	分	を	か	に	よ	ヲ	カ	ニ	ヨ
7	█	▕	◤	秒	ぁ	き	ぬ	ら	ァ	キ	ヌ	ラ
8	▏	┌	♠		ぃ	く	ね	り	ィ	ク	ネ	リ
9	▎	┐	♥		ぅ	け	の	る	ゥ	ケ	ノ	ル
A	▍	└	♦		ぇ	こ	は	れ	ェ	コ	ハ	レ
B	▌	┘	♣		ぉ	さ	ひ	ろ	ォ	サ	ヒ	ロ
C	▋	╭	●		ゃ	し	ふ	わ	ャ	シ	フ	ワ
D	▊	╮	○		ゅ	す	へ	ん	ュ	ス	ヘ	ン
E	▉	╰	╱		ょ	せ	ほ	゛	ョ	セ	ホ	゛
F	┼	╯	╲		っ	そ	ま	゜	ッ	ソ	マ	゜

漢字コード表(2バイト系コード表)

本プリンタでは、1978年版のJIS漢字コード表に対応しています。

次の漢字コード表(半角文字、全角文字―JIS第1水準―、全角文字―JIS第2水準―)は、JIS1978年版に準拠しています。

漢字コード表　― 半角文字 ―

行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

注： 0列、0030行の「0」の書体はメモリスイッチ3-7により「Ø」に変更できます。

漢字コード表　― 全角文字（JIS第1水準）―

第2バイト / 第1バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
21		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓																															
23																０	１	２	３	４	５	６	７	８	９								Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν
27	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я												
28																																													
29																																													
2A																																													
2B																																													
2C																																													
2D																																													
2E																																													
2F																																													
30	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲
34	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰
36	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠
42	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗
46	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩
49	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕
4C	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様
4E	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵
4F	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z							a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω																																						
			а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
藁	蕨	椀	湾	碗	腕																																											

付録

漢字コード表　— 全角文字（JIS第2水準）—

第2バイト / 第1バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
50	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏
51	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤
52	辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖
53	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒
55	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪
56	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑
58	悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷
59	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈
5A	據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃
5B	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩
5C	棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨
5D	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕
5E	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪
5F	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝
60	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴
61	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝
62	癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛
63	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷
64	筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍
65	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲
66	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆
67	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁
68	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢
69	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱
6A	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢
6B	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬
6C	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤
6D	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙
6E	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉
6F	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞
70	陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈
71	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘
72	髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺
73	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝
74																																													

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
拯	拮	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
攣	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
枸	栖	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	桧	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	砿	砠	砺	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
緝	緘	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
騖	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠

テスト印字サンプル

（40%に縮小しています）

制御コード表

以下の制御コード表の詳細については、別売の『日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル』をご覧ください。

基本制御コード表

<table>
<tr><th>分　類</th><th>コード</th><th>16進数</th><th>機能概要</th><th>機能の有無</th></tr>
<tr><td>印字</td><td>CR</td><td>0D</td><td>印字し復帰</td><td>○</td></tr>
<tr><td>改行</td><td>LF</td><td>0A</td><td>1行改行</td><td>○</td></tr>
<tr><td>水平タブの実行</td><td>HT</td><td>09</td><td>水平タブ位置へ移動</td><td>○</td></tr>
<tr><td>垂直タブの実行</td><td>VT</td><td>0B</td><td>垂直タブ位置へ移動</td><td>○</td></tr>
<tr><td>改ページ</td><td>FF</td><td>0C</td><td>改ページ</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="8">倍角文字モード
および
キャラクタモード</td><td rowspan="2">SO</td><td rowspan="2">0E</td><td>倍角文字モード設定（8ビットコード）</td><td rowspan="4">○</td></tr>
<tr><td>カタカナモード設定（7ビットコード）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SI</td><td rowspan="2">0F</td><td>倍角文字モード解除（8ビットコード）</td></tr>
<tr><td>英数モード設定（7ビットコード）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DC2</td><td rowspan="2">12</td><td>無効（8ビットコード）</td><td rowspan="4">○</td></tr>
<tr><td>倍角文字モード設定（7ビットコード）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DC4</td><td rowspan="2">14</td><td>無効（8ビットコード）</td></tr>
<tr><td>倍角文字モード解除（7ビットコード）</td></tr>
<tr><td>キャンセル</td><td>CAN</td><td>18</td><td>バッファの印字データをキャンセル</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">セレクト/ディセレクト</td><td>DC1</td><td>11</td><td>セレクト状態にする</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>DC3</td><td>13</td><td>ディセレクト状態にする</td></tr>
<tr><td rowspan="2">VFUの設定</td><td>GS</td><td>1D</td><td>VFUの設定開始</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>RS</td><td>1E</td><td>VFUの設定終了</td></tr>
<tr><td>n行改行</td><td rowspan="2">US</td><td rowspan="2">1F</td><td>0～72行改行</td><td>○</td></tr>
<tr><td>VFUの実行</td><td>VFUの実行</td><td>○</td></tr>
<tr><td>外字の登録終了</td><td>EOT</td><td>04</td><td>外字の登録終了</td><td>○</td></tr>
</table>

拡張制御コード表

分　類	コード	16進数	機能概要	機能の有無
印字モード	ESC N	1B 4E	HSパイカモード設定	○
	ESC H	1B 48	HDパイカモード設定	
	ESC Q	1B 51	コンデンスモード設定	
	ESC E	1B 45	エリートモード設定	
	ESC P	1B 50	プロポーショナルモード設定	
	ESC K	1B 4B	漢字（横印字）モード設定	
	ESC t	1B 74	漢字（縦印字）モード設定	
HSパイカモード	ESC n 0	1B 6E 30	NHSパイカモード設定	○
	ESC n 1	1B 6E 31	SHSパイカモード設定	
キャラクタモード	ESC $	1B 24	カタカナモード設定（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	
	ESC &	1B 26	ひらがなモード設定（8ビットコード）	
			ひらがなモード設定（7ビットコード）	
	ESC #	1B 23	無効（8ビットコード）	
			CGグラフィックモード設定（7ビットコード）	
スクリプト 文字モード	ESC s 1	1B 73 31	スーパスクリプト文字モード設定	○
	ESC s 2	1B 73 32	サブスクリプト文字モード設定	
	ESC s 0	1B 73 30	スクリプト文字モード解除	
外字	ESC +	1B 2B	外字（24×24ドット）の登録*1	○
	ESC ＊	1B 2A	外字（16×16ドット）の登録*1	
ダウンロード文字	ESC l	1B 6C	ダウンロード文字の登録*2	○
	ESC l +	1B 6C 2B	ダウンロード文字印刷	
	ESC l −	1B 6C 2D	プリンタ内蔵文字印刷	
	ESC l 0	1B 6C 30	ダウンロード文字クリア	
文字の拡大	ESC e	1B 65	縦横拡大率指定*3	○
キャラクタリピート	ESC R	1B 52	キャラクタリピート	○
強調印字モード	ESC !	1B 21	強調印字モード設定	○
	ESC ”	1B 22	強調印字モード解除	
アンダライン/ オーバライン	ESC X	1B 58	ライン印字モード設定	○
	ESC Y	1B 59	ライン印字モード解除	
	ESC _	1B 5F	ラインの指定	
	FS 0 4 L	1C 30 34 4C	ラインの太さの指定	

*1　登録できる文字数は256文字です。
*2　登録できるダウンロード文字数は128文字です。
*3　設定できる拡大率は縦横とも1〜4倍、6倍および8倍です。

分　類	コード	16進数	機能概要	機能の有無
ドラフトモード	ESC d 0	1B 64 30	ドラフト（高速印字）モード設定	○
	ESC d 1	1B 64 31	ドラフト（高速印字）モード解除	
ドットスペース	ESC [00]H	1B 00	0ドットスペース	○
	ESC [01]H	1B 01	1ドットスペース	
	ESC [02]H	1B 02	2ドットスペース	
	ESC [03]H	1B 03	3ドットスペース	
	ESC [04]H	1B 04	4ドットスペース	
	ESC [05]H	1B 05	5ドットスペース	
	ESC [06]H	1B 06	6ドットスペース	
	ESC [07]H	1B 07	7ドットスペース	
	ESC [08]H	1B 08	8ドットスペース	
	FS w	1C 77	固定ドットスペース	
ドット列 印字モード	ESC S	1B 53	8ビットドット列対応グラフィック印字モード	○
	ESC I	1B 49	16ビットドット列対応グラフィック印字モード	
	ESC J	1B 4A	24ビットドット列対応グラフィック印字モード	
	ESC V	1B 56	8ビットドット列リピートモード	
	ESC W	1B 57	16ビットドット列リピートモード	
	ESC U	1B 55	24ビットドット列リピートモード	
	ESC F	1B 46	ドットアドレッシング	
ドット対応グラフィックドット数	ESC D	1B 44	コピーモード設定	○
	ESC M	1B 4D	ネイティブモード設定	
印字方向	ESC >	1B 3E	片方向印字モード設定	○
	ESC]	1B 5D	両方向印字モード設定	
水平タブ	ESC (	1B 28	水平タブセット	○
	ESC)	1B 29	水平タブ部分クリア	
	ESC 2	1B 32	水平タブオールクリア	
簡易VFU	ESC v	1B 76	VFUのセット	○
マージン	ESC L	1B 4C	レフトマージン設定	○
	ESC /	1B 2F	ライトマージン設定	
漢字半角文字の 縦印字モード	ESC h 1	1B 68 31	漢字半角文字の縦印字モード設定	○
	ESC h 0	1B 68 30	漢字半角文字の縦印字モード解除	
	ESC q	1B 71	漢字半角の組文字縦印字モード設定	
倍率設定と縮小文字の組文字	FS m	1C 6D	倍率設定*	○
	FS P	1C 50	縮小文字の組文字印刷モード設定	

*　設定できる倍率は縦横とも1/2倍、1～4倍、6倍および8倍です。

分　類	コード	16進数	機能概要	機能の有無
漢字文字幅と 漢字文字サイズ	FS A	1C 41	漢字文字幅3/20インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	○
	FS B	1C 42	漢字文字幅1/5インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	
	FS C	1C 43	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント相当	
	FS D	1C 44	漢字文字幅2/15インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント相当	
	FS F	1C 46	漢字文字幅1/10インチ、漢字文字サイズ7ポイント相当	
	FS G	1C 47	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ12ポイント相当	
漢字文字幅	FS p	1C 70	漢字文字幅の切り替え	○
漢字文字サイズ	FS 0 4 S	1C 30 34 53	漢字文字サイズの切り替え	○
改行幅	ESC A	1B 41	1/6インチ改行モード設定	○
	ESC B	1B 42	1/8インチ改行モード設定	
	ESC T	1B 54	n/120インチ改行モード設定	
改行方向	ESC f	1B 66	順方向改行モード設定	○
	ESC r	1B 72	逆方向改行モード設定	
シートフィーダ制御	ESC a	1B 61	排出後吸入（シートフィーダ装着時）	○
	ESC b	1B 62	排出（シートフィーダ装着時）	
	FS f	1C 66	ホッパの切り替え	×
ANK文字フォント	ESC O	1B 4F	ANK文字フォントの切り替え	○
	FS 0 6 F	1C 30 36 46	文字フォントの選択	
漢字フォント	ESC O	1B 4F	漢字フォント（漢字カードのフォント）の切り替え	○
カラー	ESC C	1B 43	カラーの切り替え	○
文字修飾	FS c	1C 63	文字修飾の設定または解除	○
ソフトウェア リセット	ESC c 1	1B 63 31	初期状態にリセット	○

インジケータ表示と操作一覧

機能選択 ：機能選択スイッチを押す

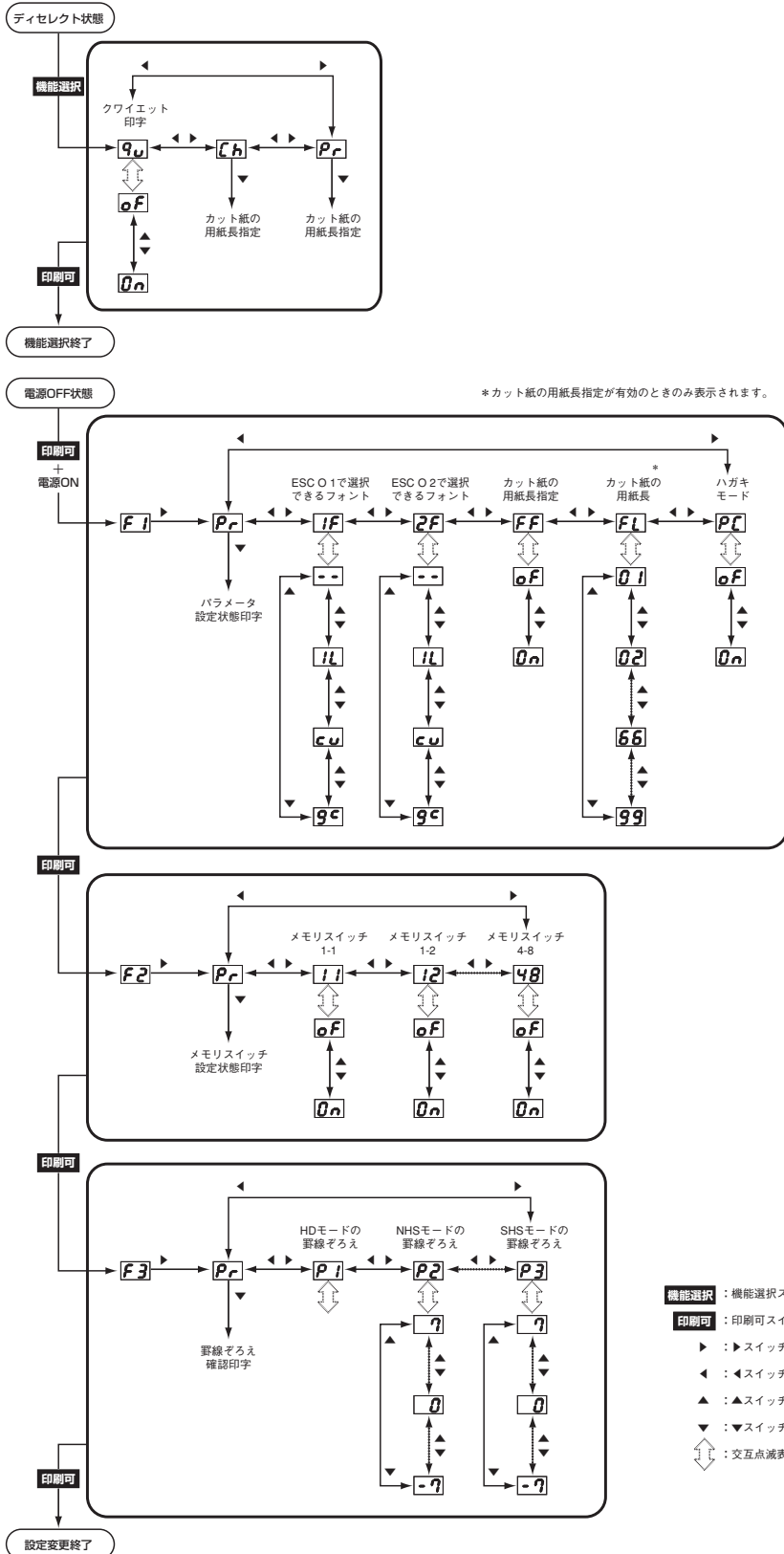
印刷可 ：印刷可スイッチを押す

▶ ：▶スイッチを押す

◀ ：◀スイッチを押す

▲ ：▲スイッチを押す

▼ ：▼スイッチを押す

⇕ ：交互点滅表示

用語解説

英数字

1バイト系文字

1バイト(8ビット)で表現される英字、数字、カタカナなどの文字。

201PL

NECのシリアルプリンタ用標準コードのこと。

2バイト系文字

2バイト(16ビット)で表現される漢字をはじめとする各種文字。

ANK(アンク)文字

1バイトで表現される文字。
記号を含む英字(Alphabet)、数字(Numeric)、カナ(Kana)の総称。

CR

Carriage Return キャリッジリターンの略。プリンタの制御コード(コマンド)のひとつ。

DC1

Device Control 1(デバイスコントロール1)。制御コードの一つ。プリンタはこのコードを受け取るとセレクト状態になる。

DC3

Device Control 3(デバイスコントロール3)。制御コードの一つ。プリンタはこのコードを受け取るとディセレクト状態になる。

DPI

Dots Per Inchの略。プリンタの解像度などを表す記述。25.4mm(1インチ)当たりのドット数。(→解像度)

ESC O 1、ESC O 2

フォントを選択するための制御コード。

HD

High Density。パイカモードの印字が高密度であることを表す。

NHS

Normal High Speed。パイカモードの印字スピードが速いことを表す。

SHS

Super High Speed。パイカモードの印字スピードがHNSよりさらに速いことを表す。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカ、モデム、プリンタなどの周辺機器とコンピュータの間の接続をすべて同じコネクタとケーブルで統一しようとするためのインタフェース。USBで接続するとコンピュータ本体の電源を入れたままケーブルの抜き差しができるなど利点が多い。

VFU

Vertical Format Unit。用紙送り(改行幅)を制御して、表などの作成を容易にするためのフォーマット。

五十音順

印字範囲

プリンタ用紙に印字ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印字可能領域を指す。

印字方向

印字ヘッドが印字するときの移動方向。本プリンタでは印字ヘッドは左→右、右→左と両方向に移動しながら印字することができる。通常の設定では、両方向最短印字を行う。クワイエット印字、強調印字、縦拡大印字では、片方向印字と両方向最短印字の混成方式となる。

印字モード

印字される文字の文字幅を決定する。印字モードには、HDパイカモード、NHSパイカモード、エリートモード、コンデンスモード、プロポーショナルモード、漢字モードがある。

エリート

印字モードの一つ。エリート文字は25.4mm(1インチ)に12文字入る。

外字

漢字コード表などに記載されていない2バイト系の文字や記号のこと。ユーザが自由にデザイン、登録して使用することができる。

解像度

プリンタが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。25.4mm(1インチ)当たりのドット数で表す(記述はDPI)。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC(1BH)、FS(1CH)、のように、あとに続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。

片方向印字

印字ヘッドの移動方式の一つ。印字ヘッドが左→右方向に移動するときだけ印字が行われる。縦罫線などの印字位置をきれいにそろえて印字するときに適している。

紙づまり

用紙がつまってプリンタが動作しなくなった状態をいう。

基本制御コード

制御コードのうち、CR(0DH)、LF(0AH)のように単独で機能を表すコード。

逆方向改行

用紙を印字位置に対して上から下へ引き下げる方向で改行する用紙送り方式。

混在印字

同一行に異なる印字モードの文字を印字すること。

コンデンス

印字モードの一つ。コンデンス文字は25.4mm(1インチ)に17文字入る。

順方向改行

用紙を印字位置に対して下から上に引き上げる方向で改行する用紙送り方式。通常は順方向改行。

セレクト状態

プリンタがデータを受信できる状態のこと。

センタリング(印字ヘッドの)

印字ヘッドがプリンタ中央に移動すること。

ダウンロード文字

プリンタに内蔵された文字やフォントカード内の文字以外の1バイト系文字のこと。使用するときは、コンピュータの命令により文字データをプリンタのメモリにいったん記憶させる(登録する)必要がある。

坪量

用紙の重さを表す単位。1m^2(1枚)あたりのグラム数をいう。単位はg/m^2。

ディセレクト状態

プリンタがデータを受信できない状態のこと。

パイカ

印字モードの一つ。パイカ文字は25.4mm(1インチ)に10文字入る。印字スピードや印字密度によって、HDパイカ、NHSパイカに分けられる。

バッファフル印字

プリンタ内のバッファ(行メモリ)に印字データを蓄え、このバッファがいっぱいになったときに印字動作を開始する印字方法。

ビットマップフォント

四角いマスの集合体(例えば24×24個のマス)でデザインされている文字セット。文字を拡大すると一つ一つのマスがそのまま拡大されるため、拡大文字の輪郭がぎざぎざになる。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

復帰改行

印字ヘッド(または印字位置)が行の端に移動し、さらに用紙が1行分送られること。

プリンタケーブル

コンピュータとプリンタを接続するケーブル。インタフェースケーブルとも呼ばれる。

プロポーショナル

印字モードの1つ。プロポーショナル文字は文字の影にあって文字幅が異なるため、25.4mm(1インチ)に入る文字数は一定しませんが、文字と文字の間隔がきれいにそろいます。

ポイント(文字の)

印字される活字の大きさの記述で、1ポイントは約0.35mm(1/72インチ)。

メモリスイッチ

不揮発性メモリを利用してプリンタのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON／OFFを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

両方向最短印字

印字ヘッドの移動方式の一つ。1行分の印字を終了して次の行の印字にとりかかる際、印字ヘッドは現在の位置からみて行頭か行末かどちらか近い方へ移動して、そこから行の中心に向かって印字する。印字ヘッドの移動時間が短くなり、印字の能率が上がる。

連量

用紙の重さを表す記述。一般に788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう。

索引

記号

C

D

E

H

J

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ロ

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをしてください。
ただし、オプションのLANアダプタを搭載した場合には、クラスA情報装置の基準になります。その場合、この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な処置を講じるよう要求されることがあります。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。